

<資料2>

健康づくりアンケート調査の結果について

湖南省健康づくり調査 調査結果

調査結果の見方

- 集計結果はすべて、小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率(%)の合計が 100%にならないことがあります。
- 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢の文言を短縮している場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- グラフの n 数(number of case)は、有効標本数(集計対象者総数)を表しています。

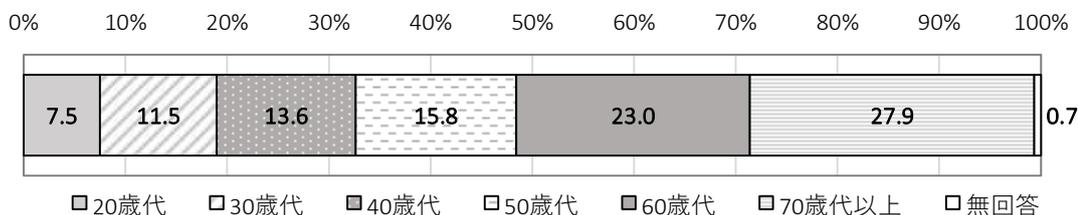
●回答者の属性

【市民アンケート】

①年齢

「70 歳代以上」が 27.9%と最も多く、次いで「60 歳代」23.0%、「50 歳代」15.8%、「40 歳代」13.6%、「30 歳代」11.5%となっており、「20 歳代」は 7.5%となっています。

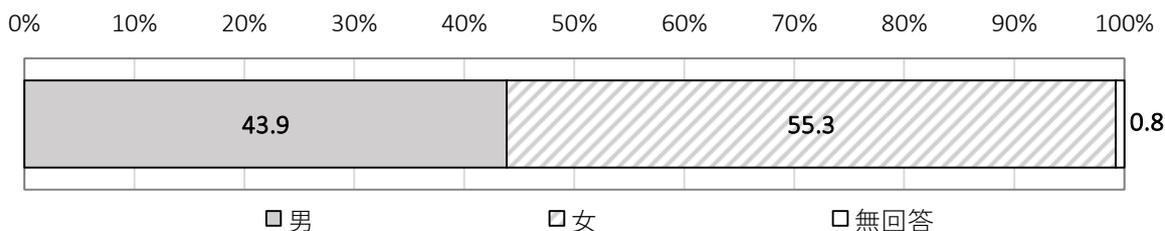
■年齢区分(n=748)



②性別

「男」が 43.9%、「女」が 55.3%となっています。

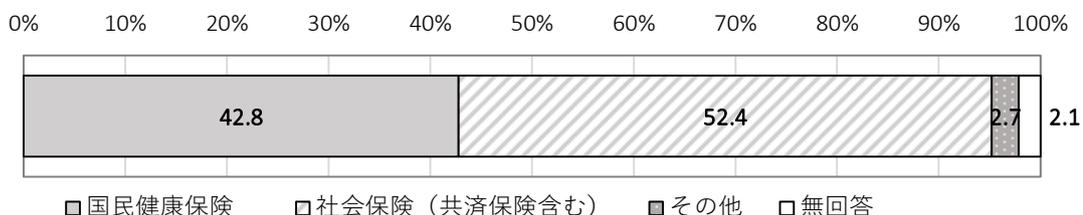
■性別(n=748)



③保険種別

「社会保険(共済保険含む)」が52.4%、「国民健康保険」が42.8%となっています。

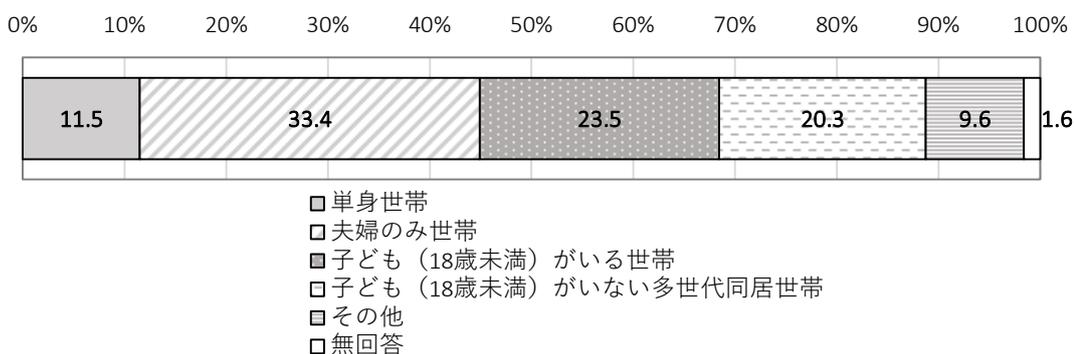
■保険種別(n=748)



④世帯形態

「夫婦のみ世帯」が33.4%と最も多く、次いで「子ども(18歳未満)がいる世帯」23.5%、「子ども(18歳未満)がいない多世代同居世帯」20.3%、「単身世帯」11.5%となっています。

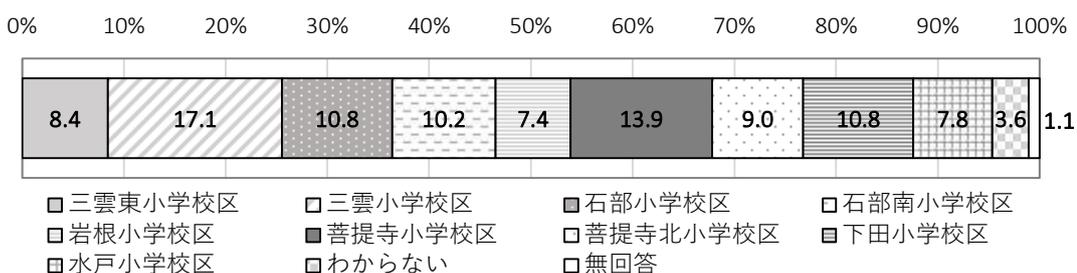
■世帯形態(n=748)



⑤居住地域

「三雲小学校区」17.1%、「菩提寺小学校区」13.9%、「石部小学校区」10.8%、「下田小学校区」10.8%などとなっています。

■居住地域(n=748)



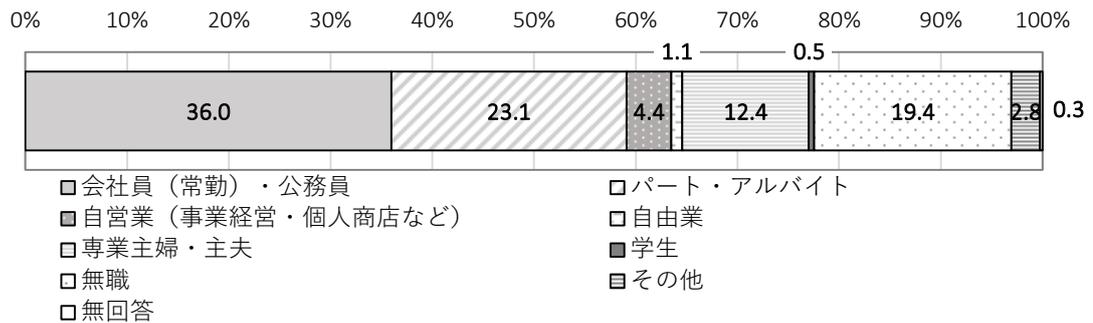
■性別×年齢区分×居住地域

		合計	居住地域										
			三雲東小 学校区	三雲小学 校区	石部小学 校区	石部南小 学校区	岩根小学 校区	菩提寺小 学校区	菩提寺 北小学 校区	下田小 学校区	水戸小 学校区	わから ない	無回答
男	全体	328	8.2	18.3	10.7	9.8	8.8	13.4	6.4	11.0	7.9	4.6	0.9
	20～39歳	53	5.7	18.9	17.0	5.7	3.8	9.4	5.7	17.0	11.3	0.0	0.0
	40～64歳	129	8.5	14.0	10.9	8.5	10.1	14.0	5.4	12.4	9.3	7.0	0.0
	65歳～	145	9.0	21.4	8.3	12.4	9.7	14.5	7.6	11.7	3.4	0.0	2.1
女	全体	414	8.7	16.2	11.1	10.6	6.3	14.3	10.6	10.9	7.7	2.9	0.7
	20～39歳	89	11.2	13.5	15.7	6.7	3.4	9.0	7.9	16.9	6.7	7.9	1.1
	40～64歳	164	6.7	17.7	12.8	10.4	7.9	12.8	9.8	11.6	7.9	2.4	0.0
	65歳～	160	9.4	16.3	6.3	13.1	6.3	18.8	13.1	6.9	8.1	0.6	1.3

⑥職業

「会社員(常勤)・公務員」が36.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」23.1%、「無職」19.4%などとなっています。

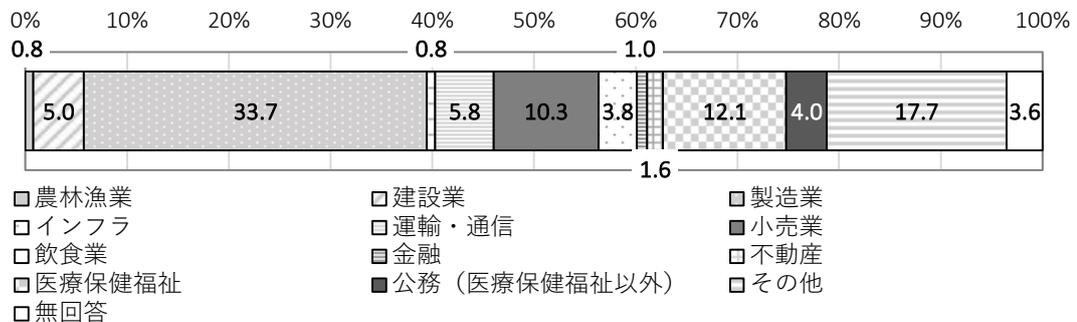
■職業(n=748)



⑦業種(就業している人のうち)

「製造業」が33.7%と最も多く、次いで「医療保健福祉」12.1%、「小売業」10.3%などとなっています。

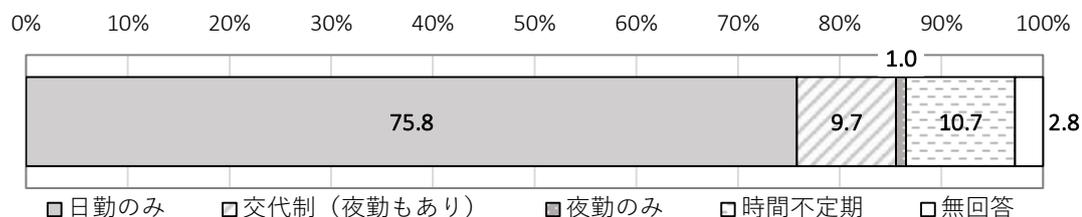
■業種(n=504)



⑧勤務形態(就業している人のうち)

「日勤のみ」が 75.8%と最も多くを占めています。そのほか、「時間不定期」10.7%、「交代制(夜勤もあり)」9.7%などとなっています。

■勤務形態(n=504)

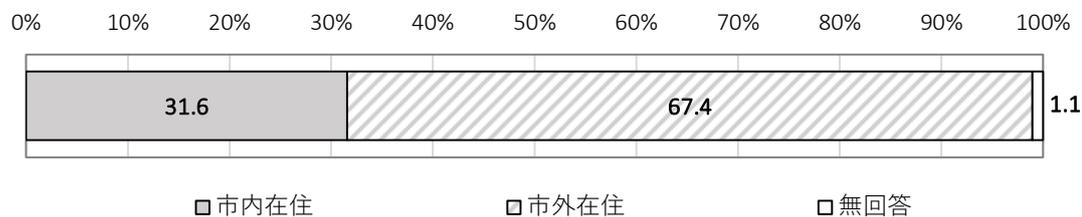


【高校生アンケート】

①居住地

高校生アンケートの居住地区をみると、「市外在住」が 67.4%を占めており、「市内在住」は 31.6%となっています。

■居住地(n=282)



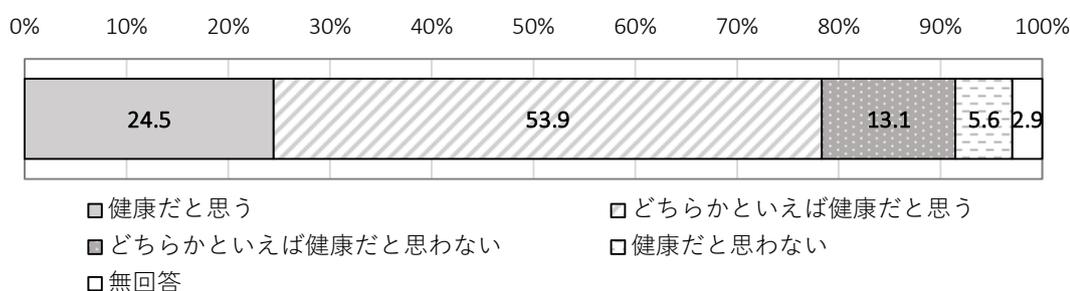
●健康意識と幸福度

①健康意識

「健康だと思う」24.5%、「どちらかといえば健康だと思う」53.9%(合わせて 78.4%)であるのに対し、「どちらかといえば健康だと思わない」13.1%、「健康だと思わない」5.6%(合わせて 18.7%)となっています。

性別・年齢区分別にみると、男性では40歳以上になると「(どちらかといえば)健康だと思わない」が増えているのに対し、女性では65歳以上と並んで20～39歳でも「(どちらかといえば)健康だと思わない」が40～64歳に比べて高くなっています。

■自分のことを健康だと思うか(n=748)



■性別×年齢区分×自分のことを健康だと思うか

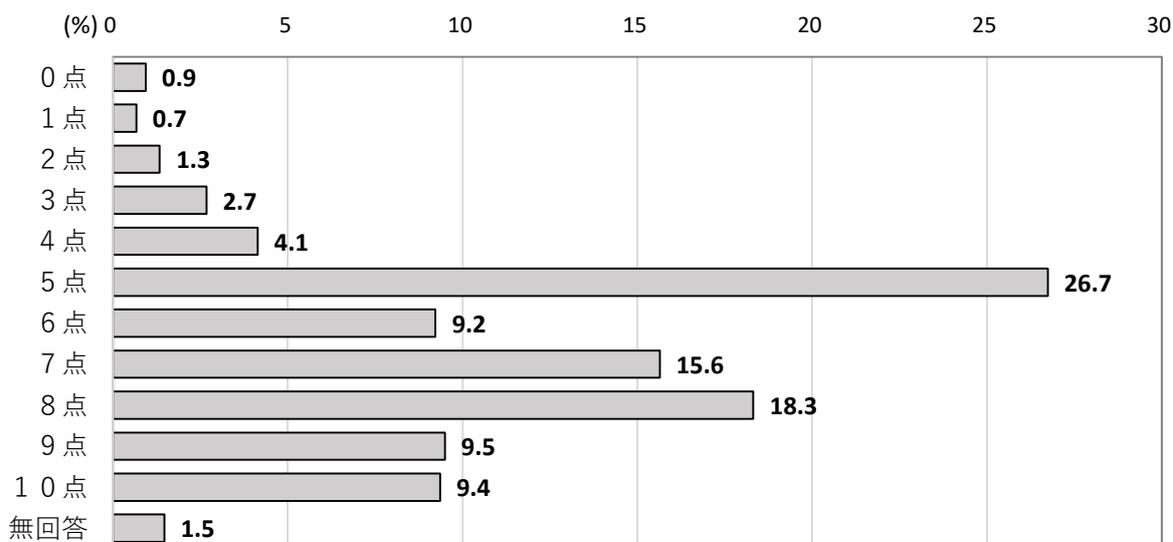
		合計	自分を健康だと思うか				
			健康だと思う	どちらか といえば 健康だ と思う	どちらか といえば 健康だ と思わない	健康だ と思わない	無回答
男	全体	328	23.8	53.0	13.4	6.4	3.4
	20～39歳	53	39.6	47.2	7.5	1.9	3.8
	40～64歳	129	21.7	55.0	14.7	7.0	1.6
	65歳～	145	20.0	53.1	14.5	7.6	4.8
女	全体	414	25.4	54.1	12.8	5.1	2.7
	20～39歳	89	33.7	42.7	18.0	3.4	2.2
	40～64歳	164	23.2	62.8	9.1	3.0	1.8
	65歳～	160	23.1	51.3	13.8	8.1	3.8

②幸福度

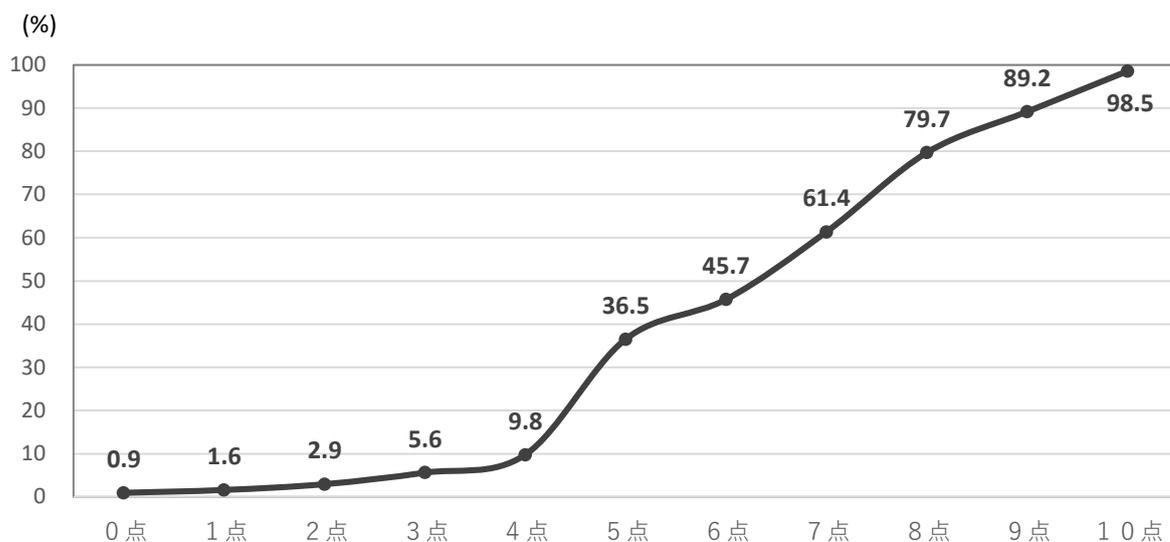
「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、「5点」が26.7%と最も多く、次いで「8点」が18.3%、「7点」が15.6%と、5点以上と回答する人が多くなっています。得点分布を累積相対度数で見ると、「4点」以下の割合は低く、「5点」から回答者が増加しています。

性別で見ると、「4点」以下は男性の方がやや高くなっています。

■現在、どの程度幸せだと感じているか(n=748)



■現在、どの程度幸せだと感じているか(累積相対度数)(n=748)



※端数処理をしているため、グラフの数値の累計と数値が合わないことがあります

■性別×現在、どの程度幸せだと感じているか

	合計	現在どの程度幸せか											
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	748	0.9	0.7	1.3	2.7	4.1	26.7	9.2	15.6	18.3	9.5	9.4	1.5
性別 男	328	0.9	0.6	1.5	3.7	4.3	24.4	9.8	16.5	17.7	10.4	9.8	0.6
女	414	1.0	0.7	1.2	1.9	3.9	28.5	8.9	15.0	18.8	8.9	8.9	2.2

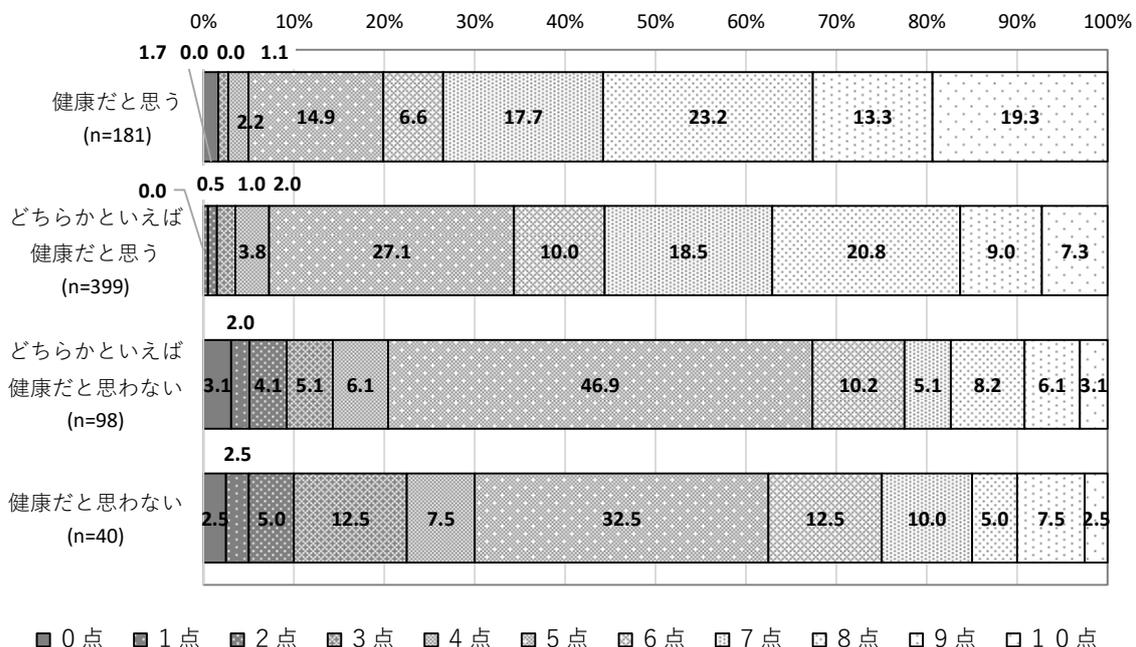
■性別×現在、どの程度幸せだと感じているか(累積相対度数)

	合計	現在どの程度幸せか(累積相対度数)											
		0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体	748	0.9	1.6	2.9	5.6	9.8	36.5	45.7	61.4	79.7	89.2	98.5	100.0
性別 男	328	0.9	1.5	3.0	6.7	11.0	35.4	45.1	61.6	79.3	89.6	99.4	100.0
女	414	1.0	1.7	2.9	4.8	8.7	37.2	46.1	61.1	80.0	88.9	97.8	100.0

③健康意識×幸福度

自分をどれほど健康だと思うかの程度ごとでみると、健康だと思う人ほど、8点以上の高い点数を回答する人が多くなっています。

■健康意識×幸福度(n=737)



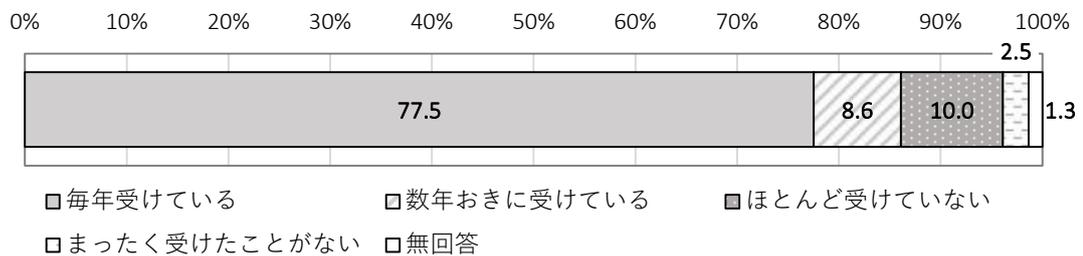
1. 健康管理

(1)健康診査の受診状況

①健康診断を受けているか

「毎年受けている」が77.5%と最も多く、「数年おきに受けている」が8.6%となっています。一方、「ほとんど受けていない」が10.0%、「まったく受けたことがない」が2.5%となっています。

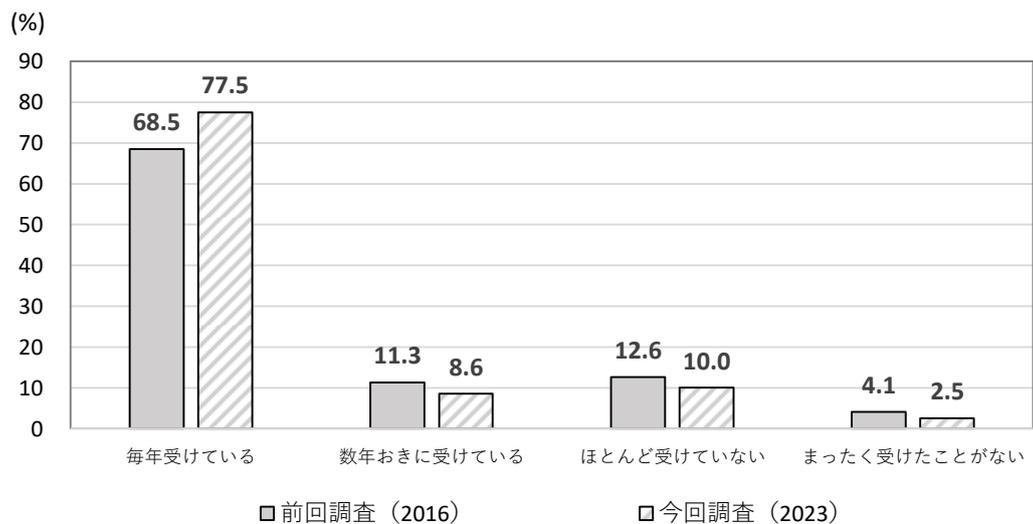
■健康診断を受けているか(n=748)



【経年比較】

前回(平成28(2016)年)調査と比較すると、「毎年受けている」人の割合は増えています。

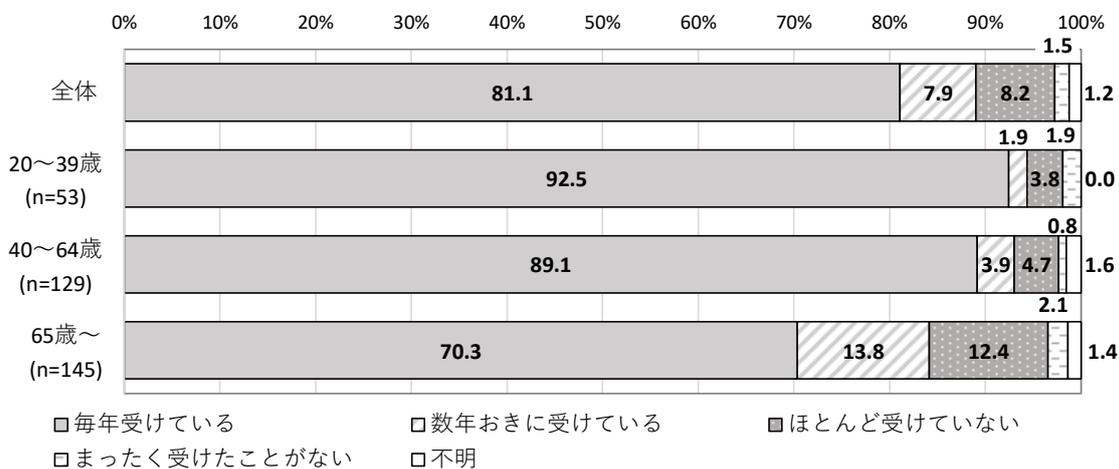
■健康診断を受けているか(経年比較)



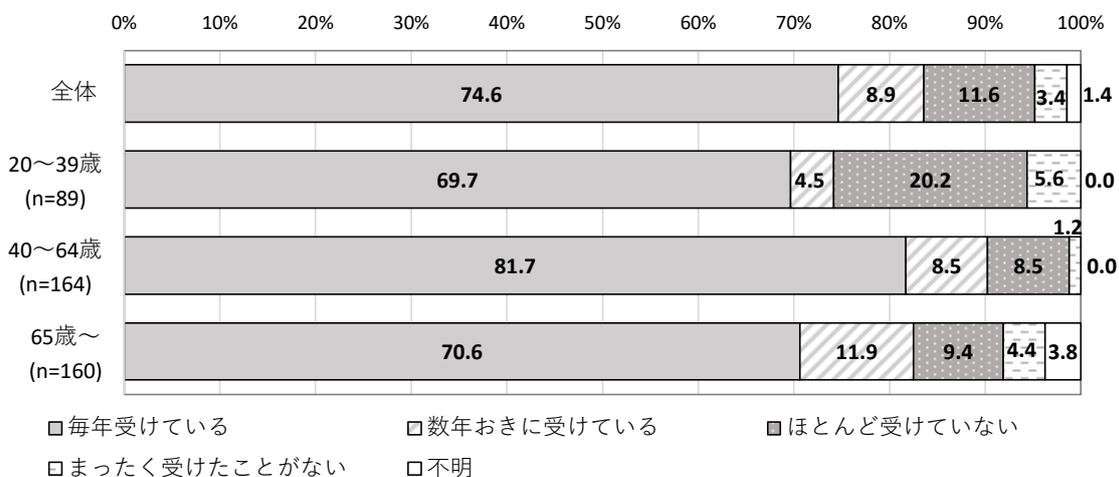
※前回調査では不明を除いて算出しています

性別・年齢区分別にみると、「毎年受けている」は男性のほうが高くなっており、男性では「20～39歳」で比較的高く、女性では「40～64歳」で比較的高くなっています。

■性別×年齢区分×健康診断を受けているか<男性>(n=328)



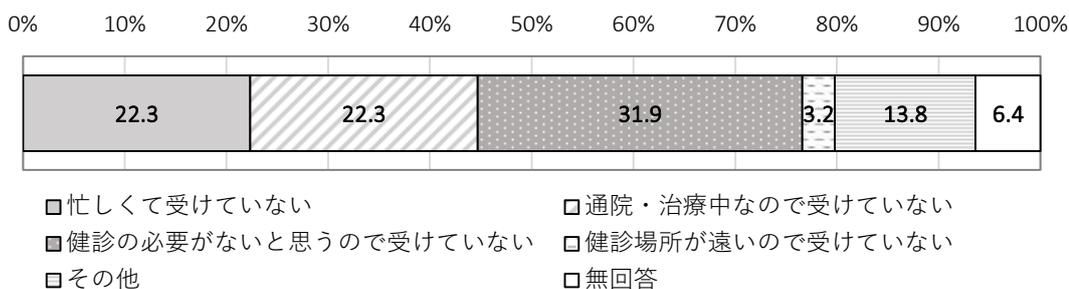
■性別×年齢区分×健康診断を受けているか<女性>(n=414)



②(受けていない人)健康診査を受けていない理由

「健診の必要がないと思うので受けていない」が 31.9%と最も多く、次いで「忙しくて受けていない」、「通院・治療中なので受けていない」がともに 22.3%、「健診場所が遠いので受けていない」などとなっています。

■受けていない理由(n=94)

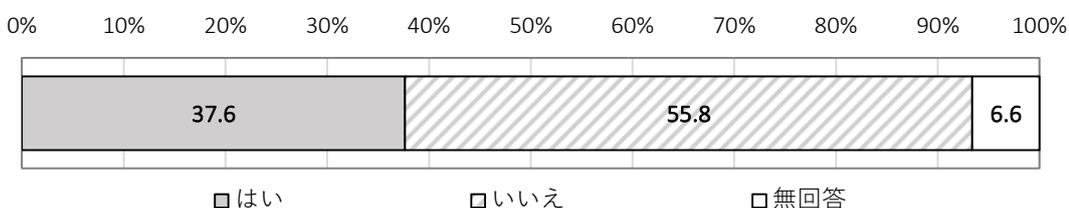


(2)がん検診の受診状況

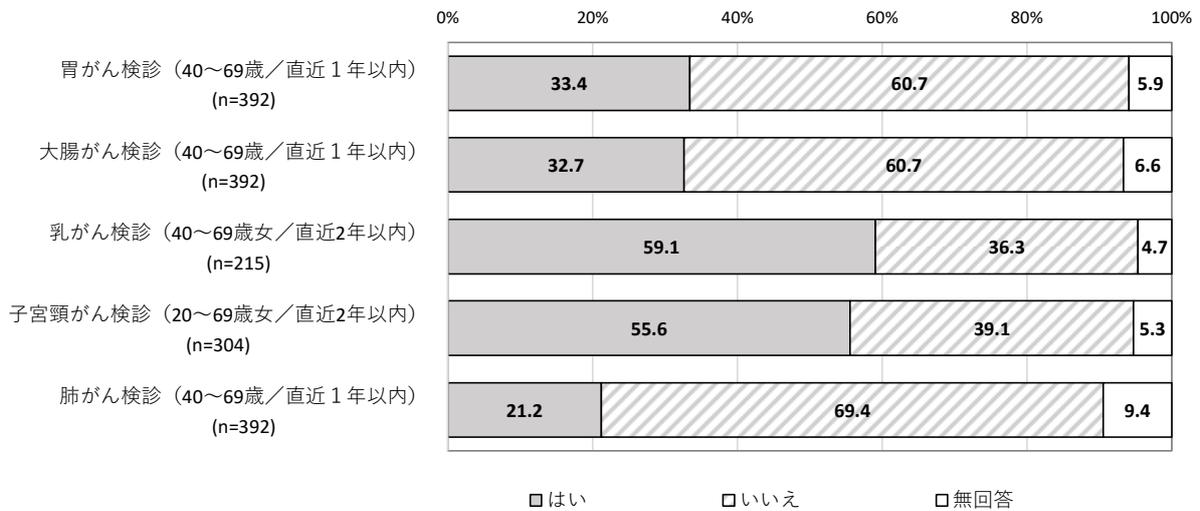
胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、肺がんを合わせたがん検診の受診率をみると、「はい」は37.6%、「いいえ」は55.8%となっています。

がん検診の種別にみると、「胃がん検診(40～69 歳/直近1年以内)」33.4%、「大腸がん検診(40～69 歳/直近1年以内)」32.7%、「乳がん検診(40～69 歳女/直近 2 年以内)」で59.1%、「子宮頸がん検診(20～69 歳女/直近 2 年以内)」で55.6%、「肺がん検診(40～69 歳/直近1年以内)」で 21.2%となっています。

■がん検診(胃・大腸・乳・子宮・肺)を受けたことがあるか(n=1,695)



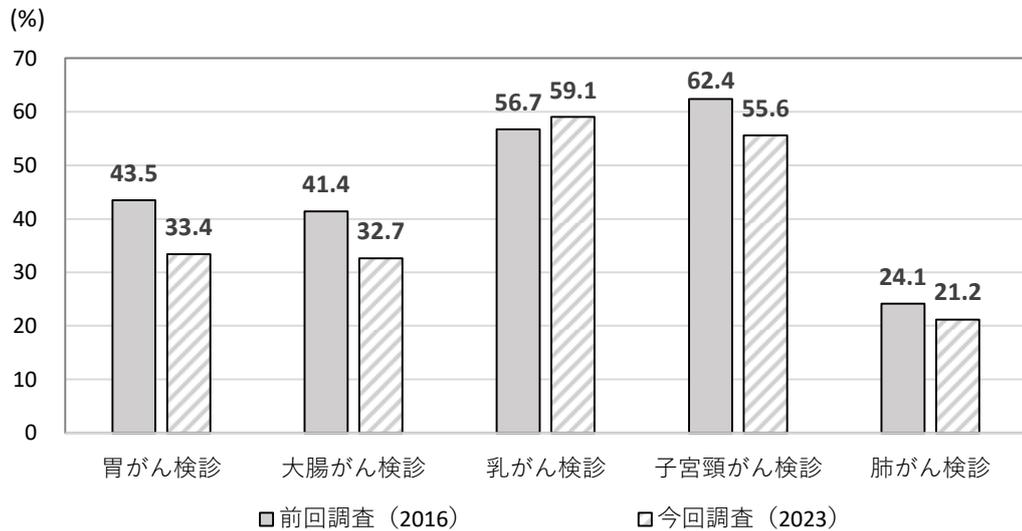
■がん検診を受けたことがあるか(種別)



【経年比較】

前回(平成 28(2016)年)調査と比較すると、前回調査では直近〇年以内という限定をせずたずねていたため単純に比較はできませんが、乳がん検診以外は前回調査のほうが高くなっています。

■がん検診を受けたことがあるか(経年比較)

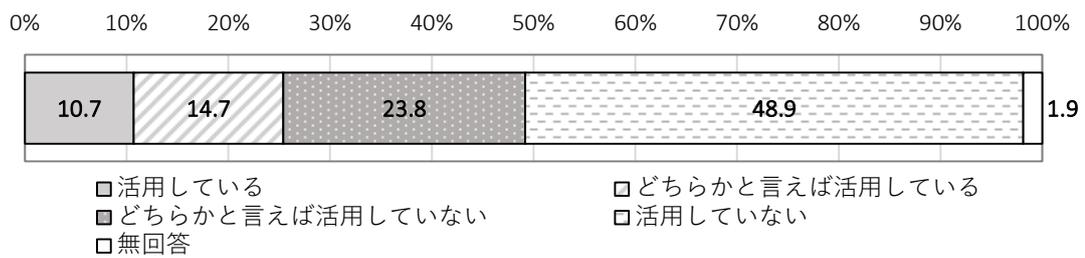


(3)健康アプリの活用

①健康に関するアプリを意識的に活用しているか

「活用している」が10.7%、「どちらかと言えば活用している」が14.7%(合わせて25.4%)、「どちらかと言えば活用していない」が23.8%、「活用していない」が48.9%(合わせて72.7%)となっています。

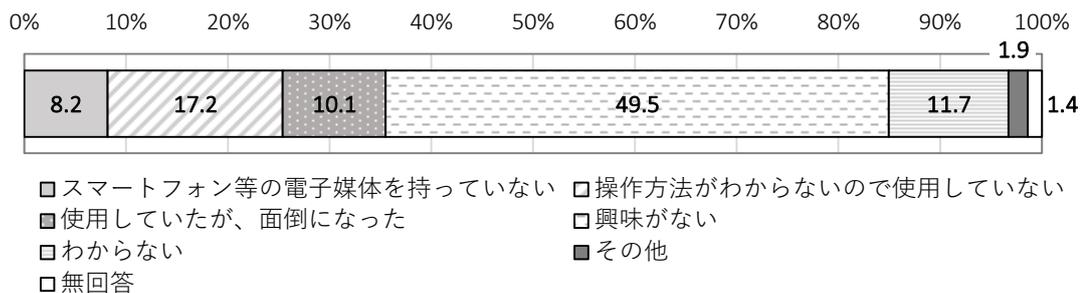
■健康に関するアプリを意識的に活用しているか(n=748)



②(活用していない人)活用していない理由

活用していない理由をみると、「興味がない」が49.5%と最も多く、次いで「操作方法がわからないので使用していない」が17.2%、「使用していたが、面倒になった」が10.1%などとなっています。

■健康に関するアプリを活用していない理由(n=366)



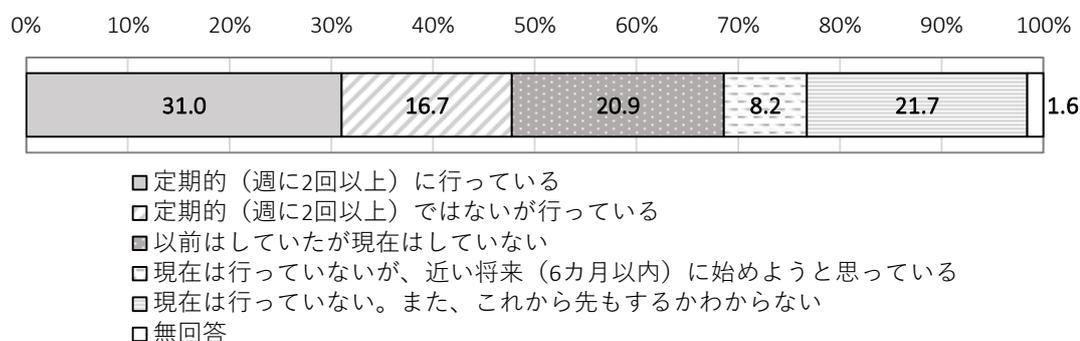
2. 身体活動・運動

(1) 日頃の運動の状況

定期的(週に2回以上)に行っている」が31.0%、「定期的(週に2回以上)ではないが行っている」が16.7%(合わせて47.7%)であるのに対し、「以前はしていたが現在はしていない」が20.9%、「現在は行っていないが、近い将来(6カ月以内)に始めようと思っている」が8.2%、「現在は行っていない。また、これから先もするかわからない」が21.7%(合わせて50.8%)となっています。

性別でみると、「行っている」の割合は男性のほうが高くなっていますが、男性の40～64歳でやや低い一方、女性の65歳以上で高くなっています。

■日頃、自分の健康づくりのため意識的に運動をしているか(n=748)



■性別×年齢区分×日頃、自分の健康づくりのため意識的に運動をしているか

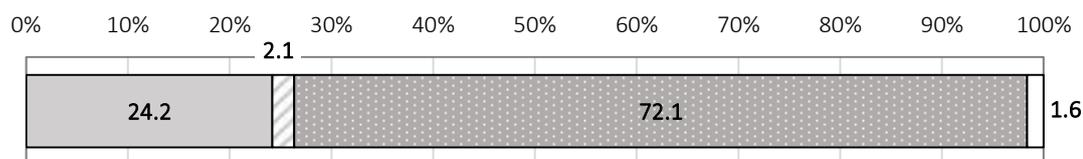
		合計	日頃意識的に運動しているか					無回答
			定期的(週に2回以上)に行っている	定期的(週に2回以上)ではないが行っている	以前はしていたが現在はしていない	現在は行っていないが、近い将来(6カ月以内)に始めようと思っている	現在は行っていない。また、これから先もするかわからない	
男	全体	328	33.5	18.9	19.2	8.2	18.3	1.8
	20～39歳	53	32.1	24.5	22.6	5.7	15.1	0.0
	40～64歳	129	28.7	20.2	20.9	5.4	23.3	1.6
	65歳～	145	37.9	15.9	16.6	11.7	15.2	2.8
女	全体	414	28.7	15.2	22.0	8.2	24.4	1.4
	20～39歳	89	19.1	11.2	25.8	15.7	28.1	0.0
	40～64歳	164	19.5	18.3	24.4	5.5	31.1	1.2
	65歳～	160	43.8	13.8	17.5	6.9	15.6	2.5

(2)週2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続している人の割合

週2回以上、1回30分以上の運動を1年以上継続して行っている人の割合は 24.2%、1年未満継続している人の割合は 2.1%となっています。

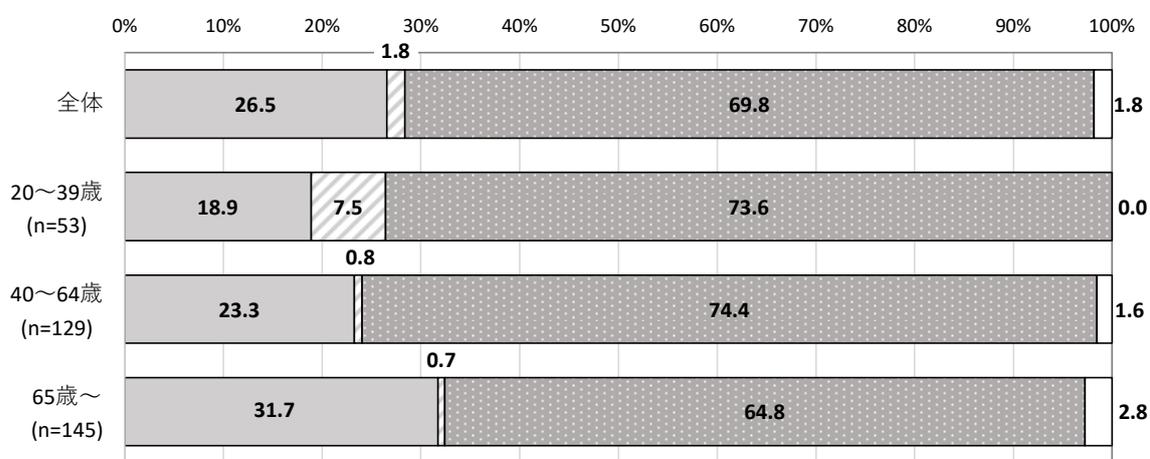
性別・年齢区分別にみると、1年以上継続して行っている人の割合は、男女とも、65 歳以上で高くなっています。

■週2回以上、1回30分以上の運動を行っている人(n=748)



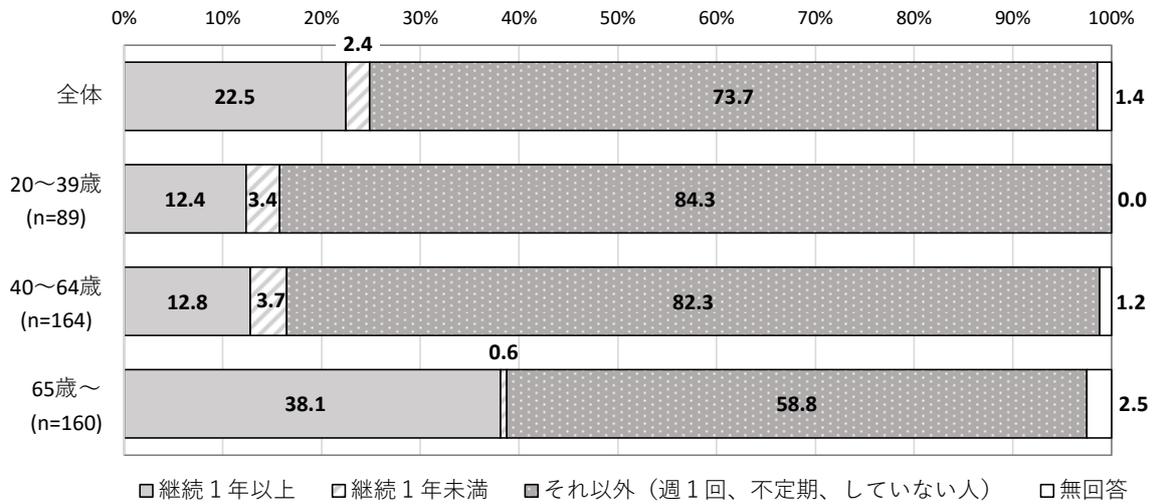
□ 継続1年以上 □ 継続1年未満 □ それ以外(週1回、不定期、していない人) □ 無回答

■性別×年齢区分×週2回以上、1回30分以上の運動を行っている人(男性)



□ 継続1年以上 □ 継続1年未満 □ それ以外(週1回、不定期、していない人) □ 無回答

■性別×年齢区分×週2回以上、1回30分以上の運動を行っている人(女性)

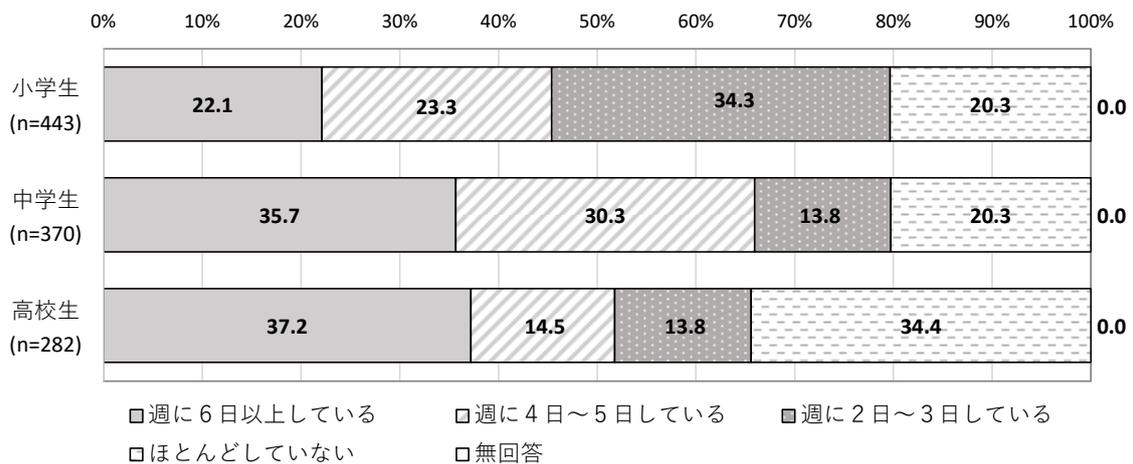


(3) 体育の授業以外での運動の状況

【小学生・中学生・高校生】

「週に6日以上している」は、中学生、高校生で高くなっています。一方で、「ほとんどしていない」は、高校生で高くなっています。

■体育の授業以外で運動やスポーツをしているか



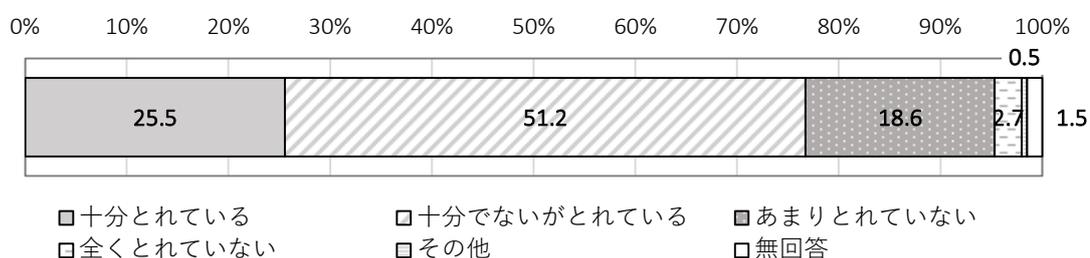
3. 睡眠・休養

(1) 睡眠による休養の充足度

「十分とれている」が 25.5%、「十分でないがとれている」が 51.2%(合わせて 76.7%)であるのに対し、「あまりとれていない」が 18.6%、「全くとれていない」が 2.7%(合わせて 21.3%)となっています。

性別・年齢区分別にみると、特に女性の 40 歳以上で「(十分)とれている」が高くなっています。

■睡眠による休養をとれているか(n=748)



■性別×年齢区分×睡眠による休養をとれているか

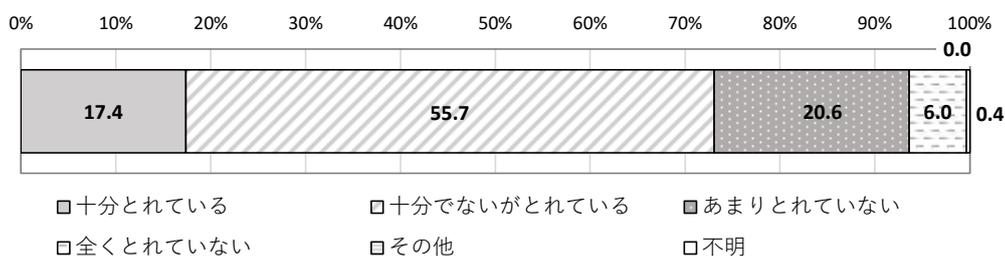
		合計	睡眠による休養をとれているか					無回答
			十分とれている	十分でないがとれている	あまりとれていない	全くとれていない	その他	
男	全体	328	25.3	47.9	22.3	3.4	0.0	1.2
	20～39歳	53	22.6	50.9	24.5	0.0	0.0	1.9
	40～64歳	129	21.7	51.2	22.5	4.7	0.0	0.0
	65歳～	145	29.7	44.1	21.4	2.8	0.0	2.1
女	全体	414	25.8	53.6	15.7	2.2	1.0	1.7
	20～39歳	89	23.6	50.6	18.0	3.4	2.2	2.2
	40～64歳	164	23.2	57.3	15.2	3.0	0.6	0.6
	65歳～	160	30.0	51.3	15.0	0.6	0.6	2.5

【高校生】

「十分とれている」が 17.4%、「十分でないがとれている」が 55.7%(合わせて 73.1%)、「あまりとれていない」が 20.6%、「全くとれていない」が 6.0%(合わせて 26.6%)となっています。

性別にみると、「十分とれている」、「十分でないがとれている」が男性の方が高くなっており、「あまりとれていない」、「全くとれていない」が女性の方で高くなっています。

■睡眠による休養をとれているか(n=282)



■性別×睡眠による休養をとれているか

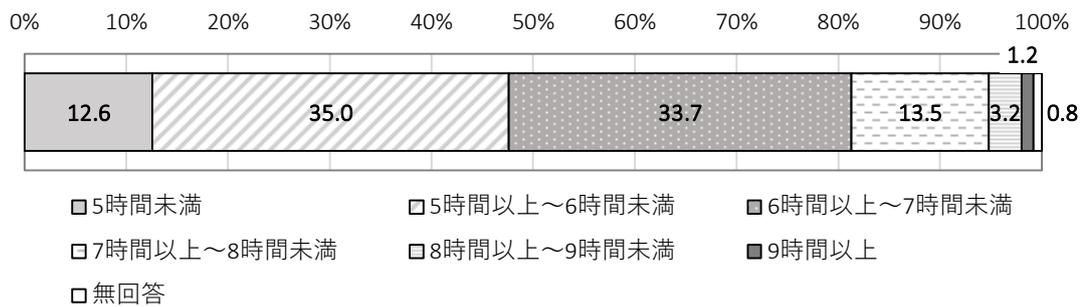
		合計	睡眠による休養をとれているか					無回答
			十分とれている	十分でないがとれている	あまりとれていない	全くとれていない	その他	
男	全体	136	20.6	61.0	14.0	4.4	0.0	0.0
女	全体	136	11.8	53.7	27.9	5.9	0.0	0.7

(2)睡眠時間

「5 時間以上～6 時間未満」が 35.0%と最も多く、次いで「6 時間以上～7 時間未満」33.7%、「7 時間以上～8 時間未満」13.5%、「5 時間未満」12.6%などとなっています。

性別・年齢区分別にみると、「5 時間未満」が男性の 40～64 歳、女性の 65 歳以上で比較的高くなっています。

■睡眠時間はどれくらいか(n=748)



■性別×年齢区分×睡眠時間はどれくらいか

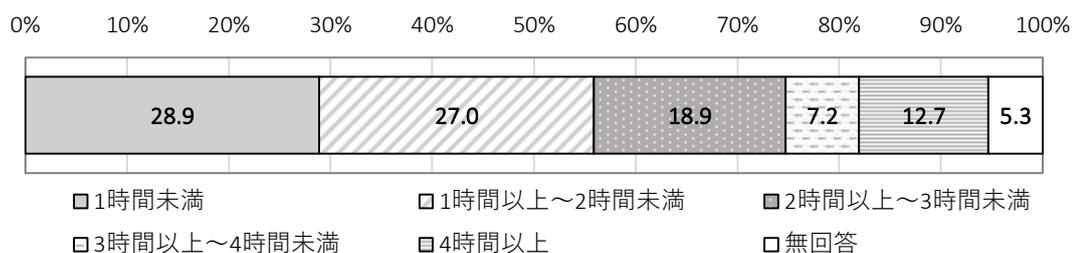
		合計	睡眠時間はどれくらいか						
			5時間未満	5時間以上～6時間未満	6時間以上～7時間未満	7時間以上～8時間未満	8時間以上～9時間未満	9時間以上	無回答
男	全体	328	14.0	33.5	32.0	15.2	3.7	1.2	0.3
	20～39歳	53	3.8	39.6	34.0	22.6	0.0	0.0	0.0
	40～64歳	129	17.8	35.7	36.4	8.5	1.6	0.0	0.0
	65歳～	145	13.8	29.7	27.6	18.6	6.9	2.8	0.7
女	全体	414	11.6	35.5	35.3	12.3	2.9	1.2	1.2
	20～39歳	89	4.5	31.5	39.3	16.9	2.2	4.5	1.1
	40～64歳	164	9.8	42.7	37.2	7.3	1.8	0.6	0.6
	65歳～	160	17.5	30.0	31.3	15.0	4.4	0.0	1.9

(3)インターネットを使った情報端末の1日の使用状況

「1時間未満」が28.9%と最も多く、次いで「1時間以上～2時間未満」が27.0%、「2時間以上～3時間未満」が18.9%などとなっています。

性別・年齢区分別にみると、男女とも20～39歳では「4時間以上」、40～64歳では「1時間以上～2時間未満」、65歳以上では「1時間未満」が最も多くなっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか(n=748)



■性別×年齢区分×インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか

		合計	インターネットを使った情報端末を1日にどのくらい使用しているか					
			1時間未満	1時間以上～2時間未満	2時間以上～3時間未満	3時間以上～4時間未満	4時間以上	無回答
男	全体	328	29.6	28.0	19.2	7.0	11.9	4.3
	20～39歳	53	3.8	18.9	28.3	13.2	34.0	1.9
	40～64歳	129	24.0	28.7	21.7	9.3	12.4	3.9
	65歳～	145	44.1	30.3	13.8	2.8	3.4	5.5
女	全体	414	28.5	26.3	18.4	7.2	13.3	6.3
	20～39歳	89	3.4	20.2	23.6	15.7	37.1	0.0
	40～64歳	164	21.3	38.4	23.2	6.1	11.0	0.0
	65歳～	160	50.0	17.5	10.0	3.8	2.5	16.3

【睡眠による休養の充足度別】

睡眠による休養の充足度別にみると、情報端末の使用が3時間未満では「十分とれている」が27.2%であるのに対し、3時間以上18.1%となっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか

×睡眠による休養をとれているか

		合計	睡眠による休養をとれているか					無回答
			十分とれている	十分でないがとれている	あまりとれていない	全くとれていない	その他	
インターネットを使った情報端末を1日にどのくらい使用しているか	全体	748	25.5	51.2	18.6	2.7	0.5	1.5
	3時間未満	559	27.2	51.0	17.4	3.0	0.5	0.9
	3時間以上	149	18.1	57.0	21.5	2.0	0.7	0.7

【睡眠時間別】

睡眠時間別にみると、情報端末の使用が3時間未満では「5時間未満」10.9%、「5時間以上～6時間未満」36.3%（合わせて47.2%）であるのに対し、3時間以上では「5時間未満」12.1%、「5時間以上～6時間未満」38.3%（合わせて50.4%）と、比較的高くなっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか

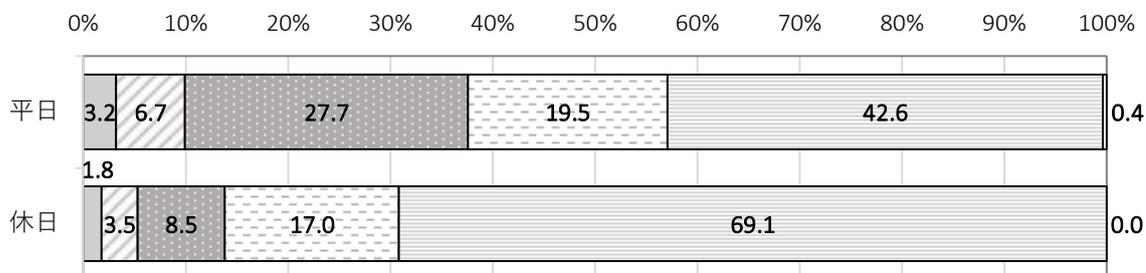
×睡眠時間はどれくらいか

		合計	睡眠時間はどのくらいか						無回答
			5時間未満	5時間以上～6時間未満	6時間以上～7時間未満	7時間以上～8時間未満	8時間以上～9時間未満	9時間以上	
インターネットを使った情報端末を1日にどのくらい使用しているか	全体	748	12.6	35.0	33.7	13.5	3.2	1.2	0.8
	3時間未満	559	10.9	36.3	34.3	13.8	2.9	1.1	0.7
	3時間以上	149	12.1	38.3	32.9	10.7	3.4	2.0	0.7

【高校生】

「4時間以上」が平日では42.6%、休日では69.1%と、最も多くなっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか(n=282)

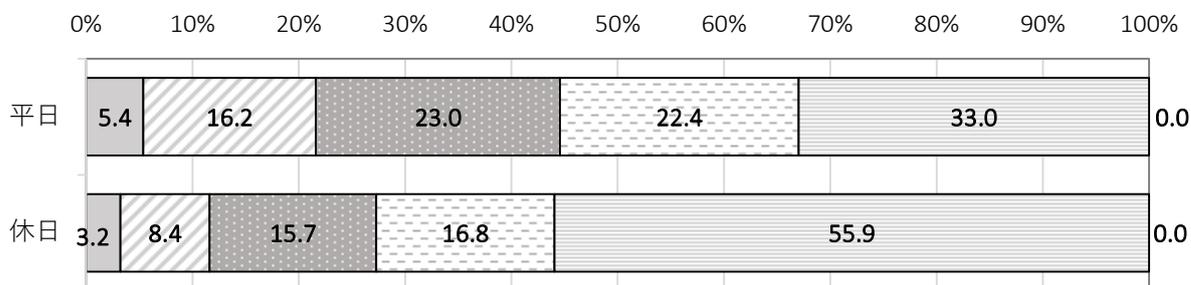


- 1時間未満
- 1時間以上～2時間未満
- 2時間以上～3時間未満
- 3時間以上～4時間未満
- 4時間以上
- 無回答

【中学生】

「4時間以上」が平日では33.0%、休日では55.9%と、最も多くなっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか(n=370)

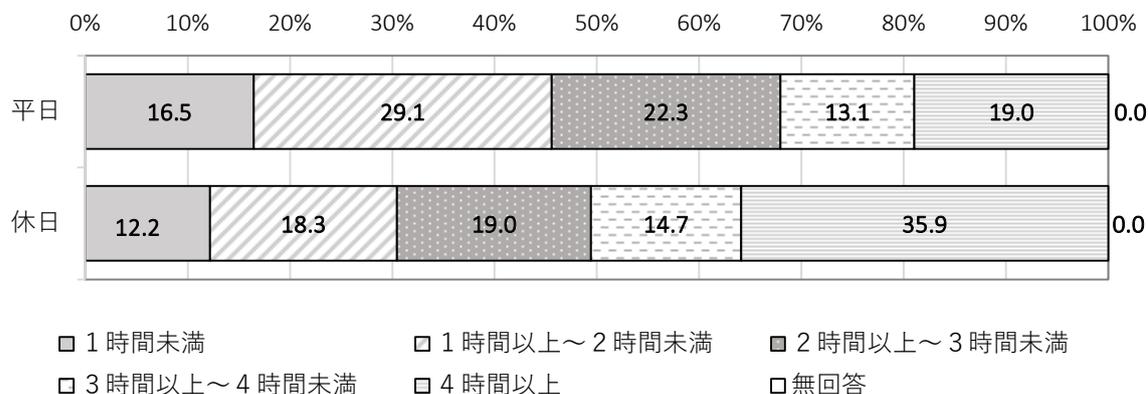


- 1時間未満
- 1時間以上～2時間未満
- 2時間以上～3時間未満
- 3時間以上～4時間未満
- 4時間以上
- 無回答

【小学生】

平日では「1時間以上～2時間未満」が 29.1%、休日では「4時間以上」が 35.9%と、最も多くなっています。

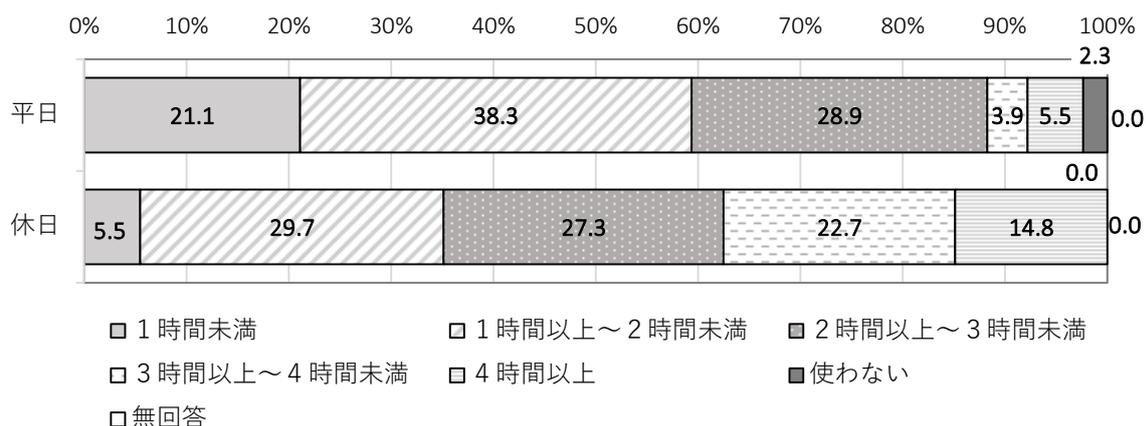
■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか(n=443)



【園児】

平日では「1時間未満」が21.1%、「1時間以上～2時間未満」が38.3%（合わせて59.4%）ですが、休日では「1時間未満」が 5.5%、「1時間以上～2時間未満」が 29.7%（合わせて35.2%）と低くなっています。

■インターネットを使った情報端末を1日にどの程度使用しているか(n=128)



4. たばこ

(1)喫煙率

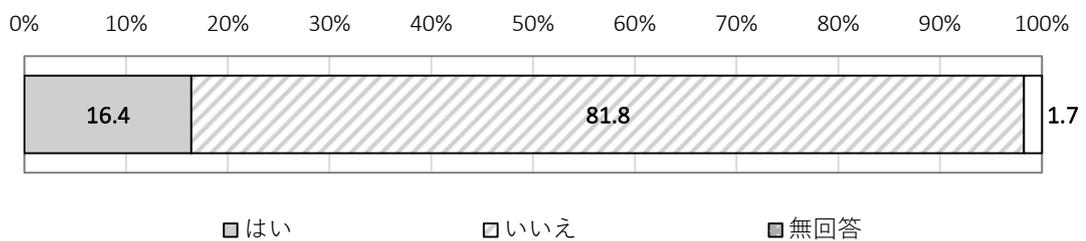
①たばこを吸っているか

「はい」が16.4%、「いいえ」が81.8%となっています。

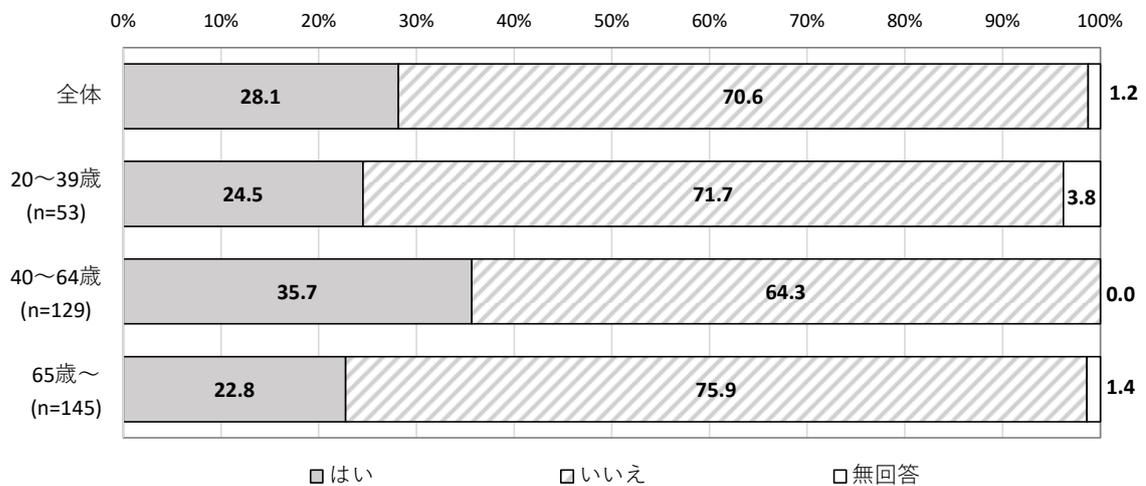
参考に、喫煙経験がある人で、現在吸っていない人は、全体で10.7%となっています。

性別・年齢区分別にみると、男性の「はい」が28.1%となっており、男性の「40～64歳」で「はい」が比較的高くなっています。

■たばこを吸っているか(n=748)



■性別×年齢区分×たばこを吸っているか<男性>(n=328)



■性別×年齢区分×たばこを吸っているか<女性>(n=414)

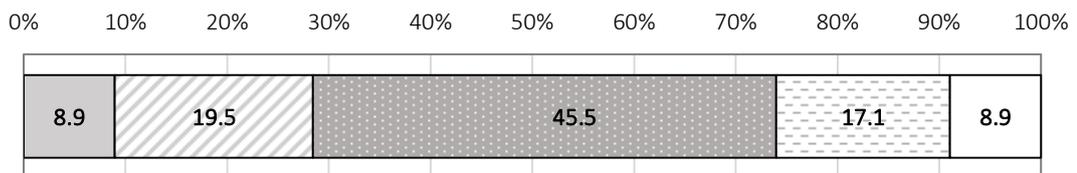


②(吸っている人)禁煙したいと思うか

「これから先もやめるつもりはない」が 45.5%と最も多くなっています。一方、「現在は吸っているが、近い将来(6 カ月以内)に禁煙したいと考えている」が 19.5%、「現在は吸っているが、すぐにでも禁煙したいと考えている」が 8.9%と禁煙を志向する人も 28.4%います。

性別・年齢区分別にみると、「これから先もやめるつもりはない」は特に 20~39 歳の女性で高くなっています。

■禁煙したいと思うか(n=123)



- 現在は吸っているが、すぐにでも禁煙したいと考えている
- 現在は吸っているが、近い将来(6カ月以内)に禁煙したいと考えている
- これから先もやめるつもりはない
- わからない
- 無回答

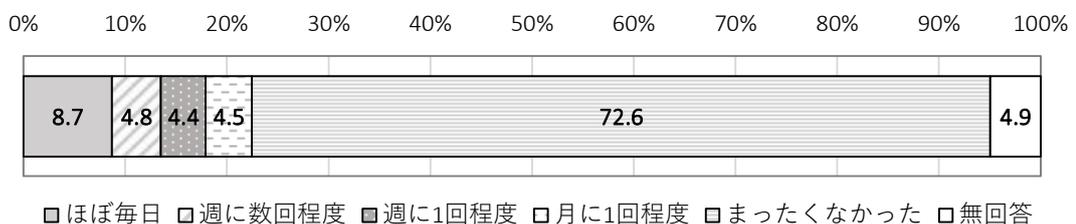
■性別×年齢区分×禁煙したいと思うか

		合計	(たばこを吸っている人) 禁煙したいと思うか				
			現在は吸っているが、すぐにも禁煙したいと考えている	現在は吸っているが、近い将来(6カ月以内)に禁煙したいと考えている	これから先もやめるとつもりはない	わからない	無回答
男	全体	93	10.8	19.4	46.2	14.0	9.7
	20～39歳	13	7.7	15.4	46.2	30.8	0.0
	40～64歳	46	10.9	19.6	43.5	15.2	10.9
	65歳～	33	12.1	21.2	48.5	6.1	12.1
女	全体	29	3.4	20.7	41.4	27.6	6.9
	20～39歳	7	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0
	40～64歳	14	0.0	35.7	21.4	28.6	14.3
	65歳～	8	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0

(2)家庭での受動喫煙

「まったくなかった」が72.6%と多くなっている一方、「毎日」8.7%、「週に数回程度」4.8%など家庭で受動喫煙している人が22.4%います。

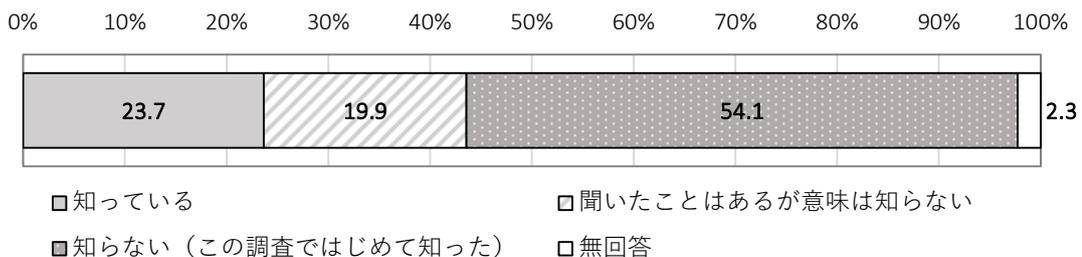
■この1か月に自分以外の人が吸ったタバコの煙を吸う機会が、自分の家庭であったか(n=748)



(3)慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度

「知っている」が23.7%、「聞いたことはあるが意味は知らない」が19.9%、「知らない(この調査ではじめて知った)」が54.1%となっています。

■「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」という病気を知っているか(n=748)



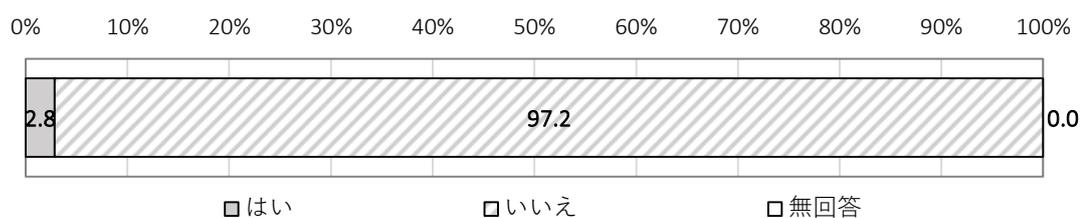
(4) たばこをすすめられた経験があるか

【高校生】

「はい」が2.8%、「いいえ」が97.2%となっています。

たばこをすすめた人との関係性については、友人、知人(近所の人を含む)、家族が挙げられました。

■ 今までにたばこをすすめられた経験があるか(n=282)

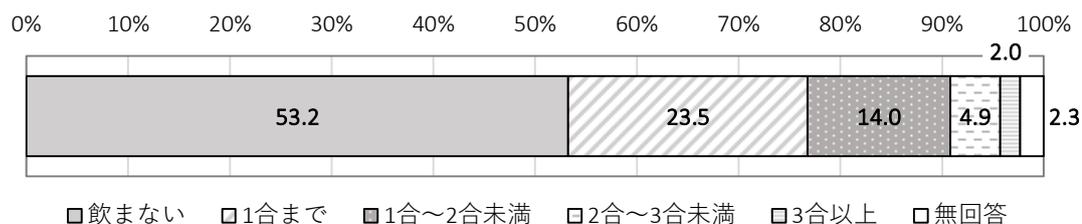


5. アルコール

(1) アルコールの分量の平均

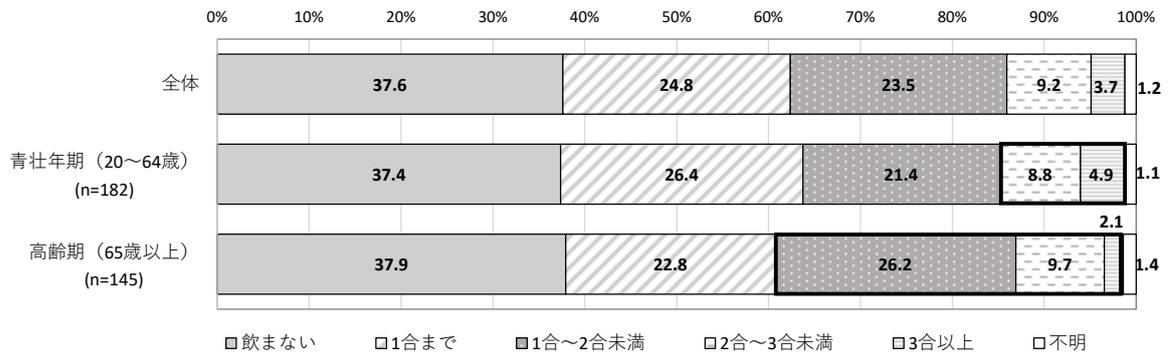
「飲まない」が53.2%と最も多く、飲む人の場合、「1合まで」が23.5%、「1合～2合未満」が14.0%などとなっています。

■ 1日に飲むアルコールの分量は平均どれくらいか(n=748)

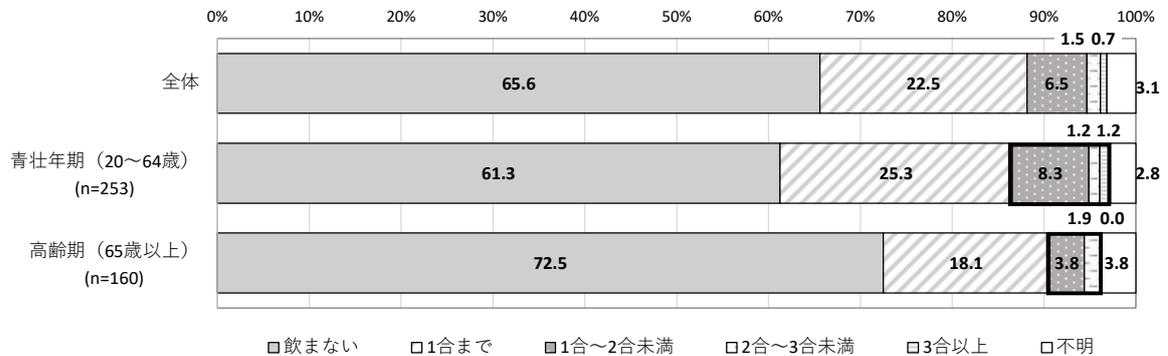


性別・ライフステージ別にみると、生活習慣病のリスクを高めるアルコール摂取量について、男性では、青壮年期で13.7%(2合以上)、高齢期で38.0%(1合以上)と、高齢期において高くなっています。女性では、青壮年期では10.7%(1合以上)、高齢期で5.7%(1合以上)と、青壮年期のほうが高くなっています。

■性別×ライフステージ×1日に飲むアルコールの分量は平均どれくらいか(男性)



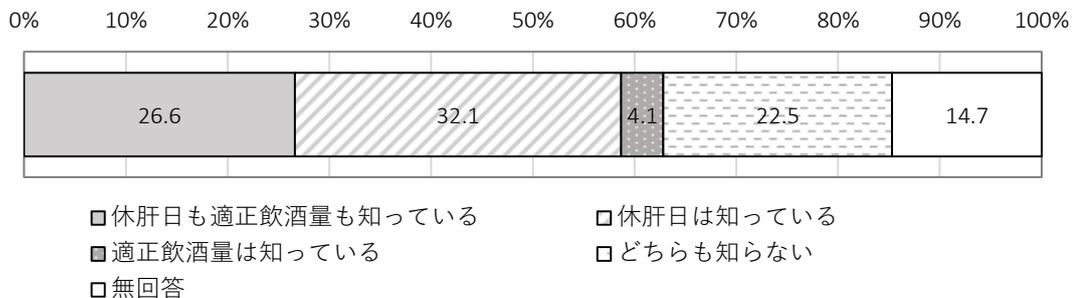
■性別×ライフステージ×1日に飲むアルコールの分量は平均どれくらいか(女性)



(2)休肝日や1日の適正飲酒量を知っているか

「休肝日も適正飲酒量も知っている」が 26.6%、「休肝日は知っている」が 32.1%、「適正飲酒量は知っている」が 4.1%、「どちらも知らない」が 22.5%となっています。

■休肝日や1日の適正飲酒量を知っているか(n=748)



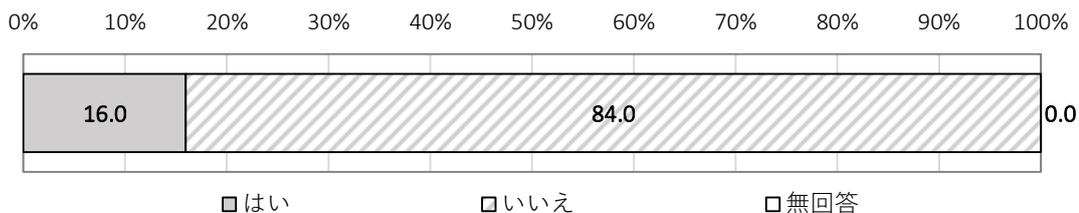
(3) お酒をすすめられた経験

① 今までにお酒をすすめられた経験があるか

【高校生】

「はい」が16.0%、「いいえ」が84.0%となっています。

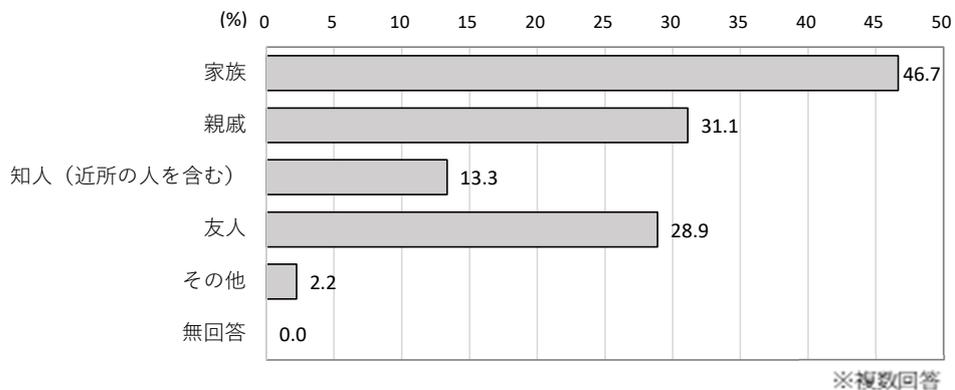
■ 今までにお酒をすすめられた経験があるか(n=282)



② (すすめられたことがある人) 誰にお酒をすすめられたか

誰にお酒をすすめられたかをみると、「家族」が46.7%と最も多く、次いで「親戚」が31.1%、「友人」が28.9%、「知人(近所の人を含む)」が13.3%となっています。

■ お酒をすすめた人とあなたの関係性(n=45)

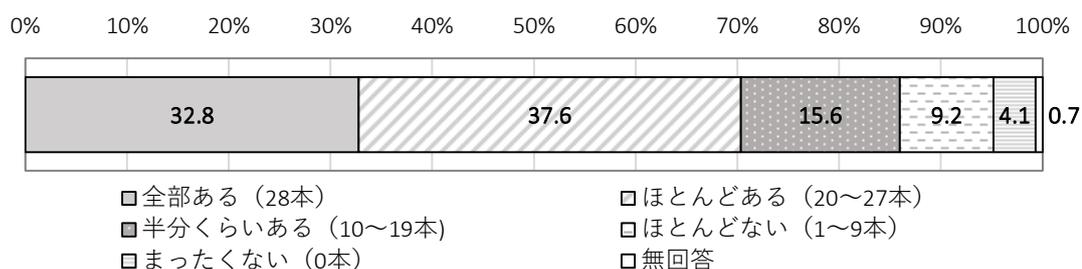


6. 歯・口腔の健康

(1)自分の歯はどれくらいあるか

「全部ある(28本)」が32.8%、「ほとんどある(20~27本)」が37.6%と多くなっています。次いで「半分くらいある(10~19本)」が15.6%、「ほとんどない(1~9本)」が9.2%、「まったくない(0本)」が4.1%となっています。

■自分の歯はどの程度あるか(n=748)



■性別×年代×自分の歯はどの程度あるか(50歳以上)

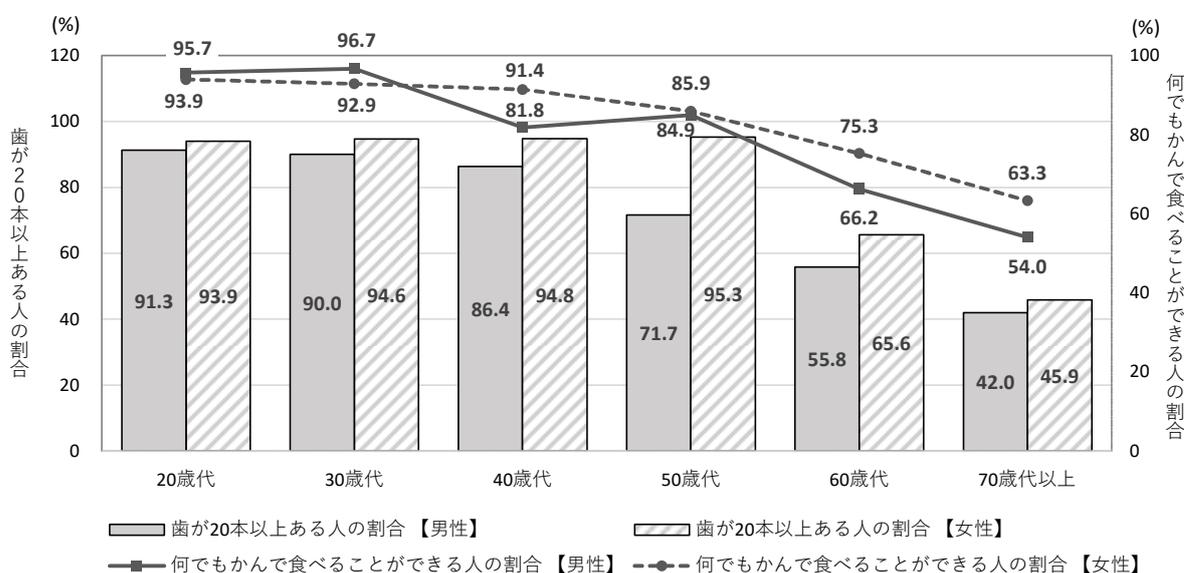
		合計	自分の歯はどれくらいあるか (50歳以上)					無回答
			全部ある (28本)	ほとんど ある (20 ~27本)	半分くら いある (10~19 本)	ほとんど ない (1~9本)	まったく ない (0本)	
男	全体	230	25.6	38.4	16.5	13.1	5.8	0.6
	50歳代	53	26.4	45.3	17.0	9.4	1.9	0.0
	60歳代	77	9.1	46.8	23.4	14.3	6.5	0.0
	70歳代以上	100	7.0	35.0	23.0	23.0	10.0	2.0
女	全体	266	38.4	37.0	14.7	6.3	2.9	0.7
	50歳代	64	39.1	56.3	4.7	0.0	0.0	0.0
	60歳代	93	25.8	39.8	25.8	7.5	0.0	1.1
	70歳代以上	109	10.1	35.8	28.4	16.5	7.3	1.8

性別・年代別にみると、20本以上あるのは、男性では50歳代で71.7%、60歳代で55.8%、70歳以上で42.0%、女性では50歳代で95.3%、60歳代で65.6%、70歳以上で45.9%となっています。

また、かんで食べる時の状態について、性別・年代別にみると、「何でもかんで食べることができる」は男性では50歳代で84.9%、60歳代で66.2%、70歳以上で54.0%、女性では50歳代で85.9%、60歳代で75.3%、70歳以上で63.3%となっています。

■性別×年代×歯が20本以上ある(男性:n=328、女性:n=414)

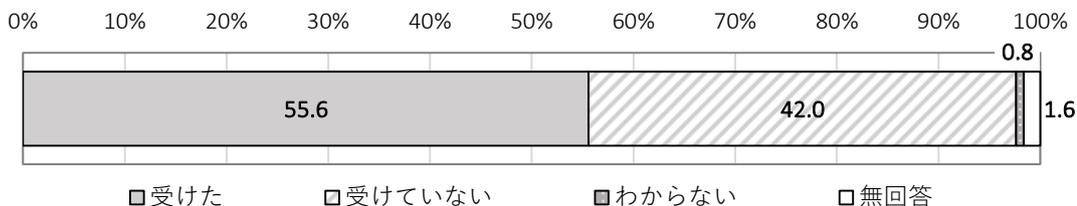
■性別×年代×何でもかんで食べることができる(男性:n=328、女性:n=414)



(2) 歯科検診の受診状況

「受けた」が55.6%、「受けていない」が42.0%などとなっています。

■過去一年間に虫歯などの治療以外に歯科検診(歯の健康診断)を受けたか(n=748)



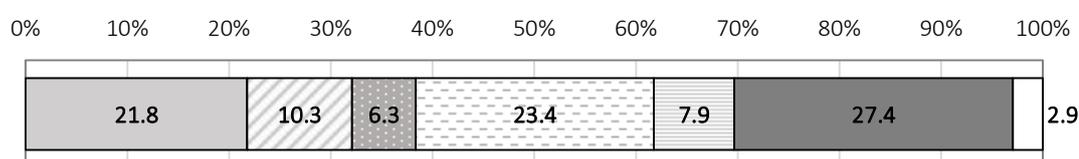
(3) 歯みがき以外の口腔ケア

① 歯みがきの他に、意識して口腔衛生を保つことを行っているか

「週5回以上は行っている」が27.4%、「週1~4回は行っている」が7.9%、「不定期に行っている」が23.4%となっています。また、「現在は行っていないが、近い将来(6カ月以内)に始めようと思っている」が6.3%、「以前はしていたが現在はしていない」が10.3%、「現在は行っていない。また、これから先もするかわからない」が21.8%となっています。

性別・年齢区分別にみると、何らかの頻度で「行っている」人の割合は、各年齢区分において女性のほうが高くなっています。

■ 歯みがきの他に、意識して口腔衛生を保つことを行っているか(n=748)



- 現在は行っていない。また、これから先もするかわからない
- 以前はしていたが現在はしていない
- 現在は行っていないが、近い将来(6カ月以内)に始めようと思っている
- 不定期に行っている
- 週1~4回は行っている
- 週5回以上は行っている
- 無回答

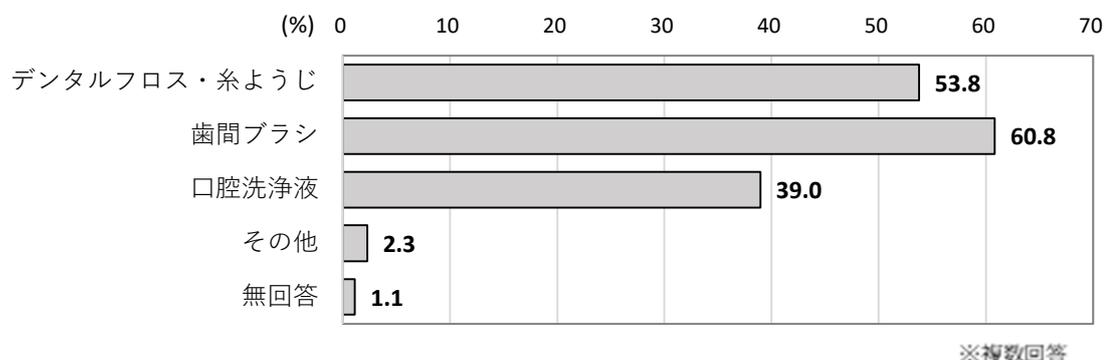
■ 性別×年齢区分×歯みがきの他に、意識して口腔衛生を保つことを行っているか

		合計	歯磨きの他に、意識して口腔衛生を保つことを行っているか						無回答
			現在は行っていない。また、これから先もするかわからない	以前はしていたが現在はしていない	現在は行っていないが、近い将来(6カ月以内)に始めようと思っている	不定期に行っている	週1~4回は行っている	週5回以上は行っている	
男	全体	328	31.1	11.9	5.5	20.4	6.7	21.3	3.0
	20~39歳	53	30.2	5.7	13.2	28.3	9.4	13.2	0.0
	40~64歳	129	29.5	15.5	4.7	24.8	4.7	19.4	1.6
	65歳~	145	33.1	10.3	3.4	13.8	7.6	26.2	5.5
女	全体	414	14.7	8.9	6.8	25.8	8.7	32.1	2.9
	20~39歳	89	18.0	9.0	11.2	25.8	13.5	22.5	0.0
	40~64歳	164	13.4	9.1	4.9	31.1	10.4	30.5	0.6
	65歳~	160	14.4	8.8	6.3	20.0	4.4	39.4	6.9

②(行っている人)使用している歯間部清掃用具等

「歯間ブラシ」が 60.8%と最も多く、次いで「デンタルフロス・糸ようじ」53.8%、「口腔洗浄液」39.0%となっています。

■ 次の歯間部清掃用具等を使用しているか(n=439)



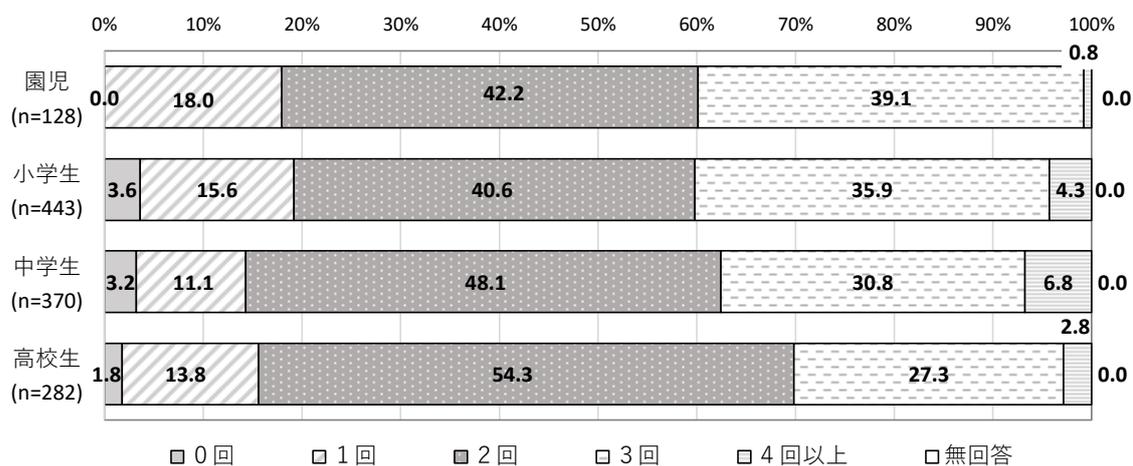
(4) 歯みがきの状況

① 1日何回歯みがきをしているか

【高校生・中学生・小学生・園児】

どの年代においても、「2回」が最も多くなっています。

■ 1日何回歯みがきをしているか

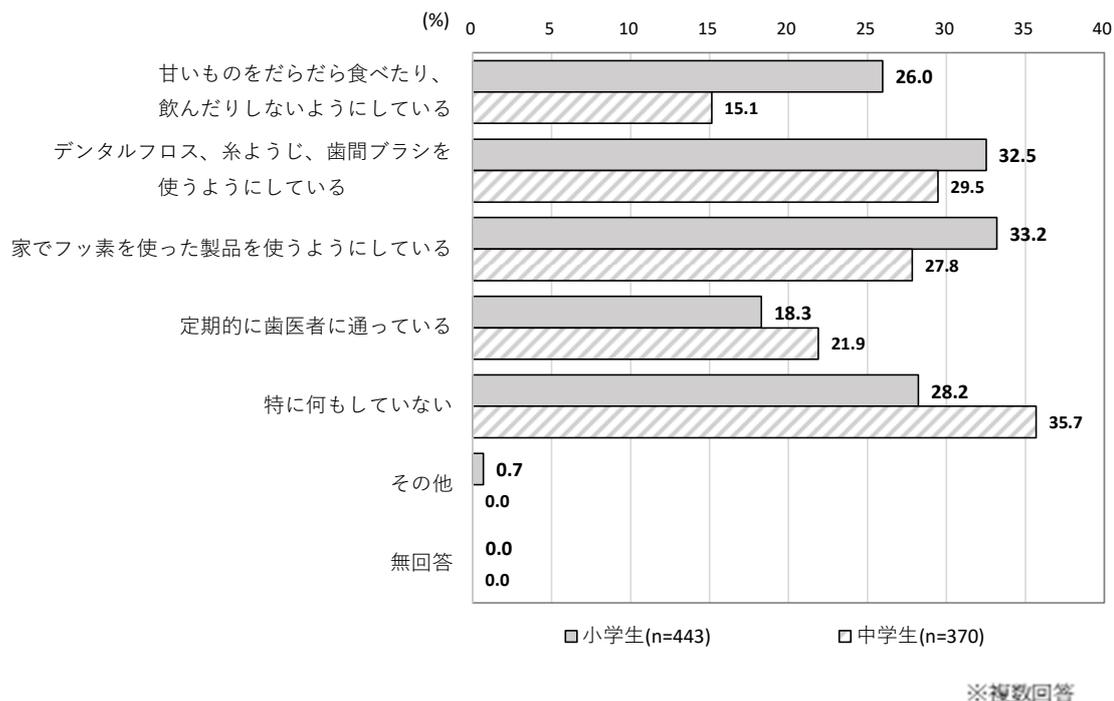


②歯の健康を守るためにしていること

【中学生・小学生】

小学生では、「家でフッ素を使った製品を使うようにしている」が 33.2%と最も多く、中学生では、「特に何もしていない」が 35.7%と最も多くなっています。

■歯の健康を守るためにしていること

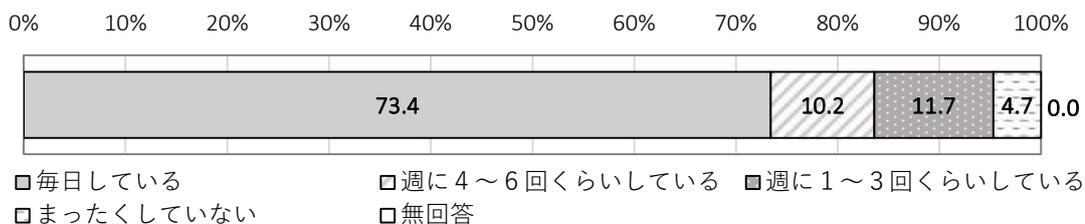


③お子さんに大人が仕上げみがきをしているか【園児】

【園児】

「毎日している」が 73.4%と最も多く、次いで「週に1~3回くらいしている」が 11.7%、「週に4~6回くらいしている」が 10.2%、「まったくしていない」が 4.7%となっています。

■大人が仕上げみがきをしているか(n=128)

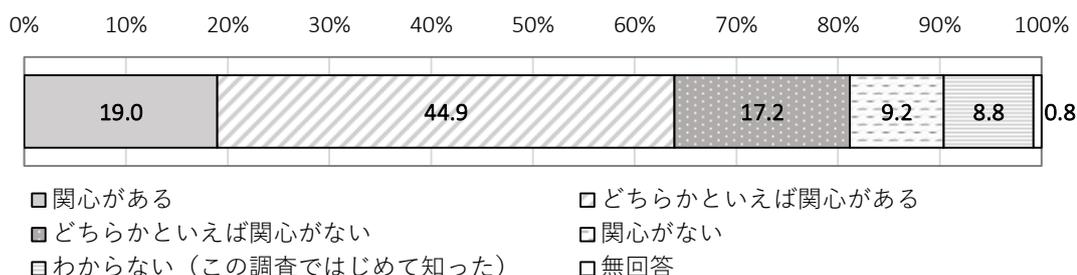


7. 栄養・食生活

(1) 食育への関心

「関心がある」19.0%、「どちらかといえば関心がある」44.9%(合わせて 63.9%)であるのに対し、「どちらかといえば関心がない」17.2%、「関心がない」9.2%(合わせて 26.4%)となっています。

■「食育」に関心があるか(n=748)



性別・年齢区別にみると、女性のほうが関心が高く、特に 40 歳以上で高くなっています。また、男性の 20～39 歳では関心が高くなっています。

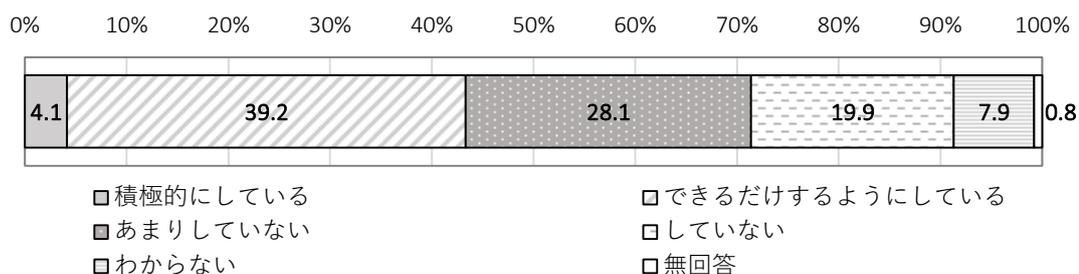
■性別×年齢区分×「食育」に関心があるか

		合計	「食育」に関心があるか					無回答
			関心がある	どちらか といえば 関心がある	どちらか といえば 関心がない	関心がない	わからない(この 調査ではじめて 知った)	
男	全体	328	15.9	39.3	21.6	11.9	10.7	0.6
	20～39歳	53	24.5	39.6	11.3	11.3	11.3	1.9
	40～64歳	129	15.5	31.0	24.0	15.5	14.0	0.0
	65歳～	145	13.1	46.2	23.4	9.0	7.6	0.7
女	全体	414	21.5	49.3	13.5	7.2	7.5	1.0
	20～39歳	89	14.6	44.9	12.4	15.7	12.4	0.0
	40～64歳	164	18.3	57.3	15.2	4.9	3.0	1.2
	65歳～	160	28.8	43.8	11.9	5.0	9.4	1.3

(2)食育の実践

「積極的にしている」4.1%、「できるだけするようにしている」39.2%(合わせて43.3%)であるのに対し、「あまりしていない」28.1%、「していない」19.9%(合わせて48.0%)となっています。

■日頃から、「食育」を何らかの形で実践しているか(n=748)



性別・年齢区分別にみると、女性のほうが「している」割合が高く、特に40歳以上で高くなっています。

■性別×年齢区分×日頃から、「食育」を何らかの形で実践しているか

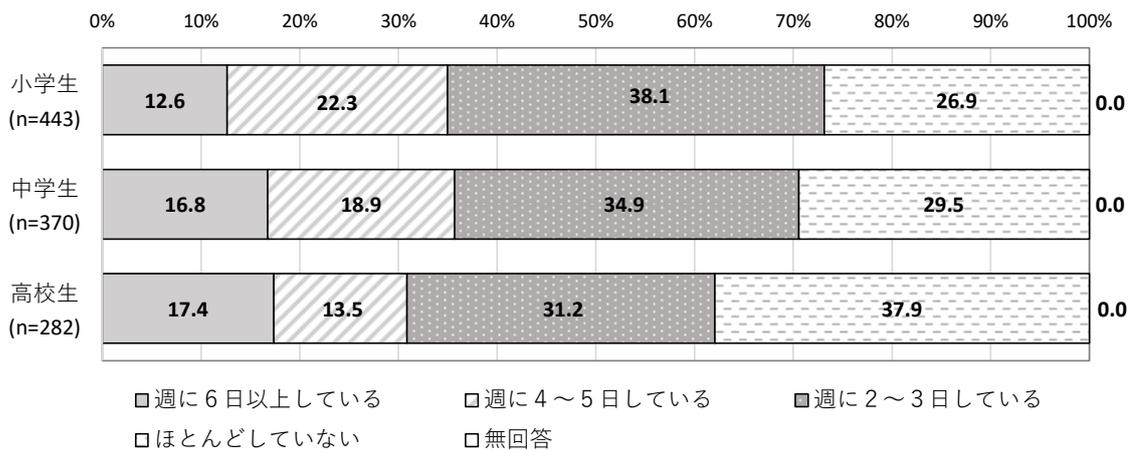
		合計	「食育」を何らかの形で実践しているか					
			積極的にしている	できるだけするようにしている	あまりしていない	していない	わからない	無回答
男	全体	328	2.4	29.9	29.6	26.5	11.0	0.6
	20～39歳	53	1.9	28.3	28.3	30.2	9.4	1.9
	40～64歳	129	3.1	25.6	25.6	33.3	12.4	0.0
	65歳～	145	2.1	33.8	33.8	19.3	10.3	0.7
女	全体	414	5.6	46.4	26.6	15.0	5.6	1.0
	20～39歳	89	1.1	31.5	30.3	27.0	10.1	0.0
	40～64歳	164	4.3	47.6	29.3	15.9	1.8	1.2
	65歳～	160	9.4	53.8	21.9	7.5	6.3	1.3

(3)家で料理に関することをしているか

【高校生・中学生・小学生】

家で、食事の用意や片付け、食材の買い出しや料理のお手伝いなど食事に関することをしているかをみると、小学生、中学生では、「週に2～3日している」が最も多くなっており、高校生では「ほとんどしていない」が最も多くなっています。

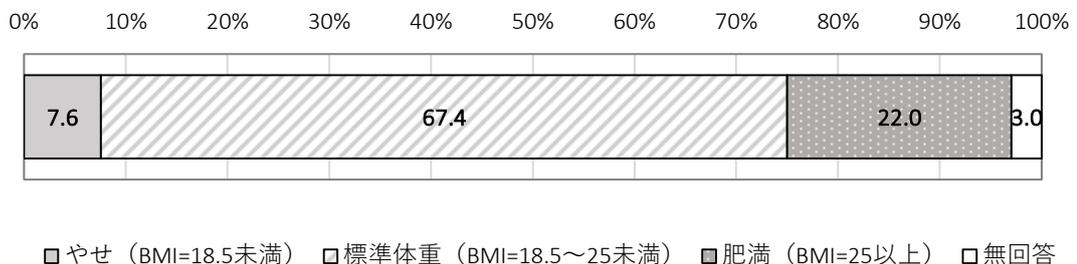
■家で料理に関することをしているか



(4)BMI

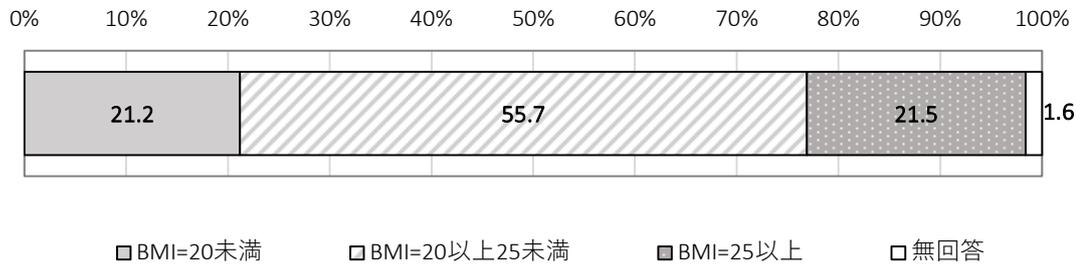
青壮年期では、「標準体重(BMI=18.5～25未満)」が67.4%と最も多くを占めています。「肥満(BMI=25以上)」が22.0%、「やせ(BMI=18.5未満)」が7.6%などとなっています。高齢者についてみると、やせである「BMI=20未満」が21.2%となっています。

■BMI(青壮年期)(n=436)



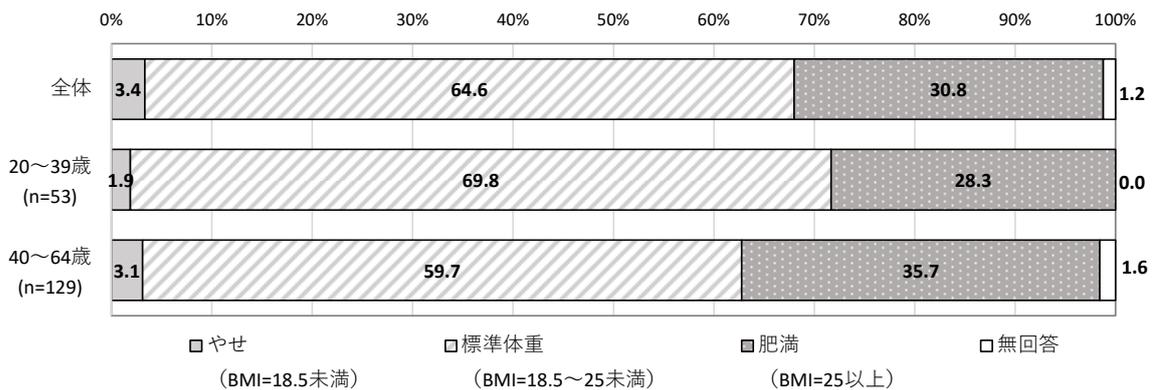
■BMI(高齢期)(n=307)

(※高齢者(65歳以上)は20未満、20以上25未満の区分で抽出)

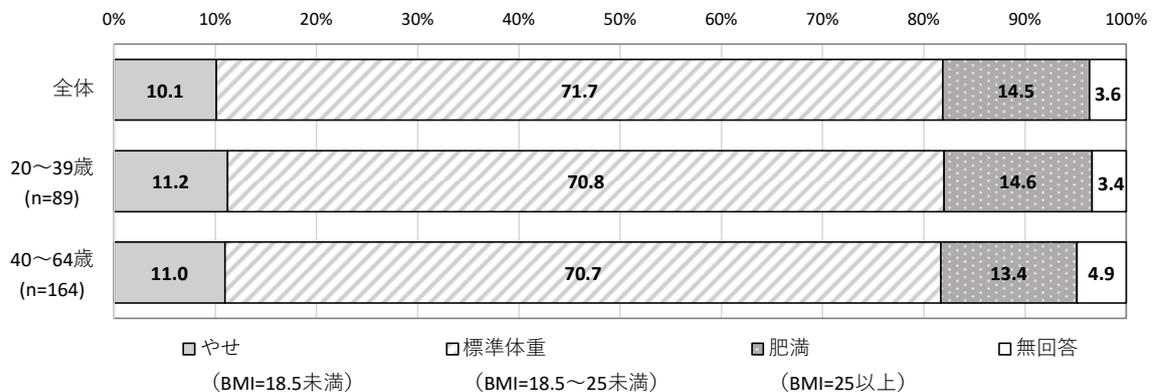


性別・年齢区分別にみると、男性では40歳以上になると「肥満(BMI=25以上)」が増えているのに対し、女性ではあまり違いはありません。

■性別×年齢区分×BMI(青壮年期)(男性)

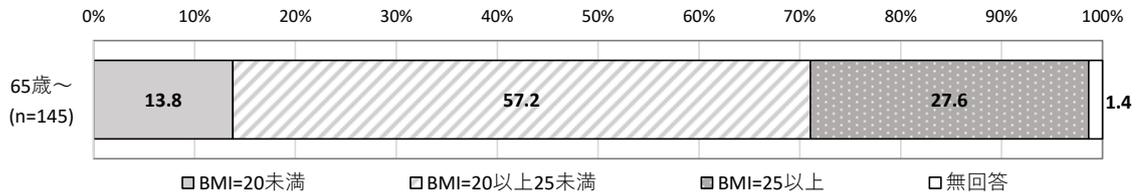


■性別×年齢区分×BMI(青壮年期)(女性)

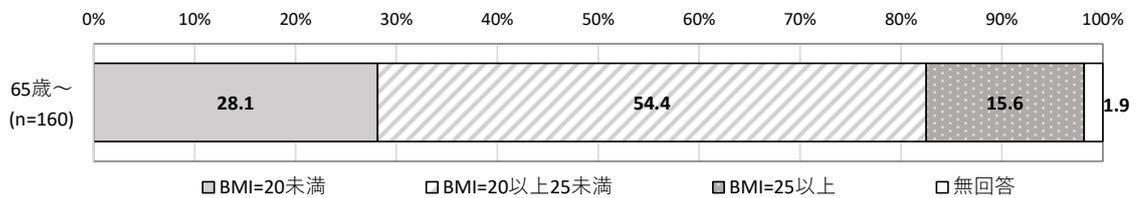


高齢者についてみると、男性のほうが「肥満」が多く、女性のほうが「やせ」が多くなっています。

■性別×年齢区分×BMI(高齢期)(男性)



■性別×年齢区分×BMI(高齢期)(女性)

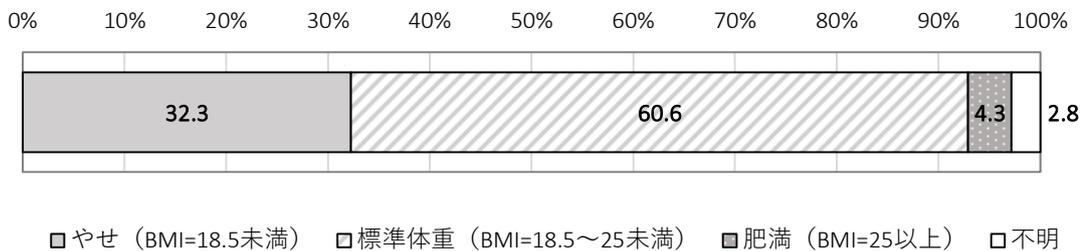


【高校生】

高校生では、「標準体重」が 60.6%と最も多く、次いで「やせ」が 32.3%、「肥満」が 4.3% などとなっています。

性別で見ると、やせでは女性 33.8%、男性 30.1%で女性のほうが多く、肥満は男性 5.9%、女性 2.9%と男性のほうが多くなっています。

■BMI(n=282)



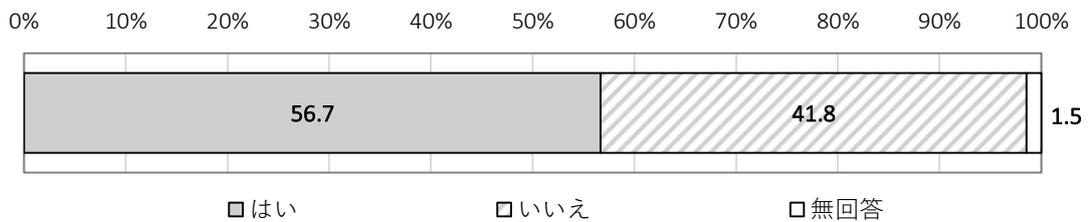
■性別×BMI

		合計	BMI			無回答
			やせ (BMI=18.5未 満)	標準体重 (BMI=18.5~25 未満)	肥満 (BMI=25以上)	
男	全体	136	30.1	64.0	5.9	0.0
女	全体	136	33.8	58.8	2.9	4.4

(5)野菜の目標摂取量の認知度

「はい」が56.7%、「いいえ」が41.8%となっています。
性別でみると、「はい」は男性で47.3%、女性64.5%となっています。

■野菜の1日の目標摂取量(350g)を知っているか(n=748)



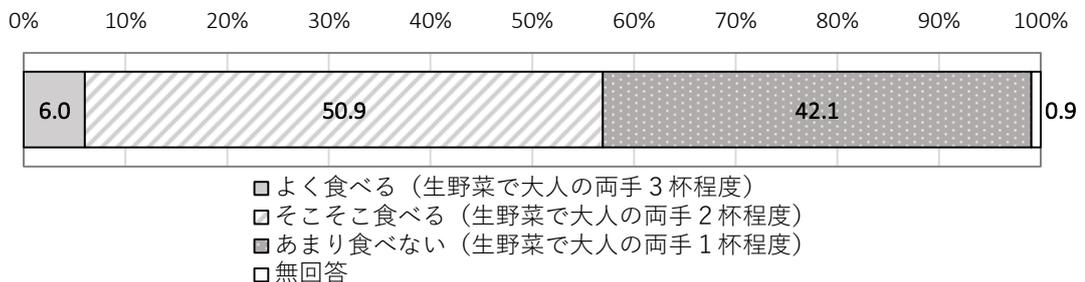
■性別×野菜の1日の目標摂取量(350g)を知っているか

		合計	野菜の1日の目標摂取量を知っているか		
			はい	いいえ	無回答
全体		748	56.7	41.8	1.5
性別	男	328	47.3	51.2	1.5
	女	414	64.5	34.1	1.4

(6)野菜の1日の摂取量

「そこそこ食べる(生野菜で大人の両手2杯程度)」が50.9%、「あまり食べない(生野菜で大人の両手1杯程度)」が42.1%などとなっています。

■野菜を1日にどのくらい食べているか(n=748)



性別・年齢区分別にみると、女性のほうが「よく食べる(生野菜で大人の両手3杯程度)」の割合が高くなっています。

■性別×年齢区分×野菜を1日にどのくらい食べているか

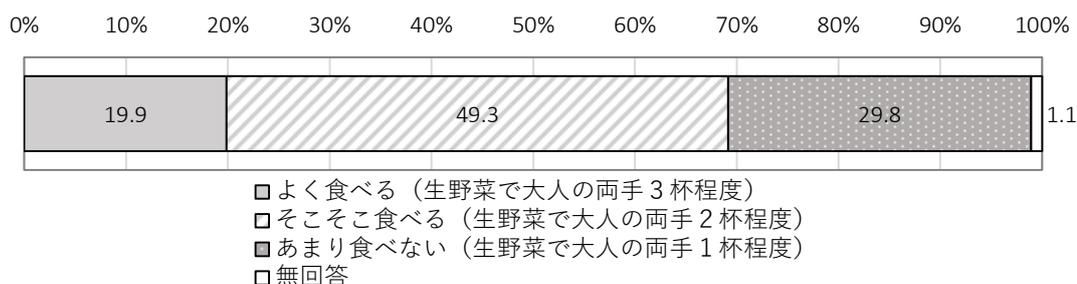
		合計	野菜を1日にどのくらい食べるか			
			よく食べる(生野菜で大人の両手3杯程度)	そこそこ食べる(生野菜で大人の両手2杯程度)	あまり食べない(生野菜で大人の両手1杯程度)	無回答
男	全体	328	4.0	50.0	44.5	1.5
	20~39歳	53	1.9	54.7	41.5	1.9
	40~64歳	129	3.9	43.4	50.4	2.3
	65歳~	145	4.8	53.8	40.7	0.7
女	全体	414	7.7	51.4	40.3	0.5
	20~39歳	89	11.2	39.3	49.4	0.0
	40~64歳	164	3.7	51.8	43.3	1.2
	65歳~	160	10.0	58.1	31.9	0.0

【高校生】

「そこそこ食べる(生野菜で大人の両手2杯程度)」が 49.3%と最も多く、次いで「あまり食べない(生野菜で大人の両手1杯程度)」が 29.8%、「よく食べる(生野菜で大人の両手3杯程度)」が 19.9%となっています。

性別でみると、「よく食べる」は、男性 20.6%、女性 16.9%となっています。

■野菜を1日にどのくらい食べているか(n=282)



■性別×野菜を1日にどのくらい食べているか

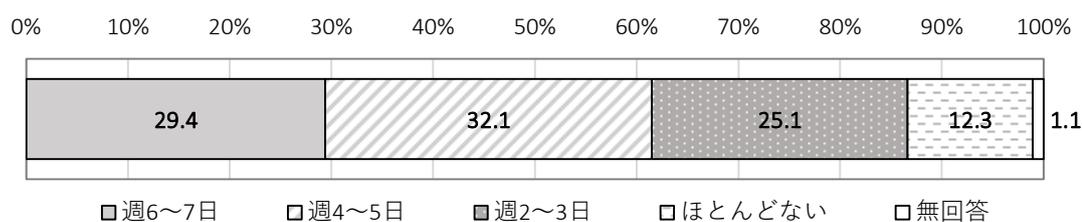
		合計	野菜を1日にどのくらい食べるか			
			よく食べる(生野菜で大人の両手3杯程度)	そこそこ食べる(生野菜で大人の両手2杯程度)	あまり食べない(生野菜で大人の両手1杯程度)	無回答
男	全体	136	20.6	47.8	30.1	1.5
女	全体	136	16.9	52.2	30.1	0.7

(7) バランスのよい食事がとれている頻度

「週 4～5 日」が 32.1%と最も多く、次いで「週 6～7 日」29.4%、「週 2～3 日」25.1%となっており、「ほとんどない」は 12.3%となっています。

性別・年齢区分別にみると、女性では「週 6～7 日」が 20～39 歳では低く、65 歳以上では高くなっています。

■「主食・主菜・副菜」の3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日あるか(n=748)



■性別×年齢区分×

「主食・主菜・副菜」の3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日あるか

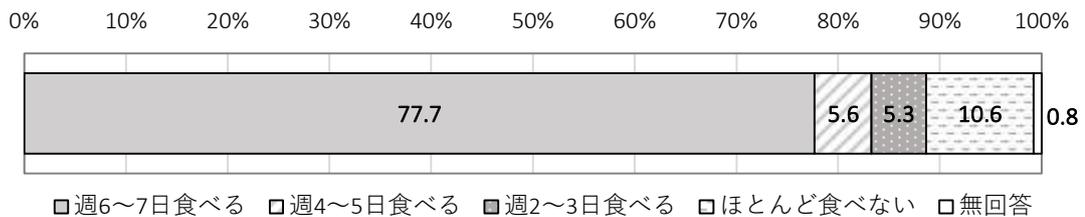
		合計	「主食・主菜・副菜」を揃えて食べるのが 1日2回以上あるのは週何回か				
			週6～7日	週4～5日	週2～3日	ほとんど ない	無回答
男	全体	328	26.2	30.2	29.3	13.1	1.2
	20～39歳	53	22.6	32.1	24.5	20.8	0.0
	40～64歳	129	24.0	30.2	31.8	11.6	2.3
	65歳～	145	29.7	29.7	28.3	11.7	0.7
女	全体	414	31.6	34.1	21.5	11.8	1.0
	20～39歳	89	16.9	31.5	32.6	19.1	0.0
	40～64歳	164	28.7	32.9	24.4	13.4	0.6
	65歳～	160	43.1	36.9	12.5	5.6	1.9

(8)朝食の摂取状況

「週 6～7 日食べる」が 77.7%と最も多く、「週 4～5 日食べる」が 5.6%、「週 2～3 日食べる」が 5.3%となっています。一方「ほとんど食べない」は 10.6%となっています。

性別・年齢区分別にみると、男性の 20 歳～64 歳では「ほとんど食べない」が「週 4～5 日食べる」、「週 2～3 日食べる」よりも高くなっています。

■ふだん朝食をとるか(n=748)



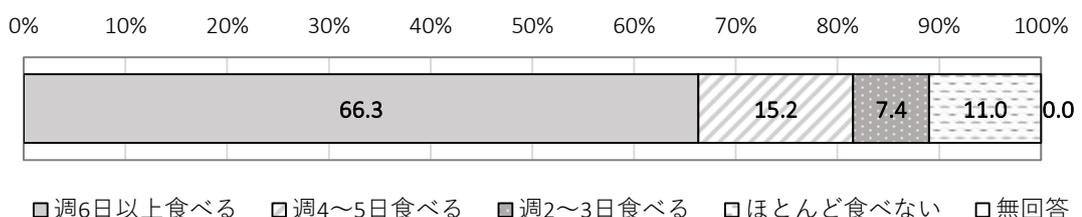
■性別×年齢区分×ふだん朝食をとるか

		合計	ふだん朝食をとるか				
			週6～7日 食べる	週4～5日 食べる	週2～3日 食べる	ほとんど 食べない	無回答
男	全体	328	75.0	5.8	5.5	12.5	1.2
	20～39歳	53	60.4	9.4	11.3	18.9	0.0
	40～64歳	129	68.2	6.2	3.1	20.2	2.3
	65歳～	145	86.2	4.1	5.5	3.4	0.7
女	全体	414	80.2	5.6	5.1	8.7	0.5
	20～39歳	89	67.4	3.4	12.4	16.9	0.0
	40～64歳	164	75.6	7.3	5.5	11.0	0.6
	65歳～	160	91.9	5.0	0.6	1.9	0.6

【高校生】

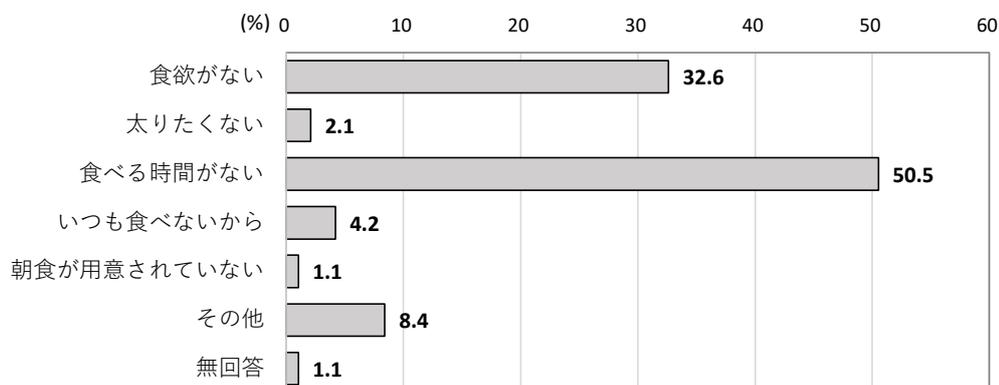
「週 6 日以上食べる」が 66.3%と最も多く、「週 4～5 日食べる」が 15.2%、「週 2～3 日食べる」が 7.4%となっています。一方「ほとんど食べない」は 11.0%となっています。

■ふだん朝食を食べるか(n=282)



朝食を食べなかった時の理由をみると、「食べる時間がない」が 50.5%と最も多く、次いで「食欲がない」が 32.6%、「いつも食べないから」が 4.2%、「太りたくない」が 2.1%などとなっています。

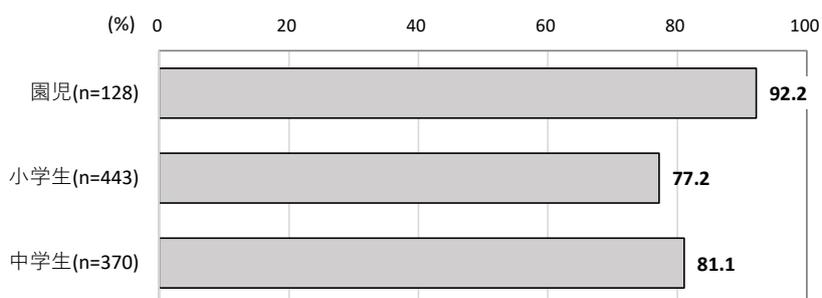
■(週に2日以上食べない日がある人)朝食を食べなかった時の理由(n=95)



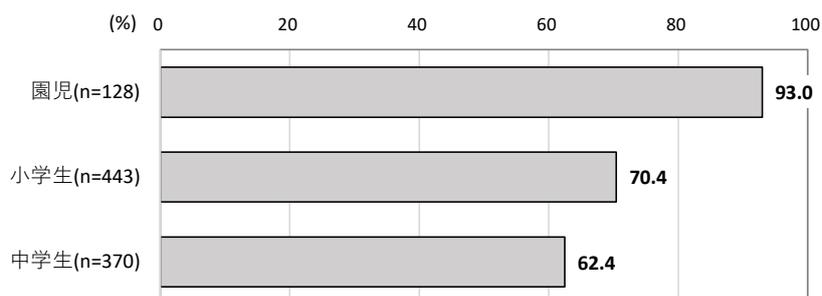
【園児・小学生・中学生】

平日、休日ともに、朝食をいつも食べる人は、園児で最も多くなっています。小学生では、平日では 77.2%ですが、休日では 70.4%と低くなっています。中学生では、平日では 81.1%ですが、休日では 62.4%とおおよそ2割程度低くなっています。

■朝食を「いつも食べる」人の割合(平日)



■朝食を「いつも食べる」人の割合(休日)

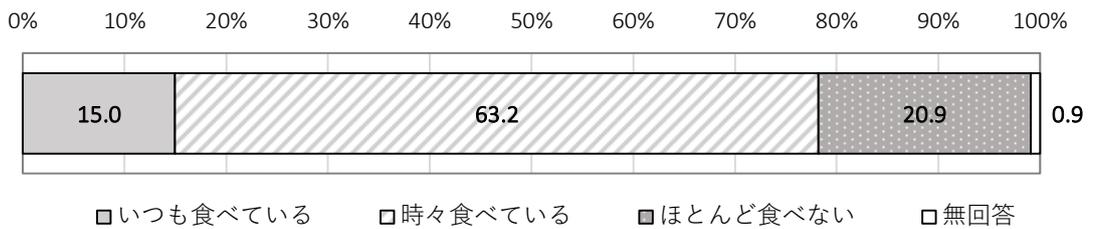


(9)塩分の摂取状況

「時々食べている」が 63.2%と最も多く、次いで「ほとんど食べない」20.9%、「いつも食べている」15.0%となっています。

性別・年齢区分別で見ると、男性の20～39歳では「いつも食べている」が32.1%と最も高くなっています。

■食塩(塩分)の多い食品や味付けの濃い料理をよく食べるか(n=748)



■性別×年齢区分×食塩(塩分)の多い食品や味付けの濃い料理をよく食べるか

		合計	食塩(塩分)の多い食品や味付けの濃い料理をよく食べるか			
			いつも食べている	時々食べている	ほとんど食べない	無回答
男	全体	328	17.4	64.6	16.8	1.2
	20～39歳	53	32.1	54.7	13.2	0.0
	40～64歳	129	19.4	64.3	14.0	2.3
	65歳～	145	10.3	69.0	20.0	0.7
女	全体	414	13.3	61.6	24.4	0.7
	20～39歳	89	14.6	64.0	21.3	0.0
	40～64歳	164	17.1	66.5	15.9	0.6
	65歳～	160	8.1	55.6	35.0	1.3

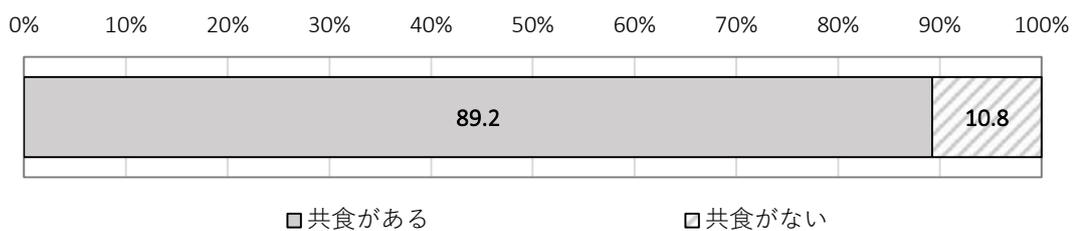
(10)共食の状況

朝食かつ夕食で誰とも一緒に食事を食べていない人(共食がない)人は、10.8%となっています。

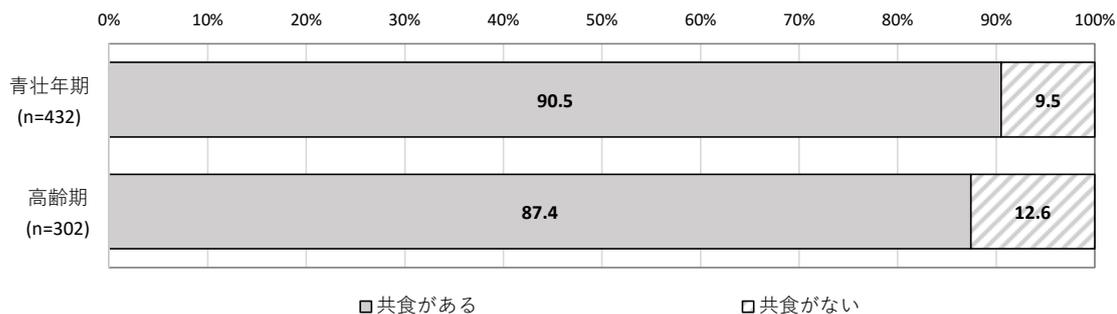
ライフステージ別で見ると、青壮年期では9.5%、高齢期では12.6%となっています。

■共食がない(n=734)

(朝食および夕食で誰かと一緒に食べる日がない人)



■ライフステージ×共食がない

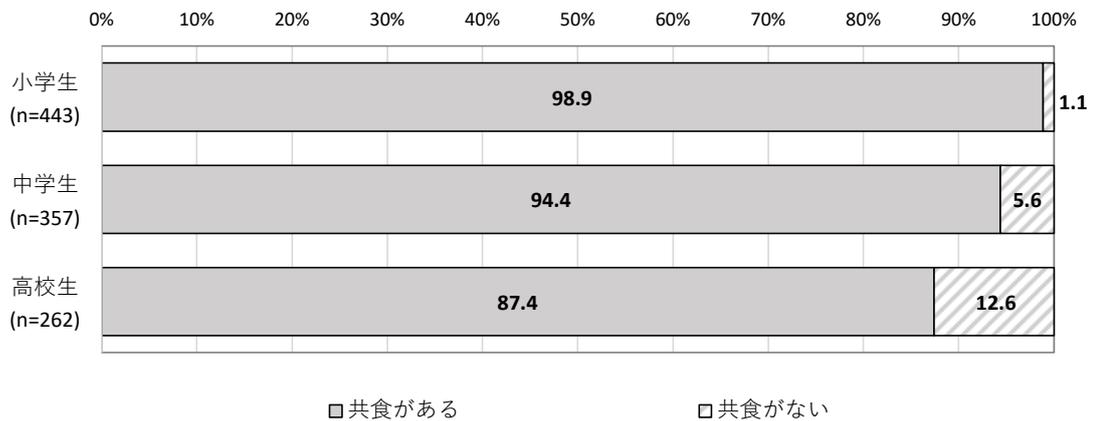


※無回答の人は除く

【小学生・中学生・高校生】

共食がない人の割合は、中学生、高校生となるにつれ高くなっており、高校生では 12.6% となっています。

■共食がない

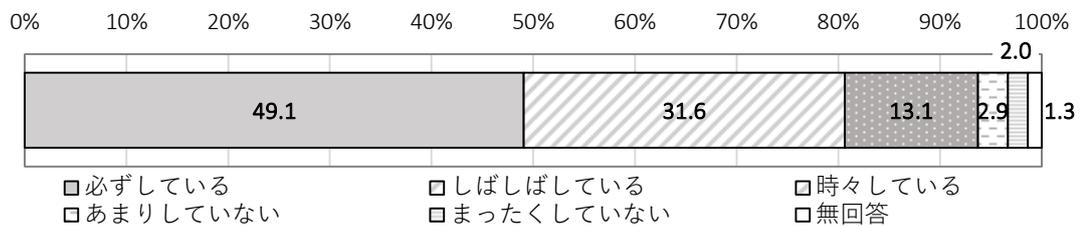


※無回答および食べないと回答した人は除く

(11) 食べ残しを減らす努力をしているか

「必ずしている」が 49.1% と最も多く、次いで「しばしばしている」31.6%、「時々している」13.1% などとなっています。

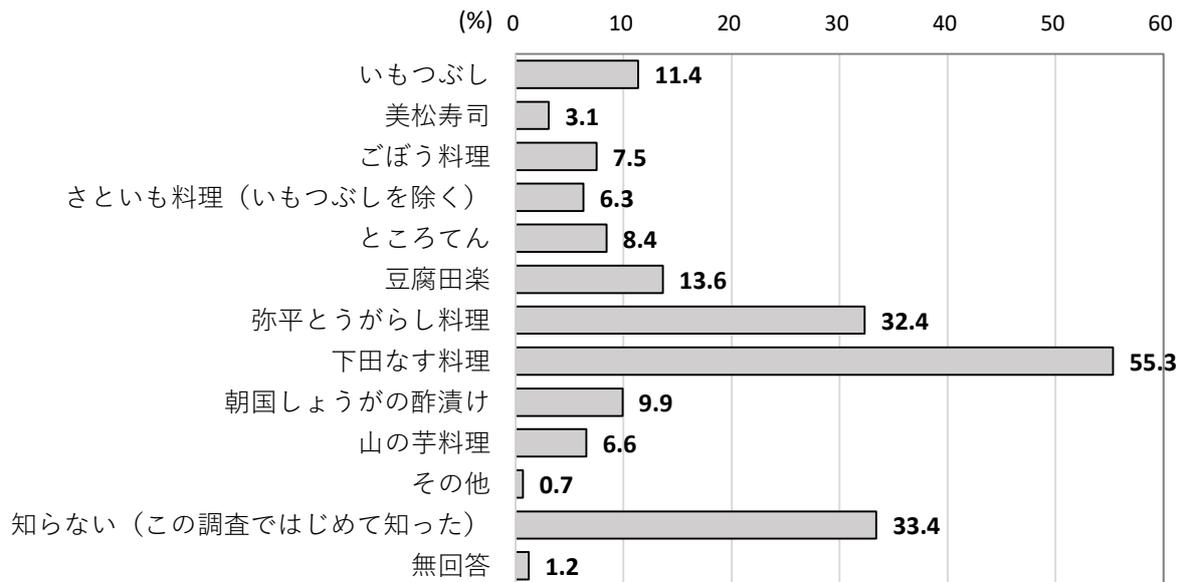
■食べ残しを減らす努力をしているか (n=748)



(12)住んでいる地域の郷土料理・伝統料理を知っているか

「下田なす料理」が55.3%と最も多く、次いで「弥平とうがらし料理」が32.4%、「豆腐田楽」が13.6%、「いもつぶし」が11.4%などとなっています。一方「知らない」は33.4%となっています。

■地域の郷土料理・伝統料理を何種類知っているか(n=748)



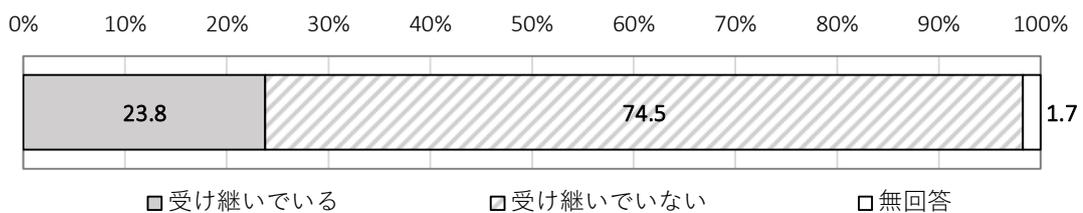
※複数回答

(13)地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいるか

「受け継いでいる」が23.8%であるのに対し、「受け継いでいない」が74.5%となっています。

ライフステージ別にみると、高齢期(65歳以上)で「受け継いでいる」がやや高くなっているものの、26.4%にとどまっています。

■地域や家庭で受け継がれてきた食べ方・作法を受け継いでいるか(n=748)



■ライフステージ×地域や家庭で受け継がれてきた食べ方・作法を受け継いでいるか

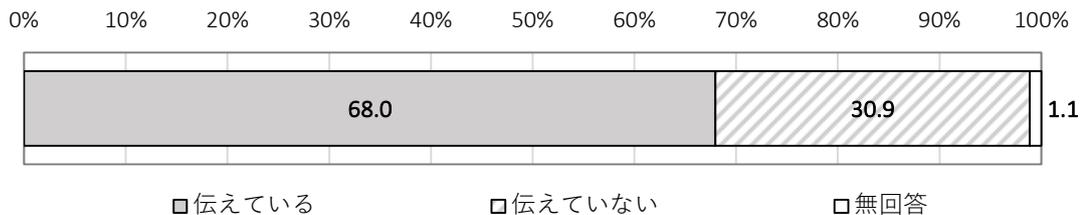
		合計	地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、食べ方・作法を受け継いでいるか		
			受け継いでいる	受け継いでいない	無回答
全体		748	23.8	74.5	1.7
年齢	青壮年期（20～64歳）	436	22.2	77.1	0.7
	高齢期（65歳以上）	307	26.4	70.4	3.3

(14)受け継いできた料理や味、食べ方・作法を、地域や次世代に伝えているか

「伝えている」が68.0%、「伝えていない」が30.9%となっています。

ライフステージ別にみても全体の傾向とほぼ同様になっています。

■地域や家庭で受け継がれてきた食べ方・作法を地域や次世代に対し伝えているか(n=178)



■ライフステージ×地域や家庭で受け継がれてきた食べ方・作法を地域や次世代に対し伝えているか

		合計	受け継いできた料理や味、食べ方・作法を地域や次世代に伝えているか		
			伝えている	伝えていない	無回答
全体		178	68.0	30.9	1.1
年齢	青壮年期（20～64歳）	97	68.0	32.0	0.0
	高齢期（65歳以上）	81	67.9	29.6	2.5

8. こころの健康

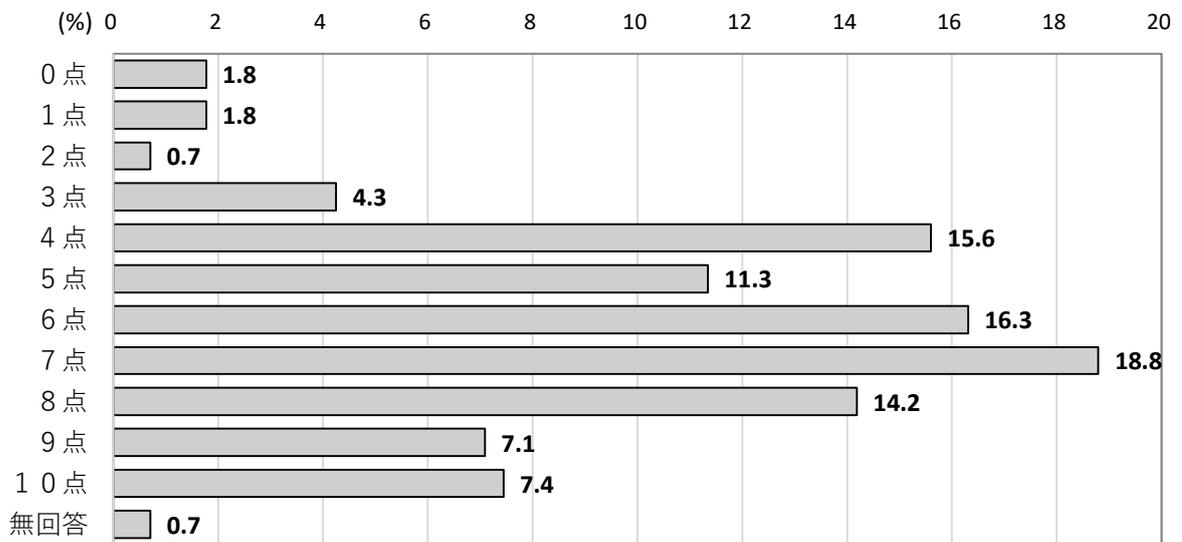
(1) 幸福度

【高校生】

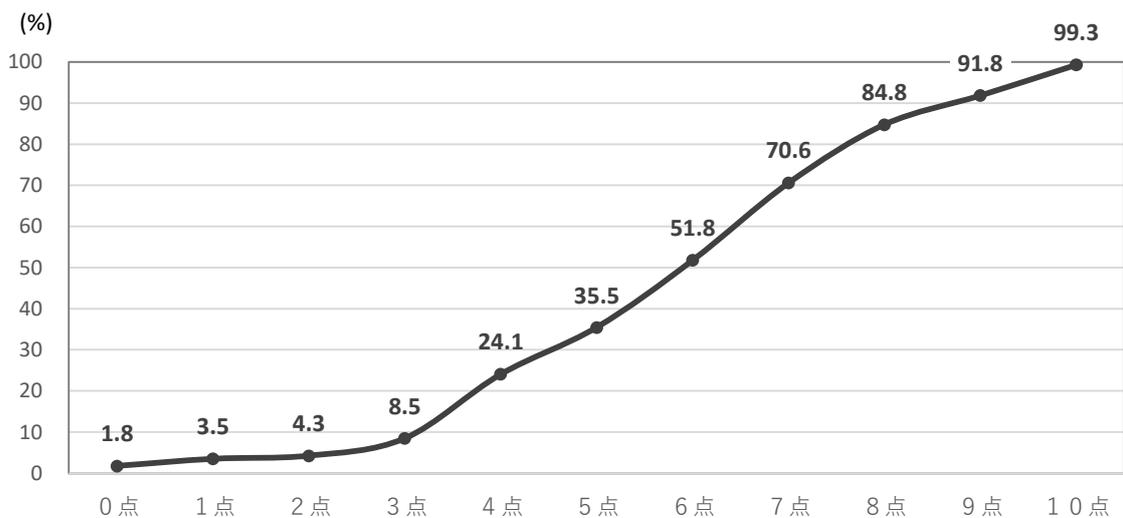
「7点」が18.8%と最も多く、次いで「6点」が16.3%、「4点」が15.6%、「8点」が14.2%、「5点」が11.3%などとなっています。

累積相対度数をみると、「3点」までが低く、「4点」以上で増えています。

■現在、どのくらい幸せだと感じているか(n=282)



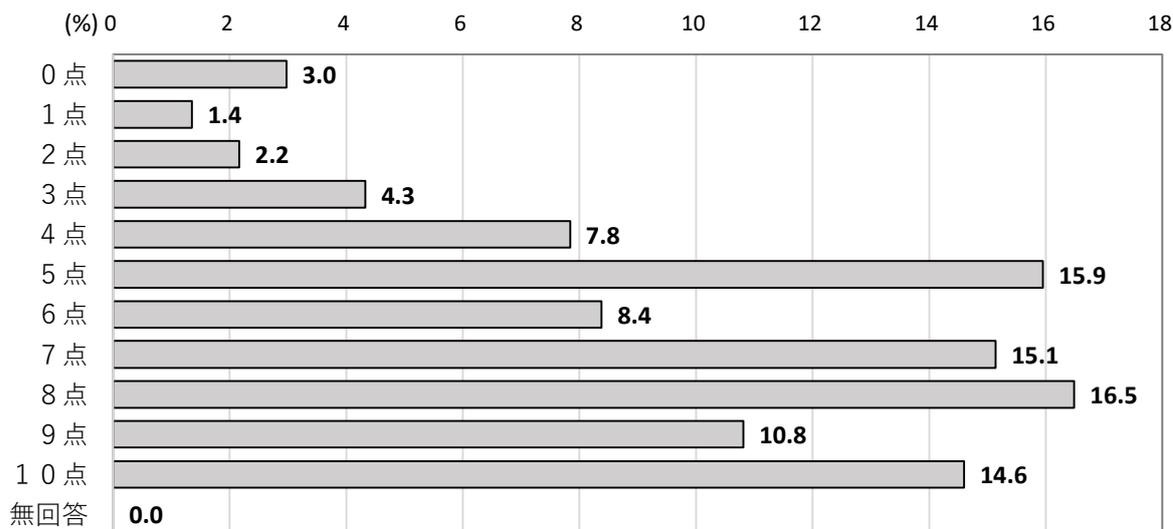
■現在、どのくらい幸せだと感じているか(累積相対度数)(n=282)



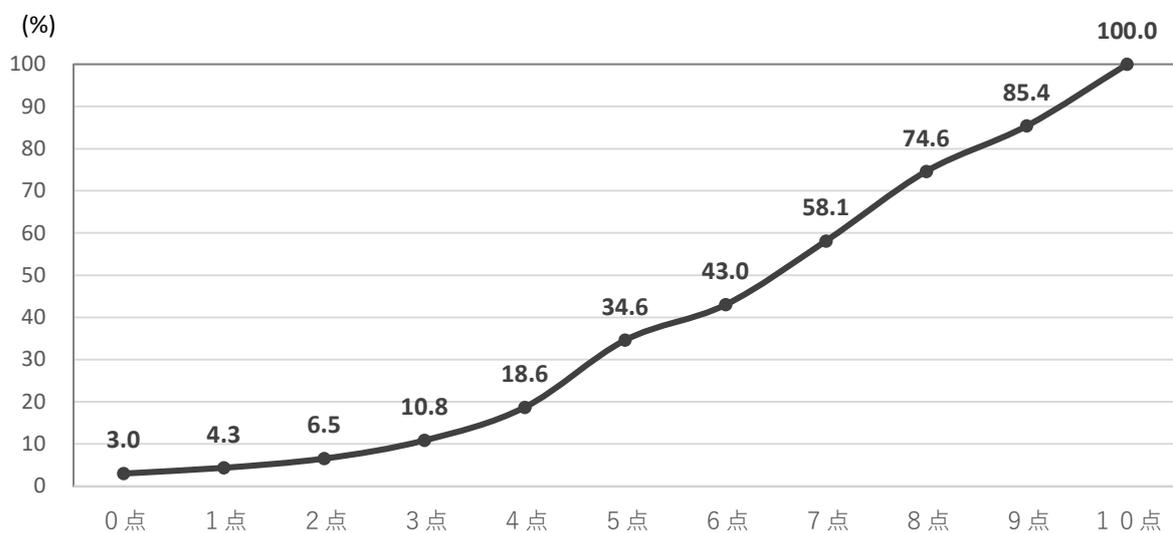
【中学生】

「8点」が16.5%と最も多く、次いで「5点」が15.9%、「7点」が15.1%と、5点以上と回答する人が多くなっています。得点分布を累積相対度数で見ると、「4点」以下の割合は低く、「5点」から回答者が増加しています。

■現在、どのくらい幸せだと感じているか(n= 370)



■現在、どのくらい幸せだと感じているか(累積相対度数)(n= 370)



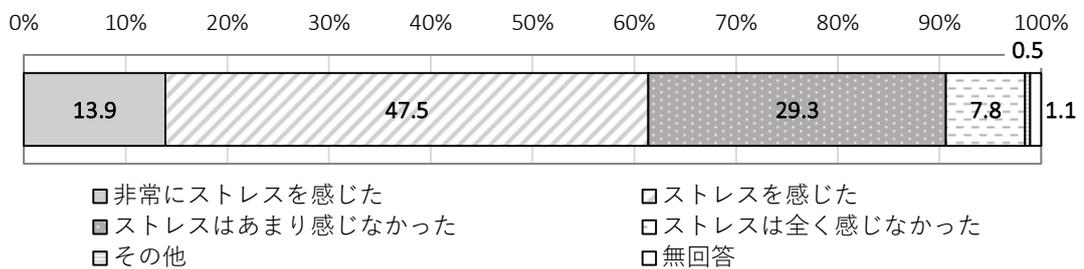
(2) ストレスの状況

① 最近ストレスを感じたことがあったか

「非常にストレスを感じた」が 13.9%、「ストレスを感じた」が 47.5% (合わせて 61.4%) であるのに対し、「ストレスはあまり感じなかった」が 29.3%、「ストレスは全く感じなかった」が 7.8% (合わせて 37.1%) となっています。

性別・年齢区分別にみると、男性のほうが「(非常に) ストレスを感じた」が低く、特に 65 歳以上では「感じなかった」の方が高くなっています。

■ 最近 1 ヶ月にストレスを感じたことがあったか (n = 748)



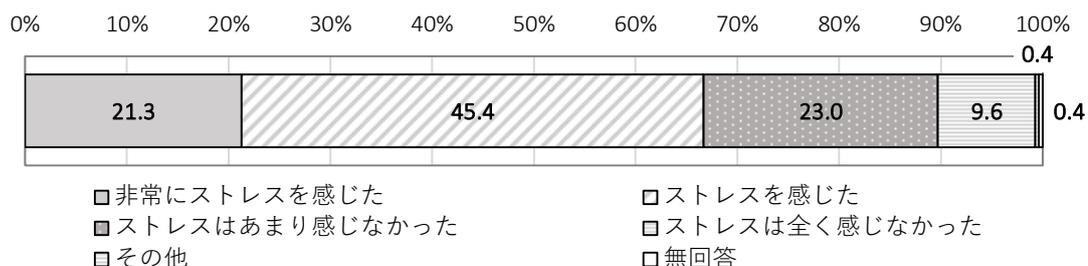
■ 性別×年齢区分×最近 1 ヶ月にストレスを感じたことがあったか

		合計	最近1ヶ月にストレスを感じたことがあるか					
			非常にス トレスを 感じた	ストレス を感じた	ストレス はあまり 感じな かった	ストレス は全く感 じなかつ た	その他	無回答
男	全体	328	13.4	40.5	33.2	11.0	0.9	0.9
	20~39歳	53	18.9	52.8	20.8	3.8	1.9	1.9
	40~64歳	129	20.2	46.5	24.8	7.0	1.6	0.0
	65歳~	145	5.5	30.3	45.5	17.2	0.0	1.4
女	全体	414	14.3	52.9	26.1	5.3	0.2	1.2
	20~39歳	89	20.2	59.6	16.9	3.4	0.0	0.0
	40~64歳	164	18.9	53.0	25.0	2.4	0.0	0.6
	65歳~	160	5.6	49.4	32.5	9.4	0.6	2.5

【高校生】

「非常にストレスを感じた」が 21.3%、「ストレスを感じた」が 45.4%(合わせて 66.7%)、「ストレスはあまり感じなかった」が 23.0%、「ストレスは全く感じなかった」が 9.6%(合わせて 32.6%)となっています。

■最近 1 ヶ月にストレスを感じたことがあるか(n=282)

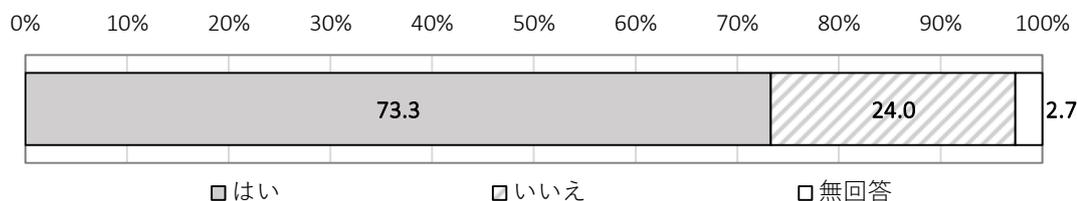


②(ストレスを感じた人)ストレスの発散やコントロールはできたか

「はい」が 73.3%、「いいえ」が 24.0%となっています。

性別・年齢区分別にみると、女性のほうがどの年齢区分においても「はい」が高くなっています。

■ストレスの発散やコントロールはできたか(n=678)



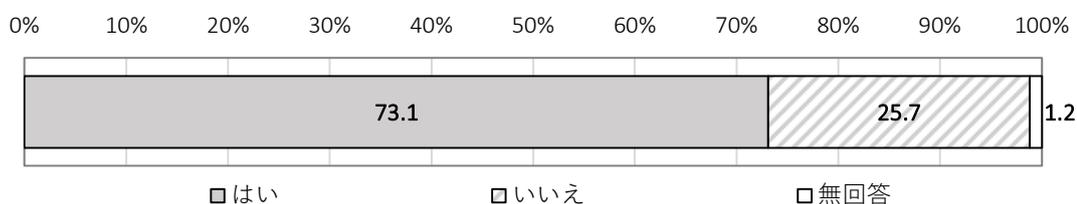
■性別×年齢区分×ストレスの発散やコントロールはできたか

		合計	ストレスの発散やコントロールはできたか		
			はい	いいえ	無回答
男	全体	286	68.5	27.3	4.2
	20～39歳	49	71.4	28.6	0.0
	40～64歳	118	72.0	24.6	3.4
	65歳～	118	64.4	28.8	6.8
女	全体	386	76.9	21.5	1.6
	20～39歳	86	76.7	23.3	0.0
	40～64歳	159	74.8	24.5	0.6
	65歳～	140	79.3	17.1	3.6

【高校生】

「はい」が73.1%、「いいえ」が25.7%となっています。

■その時ストレスの発散やコントロールはできたか(n=253)

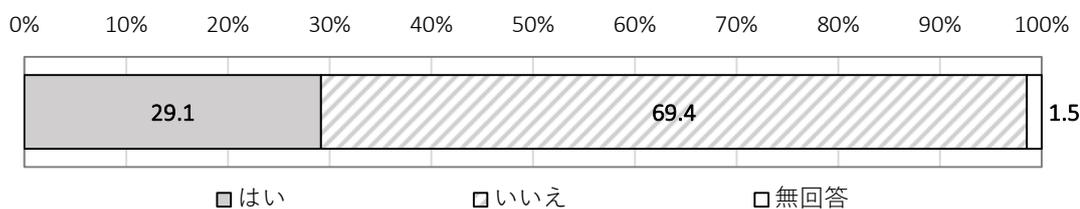


(3)地域活動に参加しているか

「はい」が29.1%、「いいえ」が69.4%となっています。

性別・ライフステージ別にみると、男女とも高齢期(65歳以上)では「はい」が比較的高くなっています。

■地域活動に参加しているか(n=748)



■性別×ライフステージ×地域活動に参加しているか

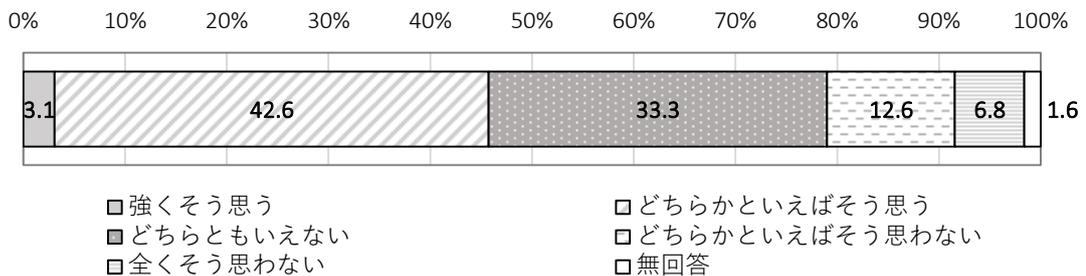
		合計	地域活動に参加しているか		
			はい	いいえ	無回答
男	全体	328	29.6	69.5	0.9
	青壮年期 (20~64歳)	182	23.6	75.8	0.5
	高齢期 (65歳以上)	145	37.2	61.4	1.4
女	全体	414	28.7	69.3	1.9
	青壮年期 (20~64歳)	253	23.3	76.3	0.4
	高齢期 (65歳以上)	160	36.9	58.8	4.4

(4)地域の人はお互いに助け合っていると思うか

「強くそう思う」が3.1%、「どちらかといえばそう思う」が42.6%(合わせて45.7%)であるのに対し、「どちらかといえばそう思わない」が12.6%、「全くそう思わない」が6.8%(合わせて19.4%)、「どちらともいえない」が33.3%となっています。

性別・ライフステージ別にみると、女性のほうが「そう思う」が高く、中でも高齢期(65歳以上)で高くなっています。

■住んでいる地域の人々はお互いに助け合っていると思うか(n=748)



■性別×ライフステージ×住んでいる地域の人々はお互いに助け合っていると思うか

		合計	地域の人々はお互いに助け合っていると思うか					無回答
			強くそう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	全くそう 思わない	
男	全体	328	3.4	40.9	29.9	16.2	7.9	1.8
	青壮年期 (20~64歳)	182	3.8	38.5	29.7	15.9	11.0	1.1
	高齢期 (65歳以上)	145	2.8	43.4	30.3	16.6	4.1	2.8
女	全体	414	2.9	44.2	36.0	9.4	6.0	1.4
	青壮年期 (20~64歳)	253	2.0	42.7	37.2	10.3	7.5	0.4
	高齢期 (65歳以上)	160	4.4	46.9	33.8	8.1	3.8	3.1

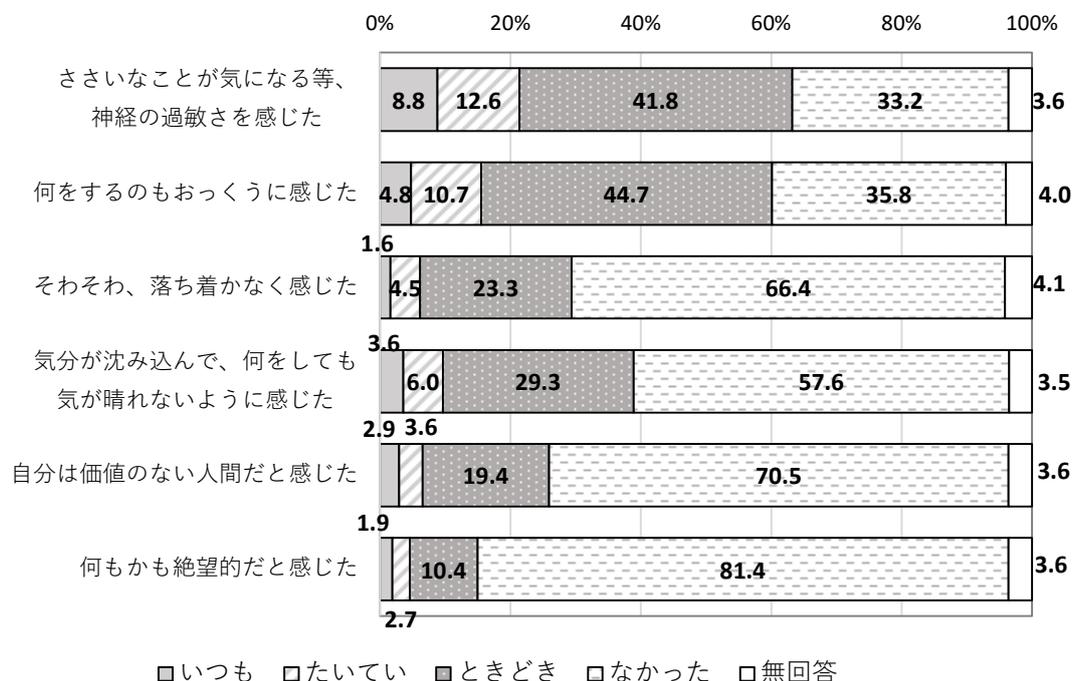
(5)こころの健康測定指標(K6)

①過去 1 か月の間のこころの健康測定指標(K6)の状況

こころの健康測定指標(K6)について、「いつも」、「たいてい」を合わせた構成比をみると、「ささいなことが気になる等、神経の過敏さを感じた」が 21.4%と最も多く、次いで「何をするのもおっくうに感じた」15.5%などとなっています。

性別・年齢区別にみると、「ささいなことが気になる等、神経の過敏さを感じた」、「何をするのもおっくうに感じた」は女性の 20～39 歳で特に高くなっています。

■過去 1 か月の間はどうだったか(n=748)



※「こころの健康測定指標(K6)」は、米国の Kessler らによって、うつ病・不安障がいなどの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標と広く利用されています。

6つの質問(「神経過敏に感じましたか」、「絶望的だと感じましたか」、「それぞれ、落ち着かなく感じましたか」、「気分が沈み込んで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか」、「何をするのも骨折りだと感じましたか」、「自分は価値のない人間だと感じましたか」)について、本市では独自に4段階(「まったくなかった」(0点)、「ときどき」(1点)、「たいてい」(2点)、「いつも」(3点))で点数化します。

合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしており、7点以上の者の頻度は、気分障がい、不安障がいと同等の状態の頻度の推定値と考えることができます。

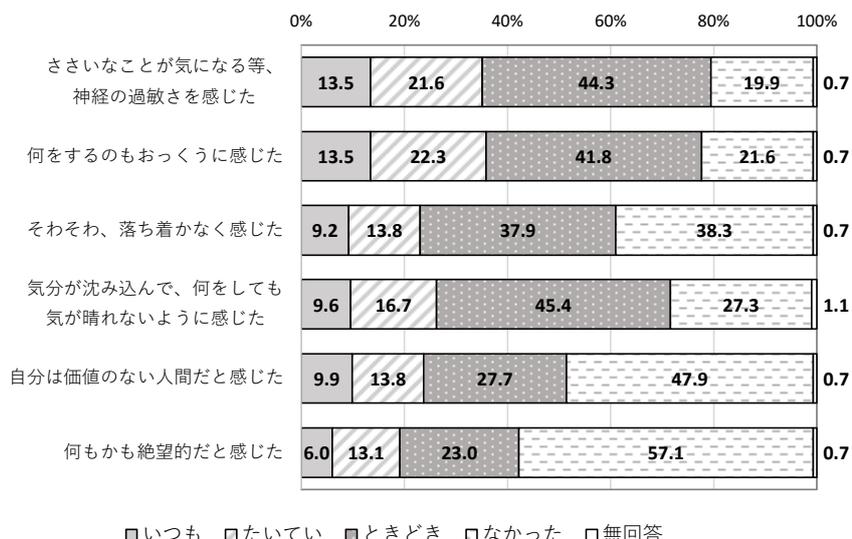
■性別×年齢区分×過去1か月の間はどうか

			合計	いつも	たいてい	ときどき	なかった	無回答
(1) ささいなことが気になる等、神経の過敏さを感じた	男	全体	328	8.5	13.1	39.3	36.0	3.0
		20～39歳	53	5.7	20.8	43.4	28.3	1.9
		40～64歳	129	10.9	14.7	34.1	38.0	2.3
		65歳～	145	7.6	9.0	42.1	37.2	4.1
	女	全体	414	9.2	12.3	43.7	30.7	4.1
		20～39歳	89	20.2	22.5	30.3	24.7	2.2
		40～64歳	164	7.3	10.4	48.8	32.3	1.2
		65歳～	160	4.4	8.8	46.3	32.5	8.1
(2) 何をすることもおっくうに感じた	男	全体	328	3.7	11.3	39.3	42.1	3.7
		20～39歳	53	0.0	24.5	39.6	34.0	1.9
		40～64歳	129	5.4	11.6	45.0	34.9	3.1
		65歳～	145	3.4	6.2	33.8	51.7	4.8
	女	全体	414	5.8	10.4	49.0	30.4	4.3
		20～39歳	89	9.0	20.2	46.1	21.3	3.4
		40～64歳	164	6.7	9.1	51.2	31.7	1.2
		65歳～	160	3.1	5.6	48.8	34.4	8.1
(3) そわそわ、落ち着かなく感じた	男	全体	328	1.2	4.9	22.9	67.7	3.4
		20～39歳	53	0.0	9.4	26.4	62.3	1.9
		40～64歳	129	3.1	3.9	22.5	68.2	2.3
		65歳～	145	0.0	4.1	21.4	69.7	4.8
	女	全体	414	1.9	4.3	23.7	65.2	4.8
		20～39歳	89	5.6	13.5	21.3	57.3	2.2
		40～64歳	164	0.6	1.8	29.9	65.9	1.8
		65歳～	160	1.3	1.3	18.8	69.4	9.4
(4) 気分が沈み込んで、何をしても気が晴れないように感じた	男	全体	328	3.4	7.6	23.8	62.5	2.7
		20～39歳	53	1.9	7.5	30.2	58.5	1.9
		40～64歳	129	5.4	8.5	26.4	58.1	1.6
		65歳～	145	2.1	6.9	18.6	68.3	4.1
	女	全体	414	3.9	4.8	33.8	53.4	4.1
		20～39歳	89	10.1	9.0	39.3	39.3	2.2
		40～64歳	164	2.4	4.3	36.0	56.1	1.2
		65歳～	160	1.3	3.1	28.8	58.8	8.1
(5) 自分は価値のない人間だと感じた	男	全体	328	2.1	4.3	17.7	72.9	3.0
		20～39歳	53	0.0	13.2	15.1	69.8	1.9
		40～64歳	129	5.4	3.9	19.4	69.8	1.6
		65歳～	145	0.0	1.4	17.2	76.6	4.8
	女	全体	414	3.6	3.1	21.0	68.1	4.1
		20～39歳	89	7.9	6.7	28.1	55.1	2.2
		40～64歳	164	2.4	1.8	20.7	73.8	1.2
		65歳～	160	2.5	2.5	16.9	70.0	8.1
(6) 何もかも絶望的だと感じた	男	全体	328	1.8	2.1	8.8	84.1	3.0
		20～39歳	53	0.0	1.9	15.1	81.1	1.9
		40～64歳	129	2.3	4.7	8.5	82.2	2.3
		65歳～	145	2.1	0.0	6.9	86.9	4.1
	女	全体	414	1.9	3.1	11.8	79.0	4.1
		20～39歳	89	3.4	9.0	14.6	70.8	2.2
		40～64歳	164	2.4	1.8	11.6	82.3	1.8
		65歳～	160	0.6	1.3	10.0	80.6	7.5

【高校生】

「いつも」、「たいてい」を合わせた構成比をみると、「何をするのもおっくうに感じた」35.8%と最も多く、次いで、「ささいなことが気になる等、神経の過敏さを感じた」が 35.1%、「気分が沈み込んで、何をしても気が晴れないように感じた」26.3%などとなっています。

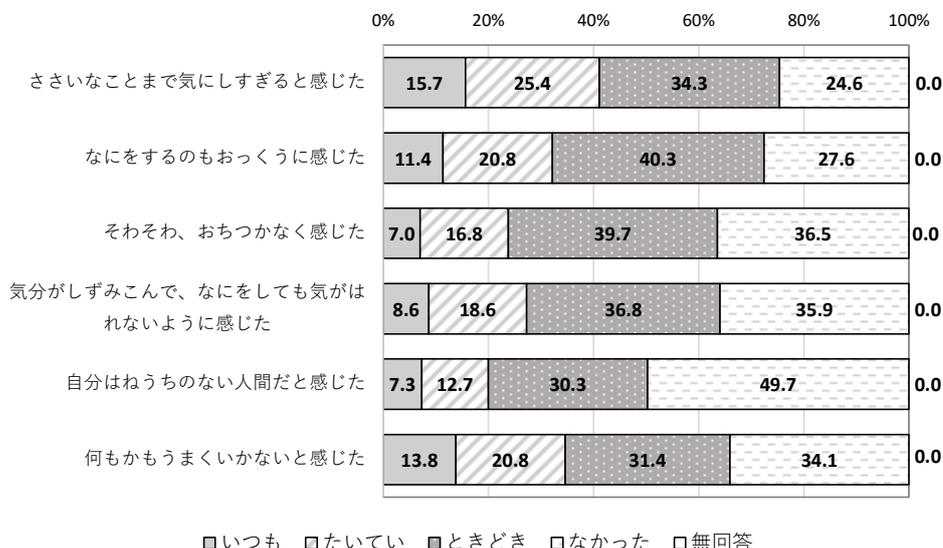
■この1か月の間はどうか(n=282)



【中学生】

「いつも」、「たいてい」を合わせた構成比をみると、「ささいなことが気になる等、神経の過敏さを感じた」が 41.1%と最も多く、次いで「何もかもうまくいかないと感じた」34.6%、「何をするのもおっくうに感じた」32.2%などとなっています。

■この1か月の間はどうか(n=370)



②こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況

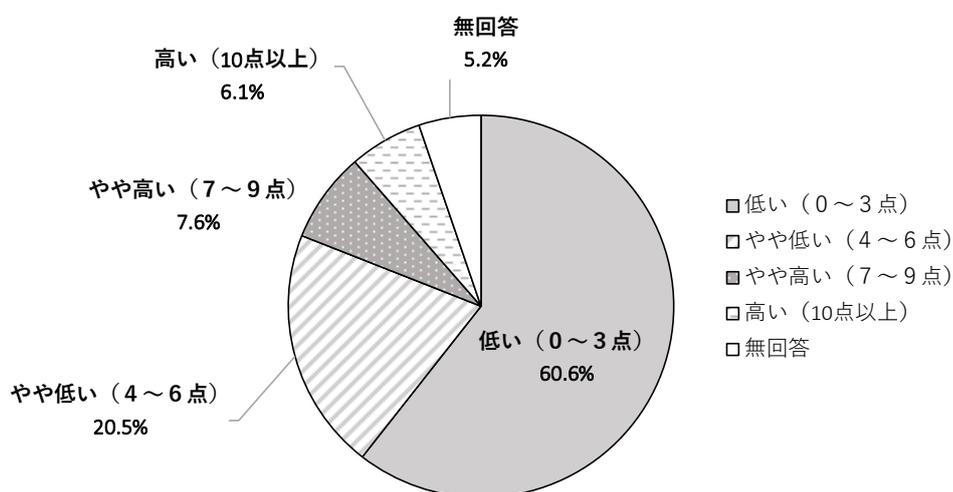
こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況について、55ページ下欄注釈の算出方法に基づき点数化しました。

その結果、「低い(0～3点)」が60.6%、「やや低い(4～6点)」が20.5%であり、これらを合わせると81.1%で、基準点(7点)より低い状況です。

一方、「やや高い(7～9点)」が7.6%、「高い(10点以上)」が6.1%であり、これらを合わせると13.7%で、基準点(7点)より高い状況です。

性別・年齢区分別にみると、男性、女性ともに、「やや高い(7～9点)」と「高い(10点以上)」を合わせた「高い」の割合が、20～39歳で高くなっています。

■こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況(n=748)



■性別×年齢区分×こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況

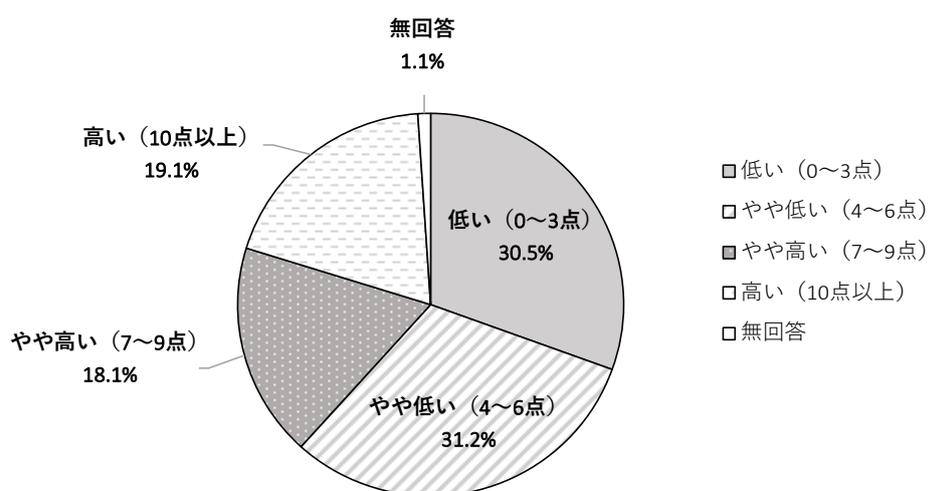
		合計	こころの健康測定指標 (K6) の点数化による気分障がい・不安障がいの状況				
			低い (0～3点)	やや低い (4～6点)	やや高い (7～9点)	高い (10点以上)	無回答
男	全体	328	63.7	18.9	7.3	5.5	4.6
	20～39歳	53	60.4	18.9	13.2	5.7	1.9
	40～64歳	129	62.0	18.6	5.4	9.3	4.7
	65歳～	145	66.9	18.6	6.9	2.1	5.5
女	全体	414	57.7	21.7	8.0	6.8	5.8
	20～39歳	89	43.8	21.3	15.7	15.7	3.4
	40～64歳	164	61.6	23.8	7.3	4.9	2.4
	65歳～	160	61.9	20.0	4.4	3.1	10.6

【高校生】

「低い(0~3点)」が30.5%、「やや低い(4~6点)」が31.2%であり、これらを合わせると、61.7%で、基準点(7点)より低い状況です。

一方、「やや高い(7~9点)」が18.1%、「高い(10点以上)」が19.1%であり、これらを合わせると37.2%で、基準点(7点)より高い状況です。

■こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況(n=282)

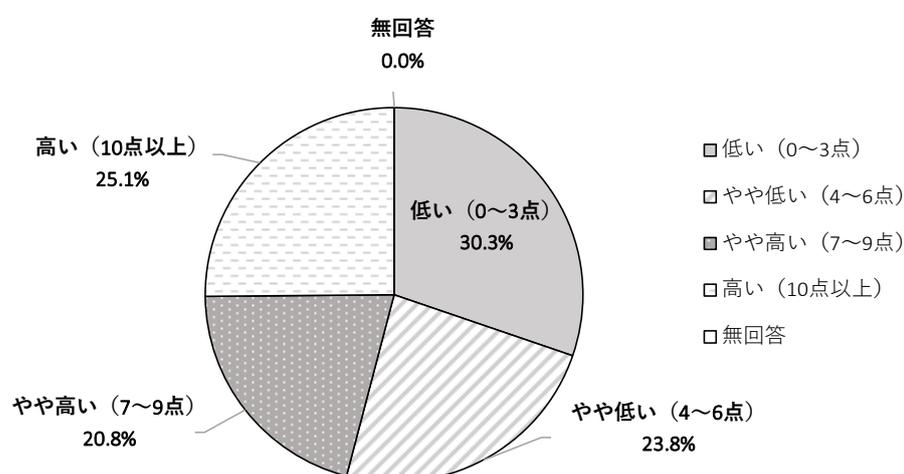


【中学生】

「低い(0~3点)」が30.3%、「やや低い(4~6点)」が23.8%であり、これらを合わせると、54.1%が基準より低い状況です。

一方、「やや高い(7~9点)」が20.8%、「高い(10点以上)」が25.1%であり、これらを合わせると45.9%が基準より高い状況です。

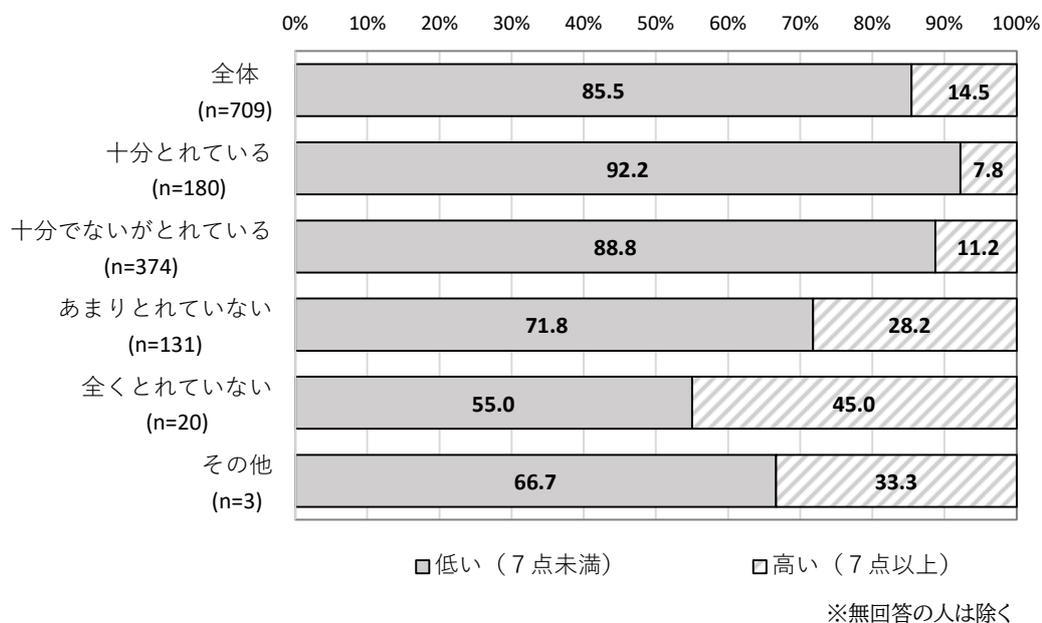
■こころの健康測定指標(K6)の点数化による気分障がい・不安障がいの状況(n=370)



【こころの健康測定指標(K6)の状況×睡眠による休養の充足度】

睡眠による休養の充足度別にみると、7点以上の人で、「十分とれている」7.8%、「全くとれていない」は45.0%で、7点以上の方が睡眠をとれていない傾向にあります。

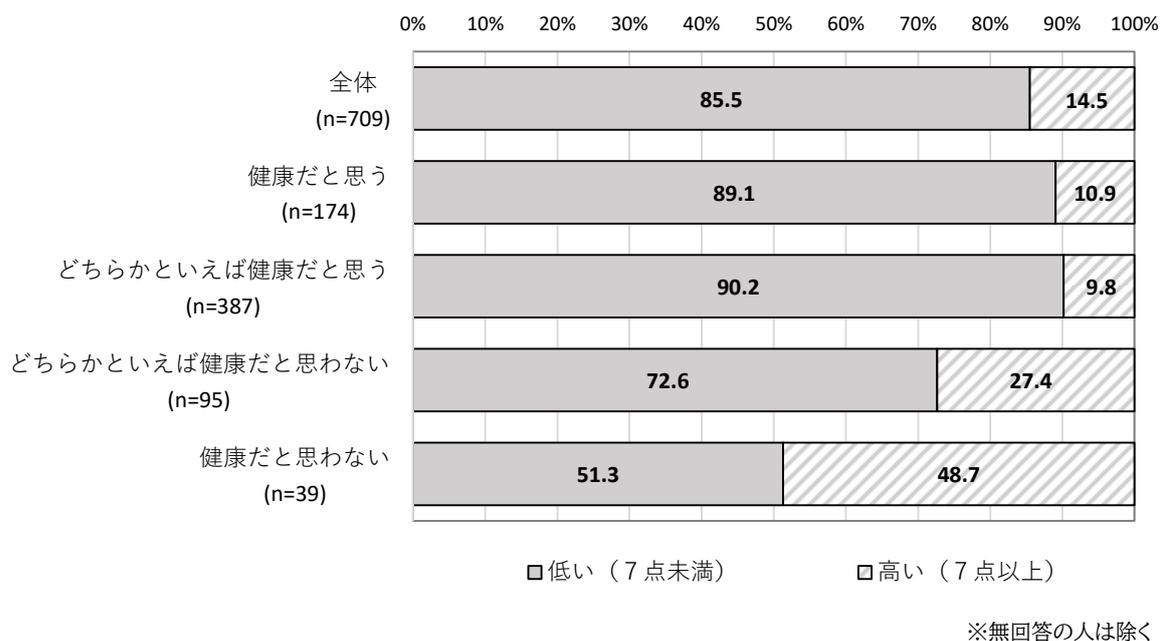
■こころの健康測定指標(K6)の状況×睡眠による休養の充足度(n=709)



【こころの健康測定指標(K6)の状況×健康意識(主観的健康度)】

健康意識別にみると、自分のことを健康だと思わない人ほど、7点以上の人の方が割合が高い傾向にあります。

■こころの健康測定指標(K6)の状況×健康意識(n=709)



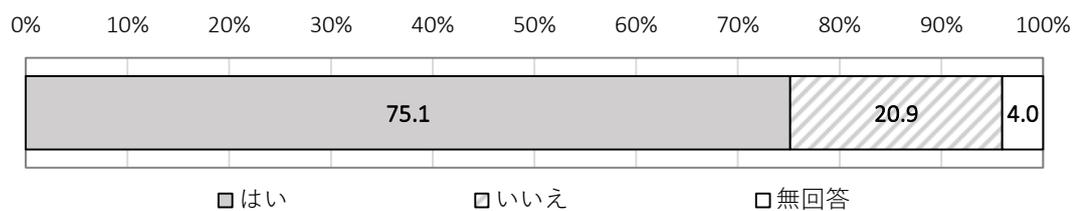
(6)生きがいについて

①「生きがい」を持っているか

「はい」が75.1%、「いいえ」が20.9%となっています。

性別・ライフステージ別にみると、「はい」は高齢期(65歳以上)になると女性のほうが低くなっています。

■「生きがい」を持っているか(n=748)



■性別×ライフステージ×「生きがい」を持っているか

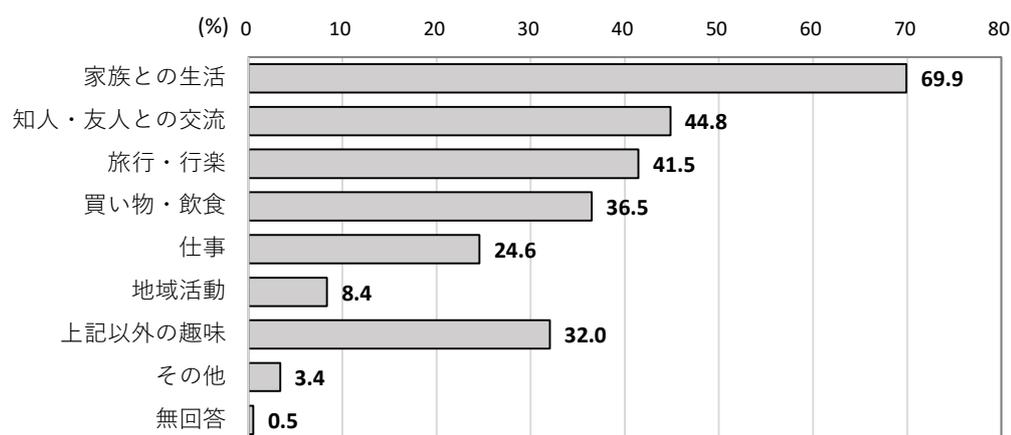
		合計	「生きがい」を持っているか		
			はい	いいえ	無回答
男	全体	328	77.1	19.8	3.0
	青壮年期 (20~64歳)	182	76.9	20.9	2.2
	高齢期 (65歳以上)	145	77.2	18.6	4.1
女	全体	414	73.7	21.5	4.8
	青壮年期 (20~64歳)	253	77.9	20.2	2.0
	高齢期 (65歳以上)	160	66.9	23.8	9.4

②(生きがいを持っている人)生きがいはどんなことか

「家族との生活」が 69.9%と最も多く、次いで「知人・友人との交流」44.8%、「旅行・行楽」41.5%、「買い物・飲食」36.5%などとなっています。

性別・ライフステージ別にみると、「知人・友人との交流」、「旅行・行楽」、「買い物・飲食」は女性のほうがどのライフステージとも高くなっています。

■「生きがい」はどんなことか(n=562)



※複数回答

■性別×ライフステージ×「生きがい」はどんなことか

		合計	生きがいはどんなことか								
			家族との生活	知人・友人との交流	旅行・行楽	買い物・飲食	仕事	地域活動	上記以外の趣味	その他	無回答
男	全体	253	68.0	37.2	37.9	30.4	24.5	11.1	36.4	3.2	0.4
	青壮年期 (20~64歳)	140	68.6	35.0	38.6	36.4	25.0	5.7	37.1	0.0	0.0
	高齢期 (65歳以上)	112	67.0	40.2	37.5	22.3	24.1	17.9	34.8	7.1	0.9
女	全体	305	71.1	51.8	44.9	41.3	24.3	6.2	28.5	3.6	0.7
	青壮年期 (20~64歳)	197	75.6	49.7	48.7	46.2	27.9	2.0	22.8	1.5	0.5
	高齢期 (65歳以上)	107	62.6	56.1	38.3	32.7	17.8	14.0	39.3	7.5	0.9

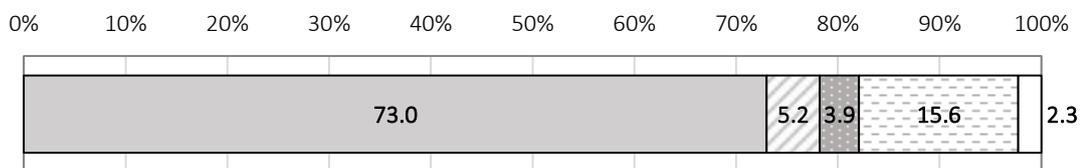
(7)悩みを抱えた時の相談の状況

①悩みを抱えたときに、相談する相手、もしくは場所はあるか

「相談する相手がいる・場所がある」が73.0%と多くを占めていますが、「相談したいが、誰にも相談できずにいる」5.2%、「相談したいがどこに相談したらいいかわからない」3.9%という人もいます。また、「相談する必要があるのに、誰にも相談しない」が15.6%となっています。

性別・年齢区別にみると、男性のほうが「相談する必要があるのに、誰にも相談しない」が高く、しかも年齢区分があがるほど高くなっています。

■悩みを抱えたときに、相談する相手、もしくは場所はあるか(n=748)



- 相談する相手がいる・場所がある
- 相談したいが、誰にも相談できずにいる
- 相談したいがどこに相談したらいいかわからない
- 相談する必要があるのに、誰にも相談しない
- 無回答

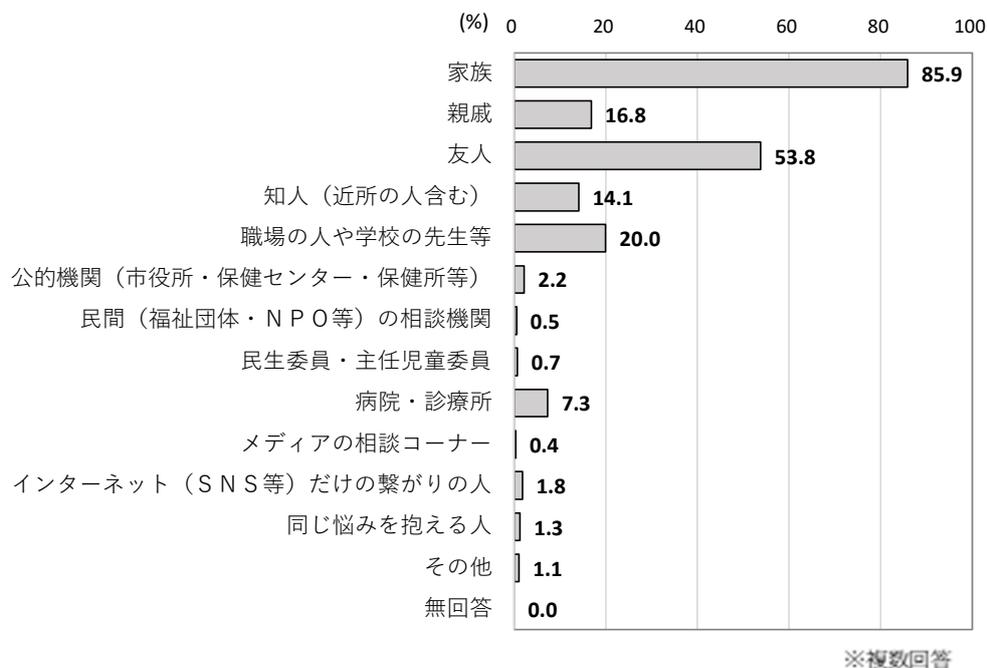
■性別×年齢区分×悩みを抱えたときに、相談する相手、もしくは場所はあるか

		合計	問19-1悩みを抱えた時相談する相手や場所はあるか				
			相談する相手がいる・場所がある	相談したいが、誰にも相談できずにいる	相談したいがどこに相談したらいいかわからない	相談する必要があるのに、誰にも相談しない	無回答
男	全体	328	63.4	7.3	4.6	22.0	2.7
	20～39歳	53	69.8	5.7	5.7	17.0	1.9
	40～64歳	129	62.0	9.3	3.9	22.5	2.3
	65歳～	145	62.1	6.2	4.8	23.4	3.4
女	全体	414	80.9	3.4	3.1	10.6	1.9
	20～39歳	89	84.3	5.6	1.1	9.0	0.0
	40～64歳	164	84.1	3.7	3.7	7.3	1.2
	65歳～	160	75.6	1.9	3.8	15.0	3.8

②(いる・ある人)相談する相手や場所はだれ(どこ)か

「家族」が 85.9%と最も多く、次いで「友人」が 53.8%、「職場の人や学校の先生等」が 20.0%などとなっています。

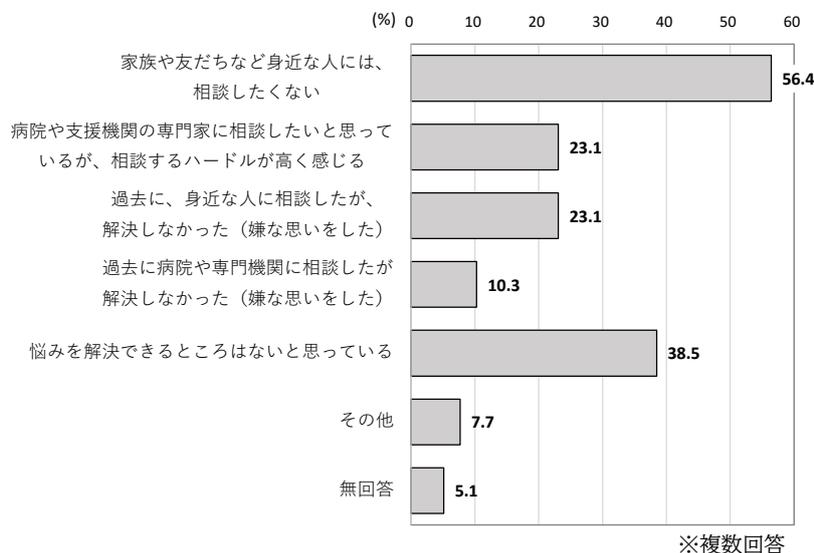
■相談する相手、もしくは場所はだれ(どこ)か(n=546)



③(したいが相談できない人)相談できない理由

「家族や友だちなど身近な人には、相談したくない」が 56.4%と最も多く、次いで「悩みを解決できる場所はないと思っている」が 38.5%、「病院や支援機関の専門家に相談したいと思っているが、相談するハードルが高く感じる」、「過去に、身近な人に相談したが、解決しなかった(嫌な思いをした)」がともに 23.1%などとなっています。

■相談したいが、誰にも相談できずにいる理由はなぜか(n=39)



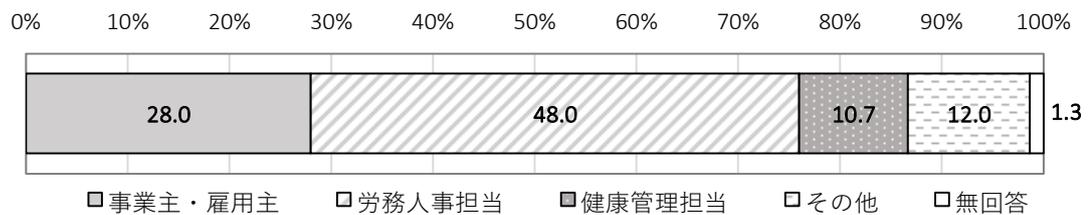
9. 事業所

(1) 回答者の属性について

① 回答者の立場

「労務人事担当」が 48.0%と最も多く、次いで「事業主・雇用主」28.0%、「健康管理担当」10.7%などとなっています。

■ 回答者の立場(n=75)



② 事業所の業種

「製造業」が 52.0%と最も多く、次いで「サービス業」12.0%、「建設業・工業」、「運輸業」ともに 8.0%などとなっています。

■ 業種(n=75)

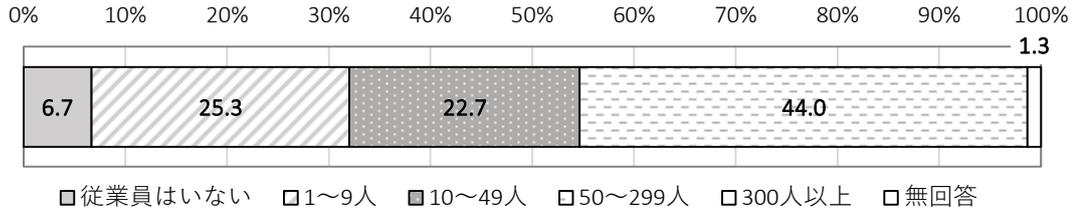
事業所の業種	
全体	75
農業・林業・漁業	4.0
建設業・工業	8.0
製造業	52.0
電気・ガス・熱供給・水道業	1.3
情報通信業	0.0
運輸業	8.0
卸売業	0.0
小売業	4.0
金融・保険業	1.3
不動産業	0.0
飲食業	5.3
宿泊業	0.0
医療・福祉・介護	1.3
教育・学習支援業	0.0
サービス業	12.0
その他	2.7
無回答	0.0

③事業所の従業員数(令和5年4月1日現在)

「50～299人」が44.0%と最も多く、次いで「1～9人」25.3%、「10～49人」22.7%などとなっています。

業種別にみると、「50～299人」は製造業で特に多く、「1～9人」はサービス業で特に多くなっています。

■従業員数(n=75)



■業種×従業員数

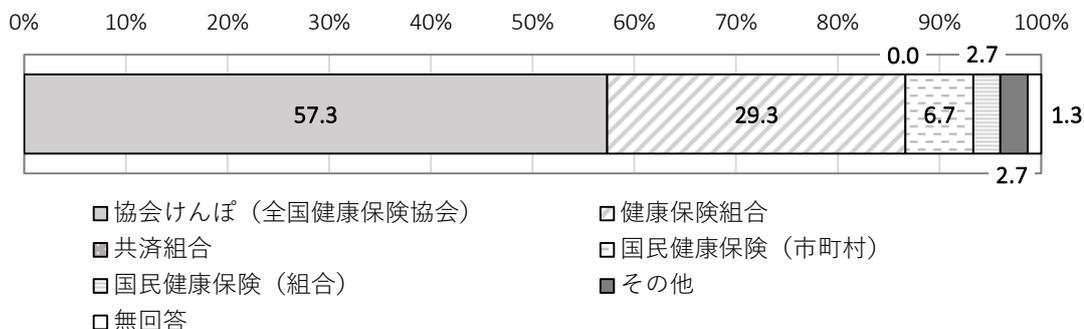
	合計	事業所の業種							
		農業・漁業・林業	建設業・工業	製造業	熱供給・水道業	電気・ガス・情報通信業	運輸業	卸売業	小売業
全体	75	4.0	8.0	52.0	1.3	0.0	8.0	0.0	4.0
従業員の人数	従業員はいない	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1～9人	19	5.3	15.8	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5
	10～49人	17	5.9	5.9	58.8	0.0	0.0	17.6	0.0
	50～299人	33	3.0	3.0	78.8	0.0	0.0	9.1	0.0
	300人以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	事業所の業種								
		金融・保険業	不動産業	飲食業	宿泊業	医療・福祉・介護	支援業	教育・学習サービス業	その他	無回答
全体	75	1.3	0.0	5.3	0.0	1.3	0.0	12.0	2.7	0.0
従業員の人数	従業員はいない	5	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	1～9人	19	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	31.6	5.3
	10～49人	17	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0
	50～299人	33	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0
	300人以上	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

④事業所の従業員が加入している主たる健康保険

「協会けんぽ(全国健康保険協会)」が 57.3%と最も多く、次いで「健康保険組合」が 29.3%、「国民健康保険(市町村)」が 6.7%などとなっています。

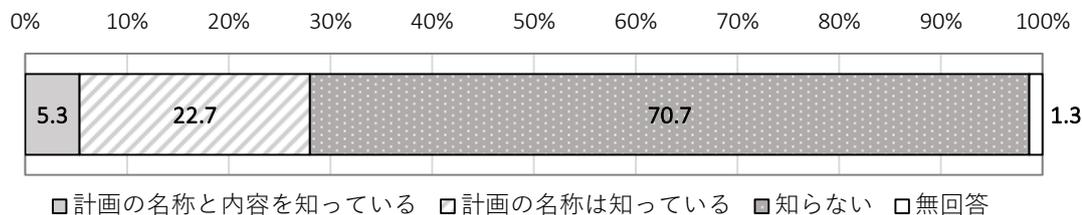
■従業員が加入している主たる健康保険(n=75)



(2)「健康こなん 21 計画」の認知度について

「知らない」が 70.7%と多くなっており、「計画の名称は知っている」が 22.7%、「計画の名称と内容を知っている」が 5.3%となっています。

■「健康こなん 21 計画」を知っているか(n=75)

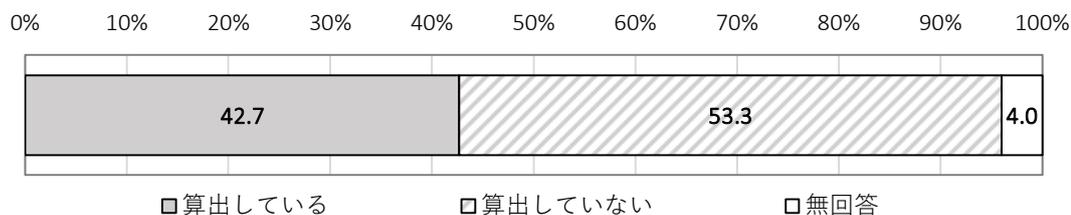


(3)定期健診について

①事業所の定期健診(労働安全衛生法に基づく健診)の受診率の算出について

「算出している」が 42.7%、「算出していない」が 53.3%となっています。

■定期健診の受診率の算出について(n=75)

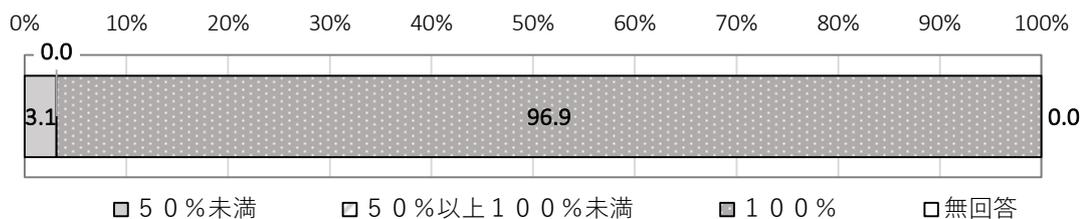


②定期健診の受診率

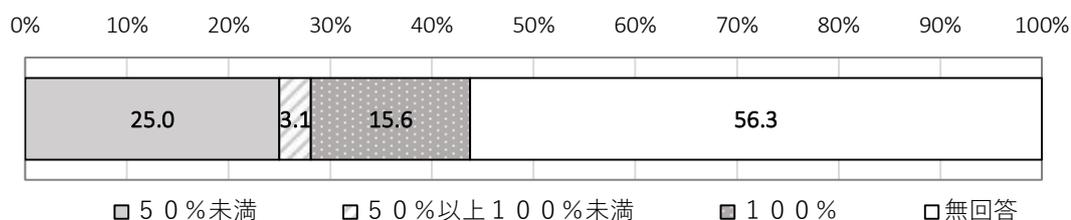
被用者については「100%」が96.9%と多くなっています。

被扶養者については「50%未満」が25.0%、「100%」が15.6%、「50%以上100%未満」が3.1%となっていますが、無回答が56.3%と多くなっています。

■受診率について一被用者(n=32)



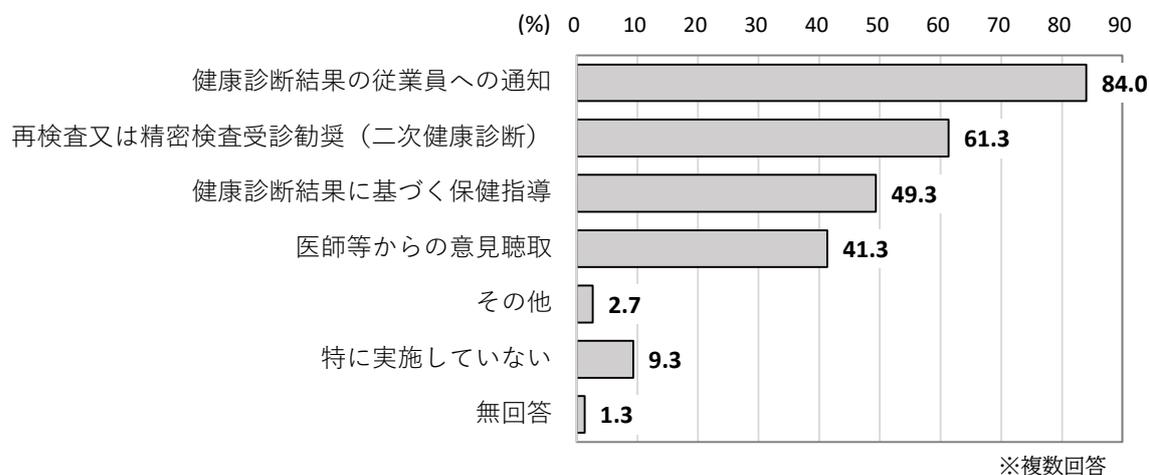
■受診率について一被扶養者(n=32)



③定期健診の事後措置として実施していること

「健康診断結果の従業員への通知」が84.0%と最も多く、次いで「再検査又は精密検査受診勧奨(二次健康診断)」が61.3%、「健康診断結果に基づく保健指導」が49.3%、「医師等からの意見聴取」の41.3%が続き、「特に実施していない」は9.3%となっています。

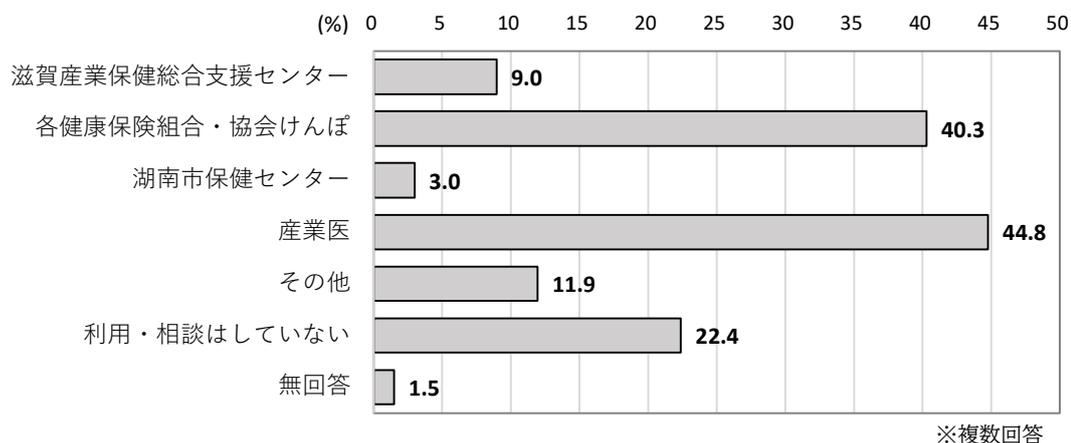
■定期健診の事後措置として実施していること(n=75)



④実施の際に利用・相談した先

「産業医」が 44.8%と最も多く、次いで「各健康保険組合・協会けんぽ」が 40.3%などとなっています。「利用・相談はしていない」は 22.4%となっています。

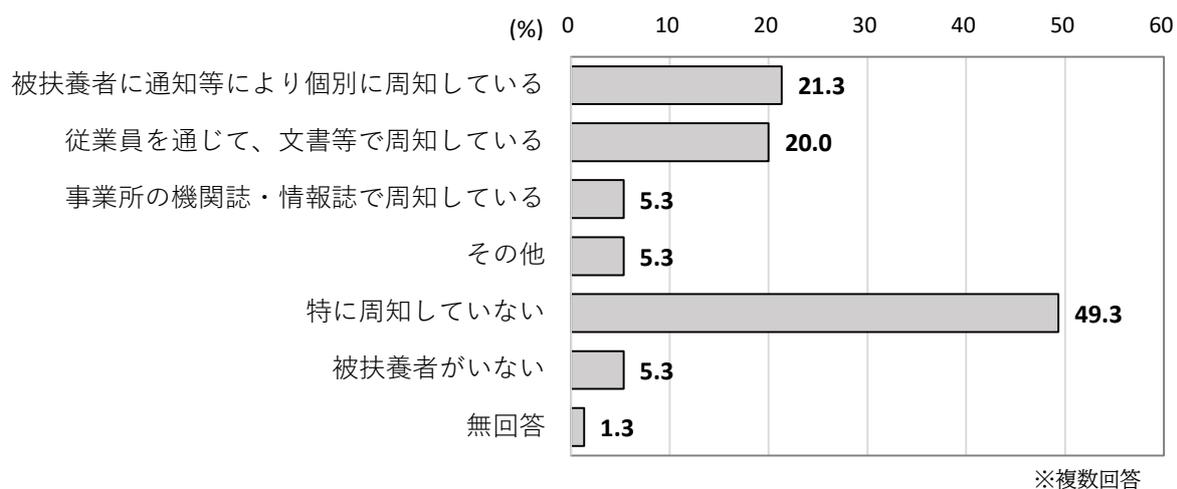
■実施の際に利用・相談した先(n=67)



⑤特定健康診査の周知

「特に周知していない」が 49.3%と最も多く、実施している中では「被扶養者に通知等により個別に周知している」が 21.3%、「従業員を通じて、文書等で周知している」が 20.0%などとなっています。

■特定健康診査をどのように周知しているか(n=75)



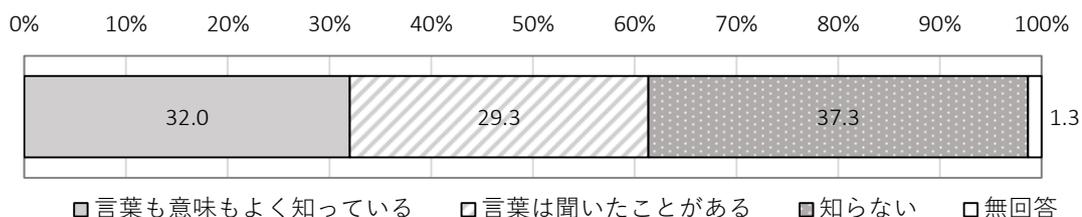
(4)健康づくりについて

①「健康経営」の認知度

「言葉も意味もよく知っている」が 32.0%、「言葉は聞いたことがある」が 29.3%、「知らない」が 37.3%となっています。

従業員数別にみると、50人以上では「言葉も意味もよく知っている」が多くなっています。

■「健康経営」を知っているか(n=75)



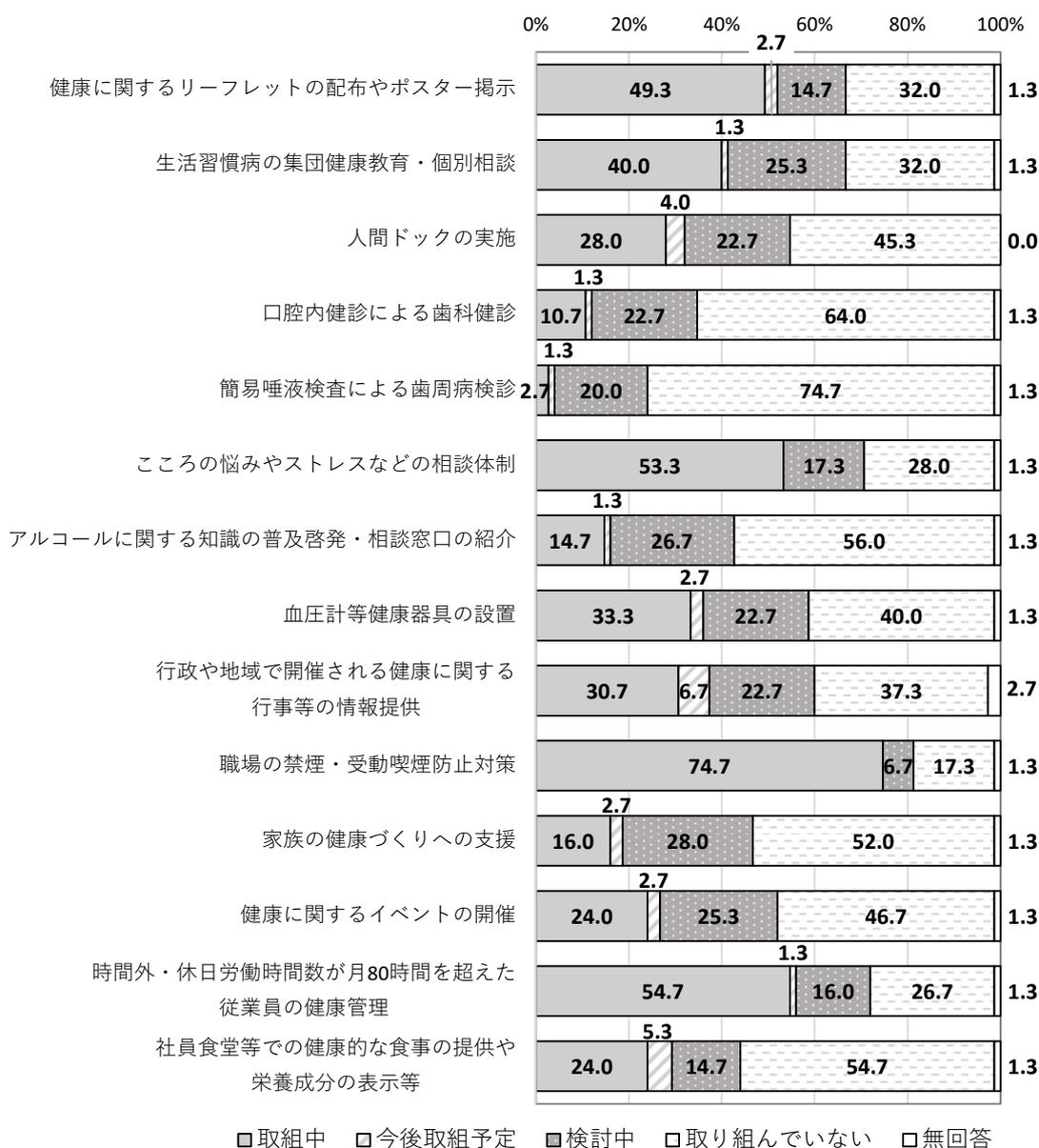
■従業員数×「健康経営」を知っているか

		合計	「健康経営」を知っているか			
			言葉も意味もよく知っている	言葉は聞いたことがある	知らない	無回答
	全体	75	32.0	29.3	37.3	1.3
従業員の 人数	従業員はいない	5	0.0	40.0	60.0	0.0
	1~9人	19	5.3	31.6	63.2	0.0
	10~49人	17	17.6	35.3	41.2	5.9
	50~299人	33	57.6	24.2	18.2	0.0
	300人以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0

②健康づくりの取組状況

「取組中」が多いのは、「職場の禁煙・受動喫煙防止対策」74.7%、「時間外・休日労働時間が月 80 時間を超えた従業員の健康管理」54.7%、「こころの悩みやストレスなどの相談体制」53.3%、「健康に関するリーフレットの配布やポスター掲示」49.3%、「生活習慣病の集団健康教育・個別相談」40.0%などとなっています。

■健康づくりの取組について(n=75)



②(取り組んでいない場合)取り組んでいない理由

「必要性を感じない」、「取り組み方が分からない」、「該当する従業員がいない」をはじめ、取組によってさまざまな理由があげられています。

■取り組んでいない理由

	健康に関するリーフレット	生活習慣病の集団健康教育	人間ドックの実施	口腔内健診による歯科健診	簡易唾液検査による歯周病検診	相談体制の悩みやストレスなどの	啓発・相談窓口の紹介の普及	アルコールに関する知識の普及	血圧計等健康器具の設置	関する行事等の情報提供	行政や地域で開催される健康に	職場の禁煙・受動喫煙防止対策	家族の健康づくりへの支援	健康に関するイベントの開催	時間を超えた従業員の健康管理	時間外・休日労働時間の表示が月80時	社員食堂等での健康的な食事の
	n=24	n=24	n=34	n=48	n=56	n=21	n=42	n=30	n=28	n=13	n=39	n=35	n=20	n=41			
設備・場所がない	4.2	0.0	5.9	8.3	5.4	4.8	2.4	0.0	0.0	15.4	2.6	2.9	0.0	22.0			
経費がかかる	16.7	4.2	26.5	20.8	14.3	0.0	4.8	16.7	0.0	0.0	2.6	5.7	0.0	9.8			
従業員の関心がない	12.5	16.7	5.9	6.3	10.7	4.8	11.9	6.7	14.3	7.7	7.7	11.4	0.0	4.9			
該当する従業員がいない	16.7	16.7	11.8	8.3	7.1	19.0	21.4	13.3	10.7	30.8	15.4	11.4	65.0	24.4			
専門スタッフがいない	12.5	16.7	11.8	14.6	12.5	19.0	19.0	6.7	3.6	0.0	10.3	20.0	5.0	17.1			
取り組み方が分からない	16.7	16.7	8.8	10.4	12.5	23.8	14.3	0.0	17.9	0.0	12.8	8.6	0.0	7.3			
必要性を感じない	20.8	12.5	23.5	29.2	35.7	23.8	26.2	36.7	28.6	30.8	23.1	31.4	10.0	12.2			
健康の保持・増進の意義が分からない	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
具体的なメリットや効果が期待できない	8.3	4.2	2.9	4.2	3.6	0.0	0.0	6.7	10.7	7.7	0.0	2.9	0.0	2.4			
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため	4.2	4.2	0.0	2.1	1.8	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	2.6	2.9	0.0	0.0			
その他	12.5	20.8	17.6	8.3	7.1	9.5	4.8	3.3	3.6	7.7	17.9	8.6	15.0	9.8			
無回答	4.2	4.2	11.8	8.3	10.7	4.8	11.9	13.3	10.7	7.7	12.8	8.6	5.0	7.3			

※複数回答

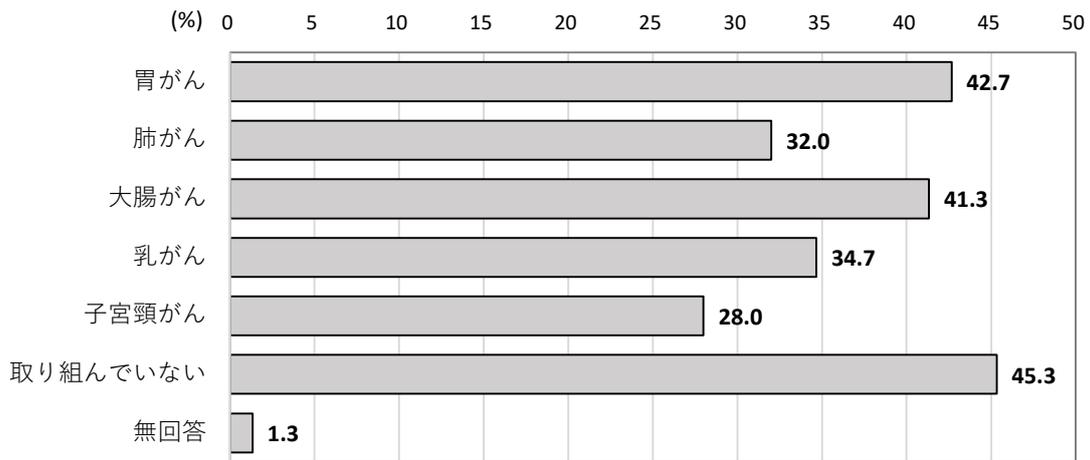
(5)生活習慣病対策について

①がん検診の取組状況

「取り組んでいない」が45.3%と最も多くなっています。

取り組んでいる中では、「胃がん」検診が42.7%、「大腸がん」検診が41.3%、「乳がん」検診が34.7%、「肺がん」検診が32.0%、「子宮頸がん」検診が28.0%となっています。

■がん検診に取り組んでいるか(n=75)

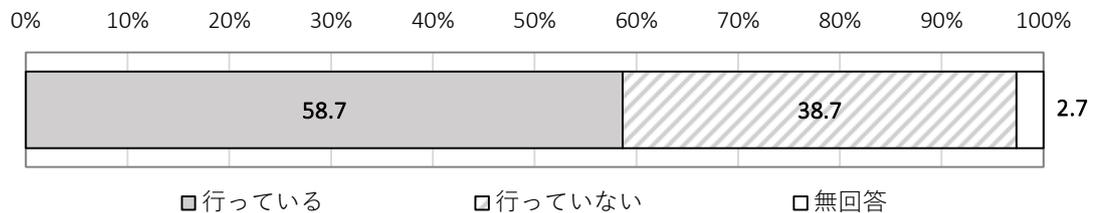


※複数回答

②治療と仕事の両立に配慮した取組の取組状況

従業員が重い病気(がん・糖尿病など)になった後も安心して働き続けられるように、治療と仕事の両立に配慮した取組を「行っている」が58.7%、「行っていない」が38.7%となっています。

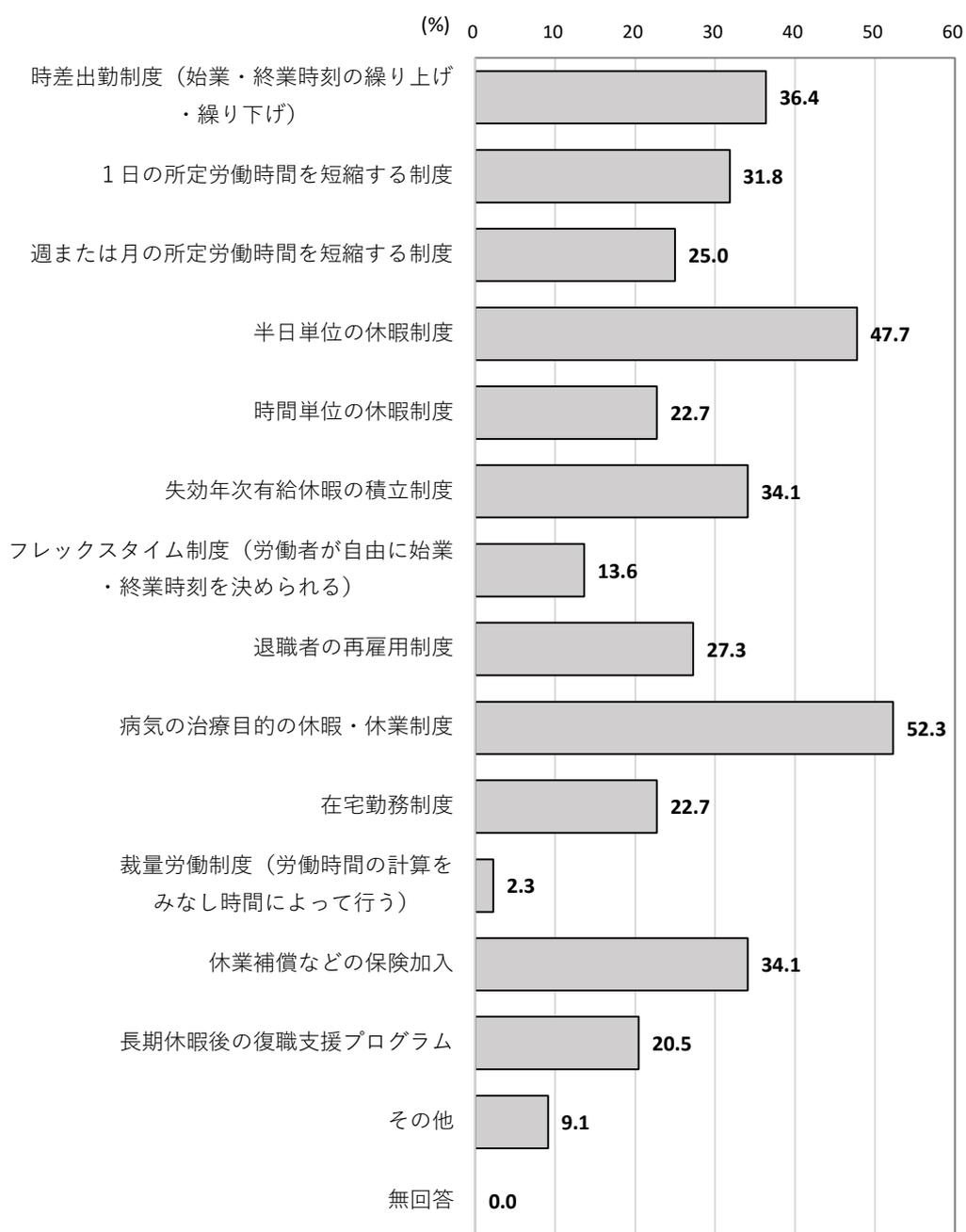
■治療と仕事の両立に配慮した取組を行っているか(n=75)



③(行っている事業所)導入している制度

「病気の治療目的の休暇・休業制度」が 52.3%と最も多く、次いで「半日単位の休暇制度」が 47.7%、「時差出勤制度(始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ)」が 36.4%、「失効年次有給休暇の積立制度」と「休業補償などの保険加入」がともに 34.1%、「1日の所定労働時間を短縮する制度」が 31.8%などとなっています。

■どのような制度を導入しているか(n=44)

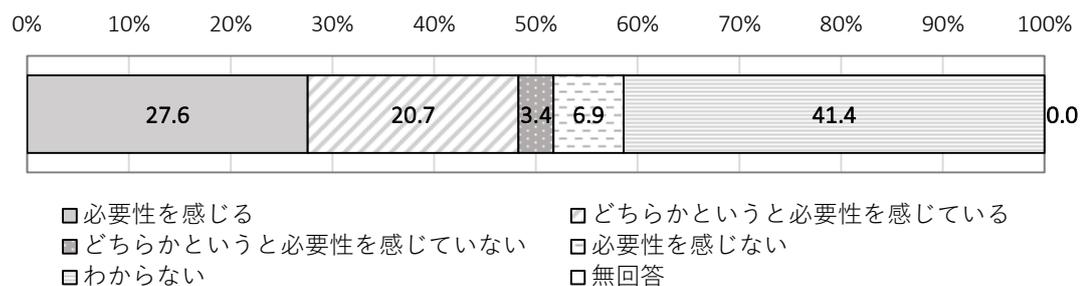


※複数回答

④(行っていない事業所)取組の必要性についての考え

「必要性を感じる」が 27.6%、「どちらかというとも必要性を感じている」が 20.7%(合わせて 48.3%)、「どちらかというとも必要性を感じていない」が 3.4%、「必要性を感じない」が 6.9% (合わせて 10.3%)となっています。

■仕事と治療の両立の必要性についての考え(n=29)

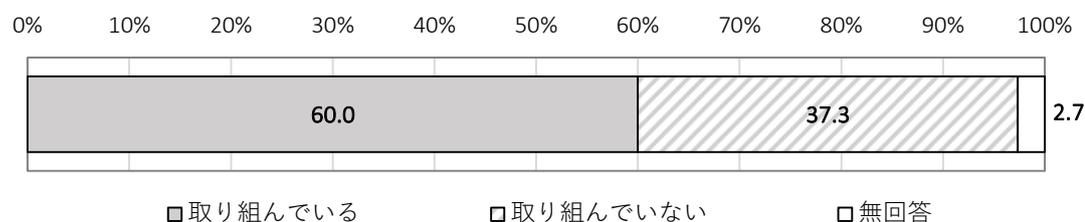


(6)メンタルヘルス対策について

①事業所でのメンタルヘルス対策の取組状況

「取り組んでいる」が 60.0%、「取り組んでいない」が 37.3%となっています。

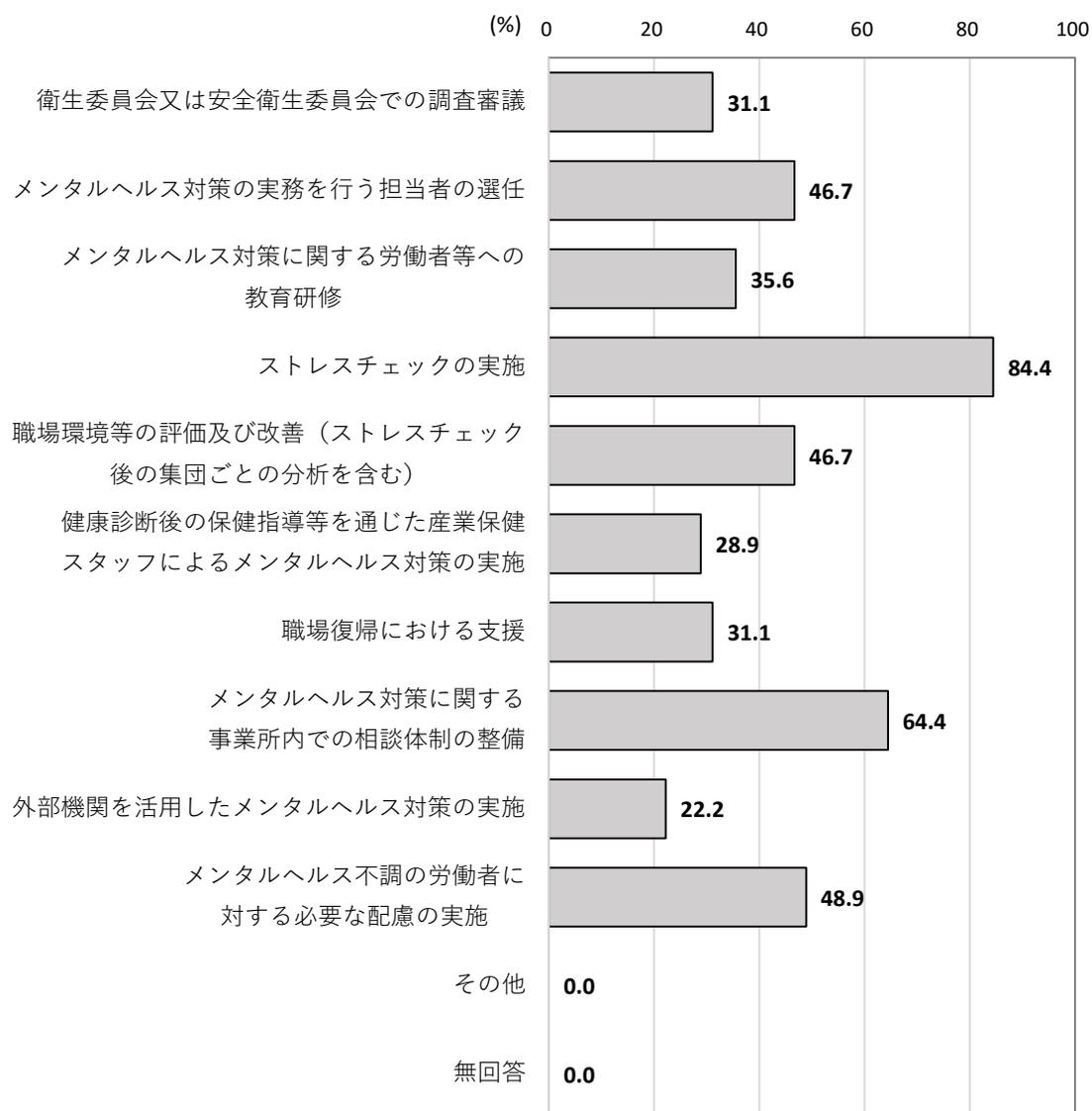
■メンタルヘルス対策に取り組んでいるか(n=75)



②(取り組んでいる事業所)取り組んでいるメンタルヘルス対策

「ストレスチェックの実施」が 84.4%と最も多く、次いで「メンタルヘルス対策に関する事業所内での相談体制の整備」が 64.4%、「メンタルヘルス不調の労働者に対する必要な配慮の実施」が 48.9%、「メンタルヘルス対策の実務を行う担当者の選任」と「職場環境等の評価及び改善(ストレスチェック後の集団ごとの分析を含む)」がともに 46.7%などとなっています。

■取り組んでいるメンタルヘルス対策は何か(n=45)

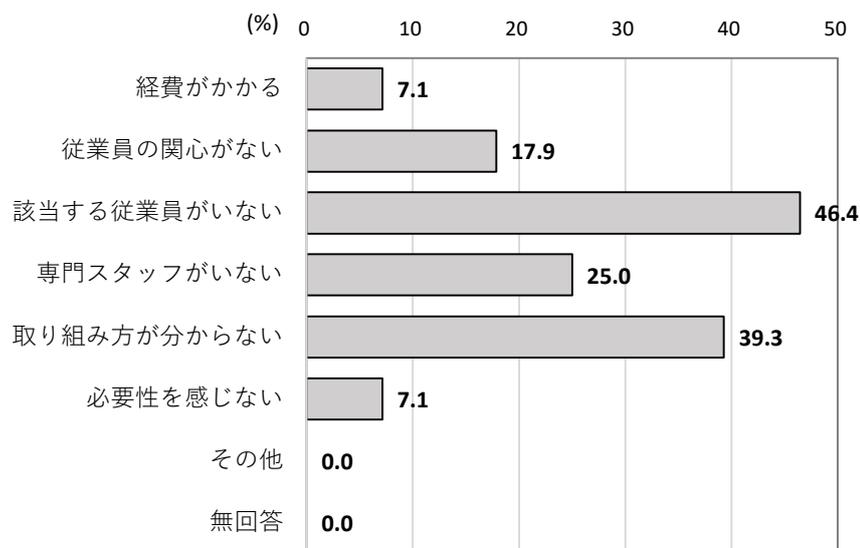


※複数回答

③(取り組んでいない事業所)取り組んでいない理由

「該当する従業員がいない」が 46.4%と最も多く、次いで「取り組み方が分からない」が 39.3%、「専門スタッフがいない」が 25.0%、「従業員の関心がない」が 17.9%などとなっています。

■取り組んでいない理由は何か(n=28)



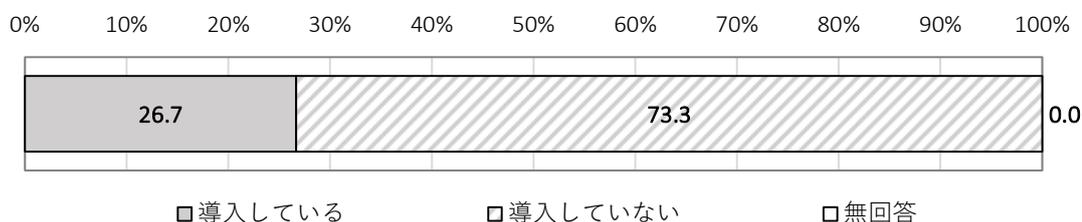
※複数回答

(7)テレワークについて

①テレワークの導入状況

「導入している」が 26.7%、「導入していない」が 73.3%となっています。

■テレワークを導入しているか(n=75)



②(導入している事業所)従業員の活用状況

「2割未満」が 85.0%と最も多く、次いで「4割以上6割未満」が 10.0%、「2割以上4割未満」が 5.0%となっています。

■テレワークを何割程度の従業員が活用しているか(n=20)



③(導入している事業所)勤務日数における活用状況

「2割未満」が 85.0%と最も多く、次いで「4割以上6割未満」と「6割以上8割未満」がともに 5.0%となっています。

■活用している従業員は平均して勤務日数の何割程度で活用しているか(n=20)



(8)その他

①コロナ禍を経ての事業所での健康に関する意識や取組の変化

「あった」が 36.0%、「なかった」が 12.0%、「わからない」が 50.7%となっています。

■コロナ禍を通して、事業所での健康に関する意識や取組に変化はあったか

